



- 2012 -

平成24年度  
年 報

医療法人 研医会  
田辺中央病院

## 病院年報目次

I 「基本理念・基本方針」 .....	1
II 「巻頭言」 .....	2
III 「病院概況」 .....	3
IV 「病院組織図・配置図」 .....	4・5
V 「各部門総括」	
平成24年度総括 .....	7
医局・医局会 .....	8
リハビリテーション科 .....	9～14
放射線科 .....	15～18
検査科 .....	19～23
薬局 .....	24～28
栄養課 .....	29～30
地域医療連携室 .....	31～36
看護部門 .....	37～42
手術室・中央材料室・内視鏡室 .....	43～46
術別式算定件数 外来 .....	
術別式算定件数 入院 .....	
医事課 .....	47～51
ドック・健康診断 .....	52～53
総務課 .....	54～58
VI 「各種委員会活動」	
病院運営委員会 .....	60
医療安全管理委員会 .....	61～63
医薬品安全管理委員会 .....	64
感染対策委員会 .....	65～66
感染対策チーム（I C T） .....	67～68
診療録管理委員会 .....	69
個人情報管理・倫理委員会 .....	70～71
広報委員会 .....	72
平成24年度 院外研修実施報告 .....	73

## VII 「患者数統計」

### 外 来

患者延べ人数 .....	75
1日平均患者数	
時間内・時間外・休日・深夜の割合	
患者性別 .....	76
曜日別患者数	
月別・診療科別 初診／再診件数 .....	77
月別・曜日別 初診／再診件数	
外来／入院 田辺地方病院輪番制における患者数実績.....	78
年齢階層別患者数	
時間外・休日・深夜における年齢階層別患者数	
地域別患者数 .....	79～80
地域別患者数 田辺市分類	

### 入 院

一般病棟稼動状況 .....	81～82
一般病棟診療科別患者人数	
療養病棟稼動状況 .....	83
療養病棟医療・A D L区分の割合	
療養病棟 診療科別患者人数	
全病棟稼動状況 .....	84
全病棟 診療科別患者人数	
平均在院日数	
紹介患者の割合 .....	85
時間内・時間外・休日・深夜の割合	
曜日別入院件数	
性別入院患者数	
年齢階層別入院件数 .....	86
入院患者 平均年齢	
入院 地域別患者数	
入院 地域別患者数 田辺市分類 .....	87
外来 入院 紹介率・逆紹介率 .....	88
患者経路 外来 .....	89
外来 紹介元（診療所・クリニック）一覧 .....	90
患者経路 入院 .....	91

入院 紹介元（診療所・クリニック）一覧	92
外来 入院 紹介元一覧	93
一般病棟 退院経路	94
亜急性期病床実績	95
I C D 1 0 大分類 退院患者	96
死亡退院件数	97
死亡退院疾患別統計	

#### 救急搬送

外来・入院 地域別 救急搬送件数	98
外来・入院 科別 救急搬送件数	
救急搬送 時間内・時間外・休日・深夜の割合	
救急車搬送入院率	
統計 前年度比較	99

## 基 本 理 念

私たちは「安心、信頼、誠実、尊厳、思いやり」の心を大切にし、患者さま本位の病院として地域医療に貢献できる医療機関を目指します。

## 基 本 方 針

1. 患者さまの権利、プライバシーを尊重します。
2. 安心と満足のいく良質な医療の提供を目指します。
3. 地域とともに歩み、地域医療に貢献します。
4. 医療、介護、福祉の連携強化に努めます。
5. 病院とともに成長できる働きがいのある職場と風土を育んでいきます。

## 卷頭言

いま、わたしたちの周りでは、少子化・人口減少の到来によって、これまでにない大きな社会変動が起こっています。もちろん紀南地域においても例外ではなく特に高齢化は顕著に進行しております。

その様な社会情勢の中、平成24年度は、社会保障と税の一体改革の実現と「2025年」のあるべき医療・介護の姿を念頭において診療報酬・介護報酬の同時改定が実施され、診療報酬の全体改定率は+0.004%とほぼ据え置きの改定であつものの、改定の影響度は大規模・急性期病院に有利となり中小病院には厳しい結果となっている現状です。

平成24年度は我々がどの様に地域の医療に貢献できるのかを職員全員が明確に認識し具体化していく為の足固めの一年であったように思われます。

まず、病院の外来部門、放射線部門、リハビリ部門、手術室、中央材料室の改装を行い来院される方のアメニティと診療機能の向上に効果を上げることが出来ました。

また、金本成熙先生を整形外科部長としてお迎えできたことは当院にとって大きな人事でした。先生の診療への取り組みは受診される患者数の増員だけでなく、職員の仕事へのモチベーションにも繋がり病院の活性化への大きな要因となっています。

H25年度はリハビリテーション機能の充実をさらに推進し、地域医療連携の強化や在宅医療への取り組みとその拠点となるべき訪問看護・訪問リハビリ等の開設、その為のマンパワーの充実、また、職員研修等への取り組みを強化し病院とともに職員が成長できる働きがいのある職場を作っていくたいと考えております。

今回の平成24年度年報は第2号となります。年報は当院の一年間の活動記録の集約であり、P D C Aに基づいた病院運営を行っていく上においても一年間を振り返ることは大変意義深いことです。

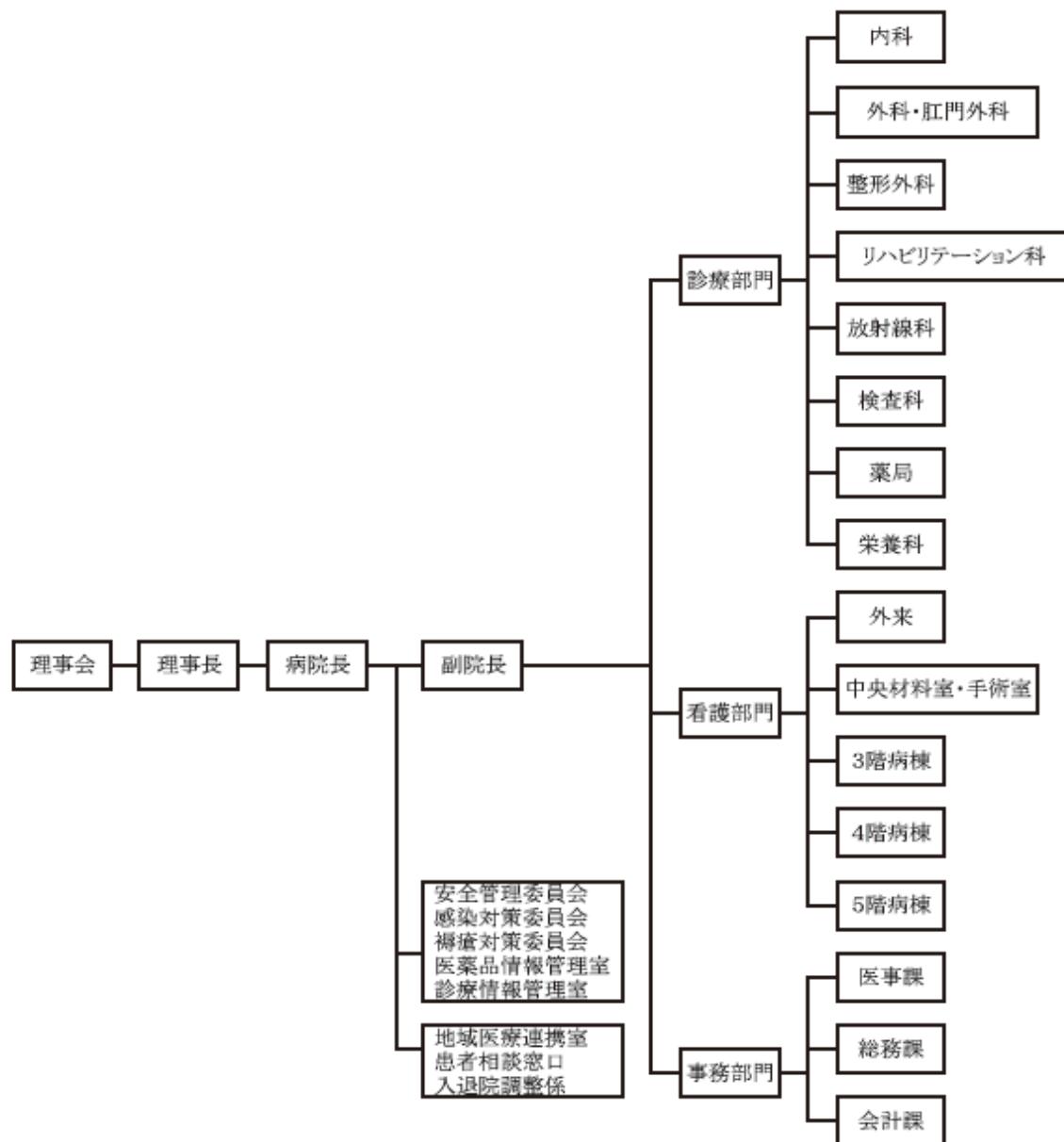
今回の年報作成にご尽力頂いた当院職員に対して、この場を借りて御礼申し上げるとともに、今後も継続し、より地域に貢献できる医療機関であるため職員一同の奮起を期待し私の挨拶文とさせて頂きます。

院長 浅井 信義

## 概　況

名称	医療法人研医会 田辺中央病院
所在地	和歌山県田辺市南新町147番地
交通機関	JRきのくに線 紀伊田辺駅下車徒歩10分
法人設立年月日	昭和44年2月10日(同登記2月17日)
開設年月日	昭和44年4月25日(同許可3月18日)
標榜科目	内科・外科・肛門外科・整形外科・リハビリテーション科
開設者	理事長 前田 章
管理者	病院長 浅井 信義
敷地面積	1,521.56m <sup>2</sup>
建物延面積	3,594.49m <sup>2</sup>
建物構造	鉄筋コンクリート造 地上6階 地下1階建
許可病床数	一般病棟 90床 療養病棟 50床
各種保険医療等	社会保険・国民健康保険・介護保険・労災保険・生活保護法・結核予防法
各種指定	救急病院健康診断事業所約90社 保険指定医療機関
施設基準	労災保険指定医療機関・生活保護法指定医療機関・被爆者一般疾病医療機関
基本診療科一覧	<ul style="list-style-type: none"><li>◆一般病棟入院基本料10:1</li><li>◆療養病棟入院基本料2</li><li>◆救急医療管理加算</li><li>◆診療録管理体制加算</li><li>◆医師事務作業補助加算</li><li>◆急性期看護補助加算75:1</li><li>◆重症者等療養環境特別加算</li><li>◆医療安全対策加算2</li><li>◆感染対策加算2</li><li>◆患者サポート体制充実加算</li><li>◆退院調整加算</li><li>◆救急搬送患者地域連携受入加算</li><li>◆救急搬送患者地域連携紹介加算</li><li>◆亜急性期入院医療管理料 リハビリテーション提供加算</li><li>◆入院時食事療養 I</li></ul>
特掲診療科一覧	<ul style="list-style-type: none"><li>◆夜間休日救急搬送医学管理料</li><li>◆外来リハビリテーション診療料</li><li>◆薬剤管理指導料</li><li>◆検体管理加算I</li><li>◆検体管理加算II</li><li>◆CT撮影に関する届出</li><li>◆脳血管疾患等リハビリテーションII</li><li>◆運動器リハビリテーションI</li><li>◆呼吸器リハビリテーションI</li><li>◆医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6に掲げる手術</li><li>◆酸素の購入に関する届出</li></ul>
関連施設	介護老人保健施設 田辺すみれ苑
後方支援施設	特別養護老人ホーム 鮎川園・龍トピア・真寿苑・第二真寿苑・虹 介護老人保健施設 あきつの・自彌館

## 田辺中央病院 組織図



## 病院配置図

本館	6階	患者用食堂兼談話室・会議室・機能訓練(リハビリ)室3
	5階	一般病棟・5階ナースステーション
	4階	医療療養病棟・4階ナースステーション
	3階	一般病棟・3階ナースステーション
	2階	手術室・内視鏡室・機能訓練(リハビリ)室1／2
	1階	受付(会計)・外来各診察室・救急処置室・レントゲン室・外来用点滴室 待合いロビー・公衆電話・テレビカード販売機／精算機・自動販売機
	別棟1階	薬局・事務室(時間外受付及び会計)

新館	5階	一般病棟・冷蔵ロッカー・コイン式洗濯機／乾燥機(バルコニーに設置)
	4階	医療療養病棟
	3階	一般病棟
	2階	健診室
	1階	検査室・心電図／エコー室

- テレビカード販売機・精算機 (本館1階)
- 腹帯・T字帯・イヤホン販売(別棟1階事務室)
- 自動販売機(本館1階)
- 公衆電話(本館1階)
- 冷蔵ロッカー(新館5階)
- コイン式洗濯機／乾燥機(新館5階バルコニーに設置)

## 各部門總括



## 平成24年度「総括」

事務長 高岡克示

平成24年度は、外来診察室・待合室・レントゲン室など1階フロアの全面と2階リハビリテーション室、手術室・中央材料室の改裝工事を完成させることにより病院機能を充実させ、地域の方々により利用しやすい病院作りに取り組みました。また、健全経営のための取り組みとして、診療報酬改定への対応、施設基準の見上げ、職員の質の向上を目的とした院内教育の充実、人事考課制度の導入を実施しました。

さらに、救急医療への取り組みの強化・地域連携(他の医療機関・介護事業所との顔の見える関係作り)を推し進め紀南・田辺地域の医療に貢献できる医療機関、また医療から介護への橋渡しができる医療機関としてのさらなる強化に取り組みました。

平成24年度は、主として下記の課題を目標に病院運営に取り組みました。

### 1.健全経営の維持

#### ◇病床稼働率の維持

1日平均入院患者数105名を目指とし、救急の受入れ、開業医の先生方よりの紹介、関連施設の後方支援、他医療機関からの転医を積極的に行うこと、また在宅復帰に向けての相談業務・地域連携の充実。

#### ◇入院基本料10:1への引き上げ

10:1入院基本料の取得。

#### ◇外来診療の増収への取り組み

セラピストの増員に伴うリハビリテーションの拡充、CT、MRIの有効利用(開業医の先生方からの紹介検査の利用)、非常勤医師の効率的な配置を行うことによる検診・検査の効率的な活用。

#### ◇コスト管理の徹底

取引業者の比較・検討

#### ◇回復期リハビリテーション病棟開設の準備としてPT・OT・STの増員

#### ◇診療報酬改定への対応 制度への理解

### 2.増築・改裝工事を完了させ、診療機能、療養環境の向上を図る

4~6月の間、1F外来・2F機能訓練室改裝工事を実施。9月~10月までの間、2F手術室・中央材料室の改裝工事を実施、CTの更新、MRIの導入、PACSシステムの導入、遠隔画像診断による読影システムの導入等

### 3.医療人材の充足と育成

医師・薬剤師・看護師・リハビリテーションセラピスト等の採用

教育・研修を通じた人材の育成

### 4.人事考課制度の準備

### 5.地域医療連携の推進

介護事業所との密接な連携

地域の開業医の先生方との良好な関係作り

### 6.救急医療体制の継続

当直医師・その他スタッフの確保

大学医局・派遣会社訪問・就職説明会等への参加

## 医局・医局会

副院長 谷 口 良 樹

平成24年度は「病院外装のリニューアル」「1階、2階の内装工事・機器の更新」「手術室の改装」のため一時的に著しい患者数の減少がありました。工事が終了した11月以降は順調に各科とも患者数が増加しています。外来部門だけですが病院が清潔になったことで近隣の住民の当院に対する印象が良くなっているようです。

整形外科の医師増員により手術件数も激増し、病院の診療実績も上昇しています。医局単体ではなく当病院の課題ですが医師不足の解決が望まれます。病院内容の充実と医師の充足は互いに関連しており、好循環状況になるように院長を先頭に医局も銳意努力していくつもりです。

### □スタッフ構成

内科	常勤2名	非常勤4名
外科	常勤1名	非常勤1名
整形外科	常勤2名	

### □医局会

常勤医5名・事務長の参加で第二、第四火曜日に開催

### 24年度の主な議案

- 病棟の改装について
- 他院からの紹介患者の担当医の決定調整について
- 疾患を複数持った患者について医師間のスムーズな連携
- 医療事故、医療ミスの防止、発生時の対応について
- DPC採用の方向性
- オーダリングシステム、電子カルテの将来的採用
- 薬剤の新規採用手続きについて

## リハビリテーション科

科長 藤原聰

平成 24 年度のリハビリテーション科をとりまく環境は、大きく変わりました。

まず、リハビリテーション室は 2 階に 2 部屋と 6 階に 1 部屋が改修・新設され、また多くの備品が増えました。次に、9 月からは金本先生が入職され、今まで以上に術後の患者数が増えました。これらの状況に対応するため、リハビリテーション科では多くのスタッフが新たに加わり、患者様へ手厚いサービスを行うことが可能となりました。

今後は、急性期医療に関わるものとして、急性期に治すべき機能障害をしっかりと治し、患者様が次の回復期もしくは介護保険に円滑に移行できる、もしくは地域に戻れるようリハビリテーション科のスタッフ全員が団結して取り組んでまいります。

### I. スタッフ構成

理学療法士	12 名	(男 7 名、女 5 名)
作業療法士	3 名	(男 1 名、女 2 名)
言語聴覚士	1 名	(女 1 名)
リハビリ助手	2 名	(女 2 名)

### 入退職

理学療法士 3 名	4 月より常勤 3 名、非常勤 1 名入職 5 月より常勤 1 名、パート勤務 1 名入職 8 月より常勤 1 名入職 12 月より常勤 1 名休職 3 月より常勤 1 名退職
作業療法士 0 名	4 月より常勤 1 名入職 2 月より常勤 1 名入職
言語聴覚士 1 名	
リハビリ助手 1 名	4 月より常勤 1 名入職 10 月末より常勤 1 名休職 12 月より常勤 1 名入職

### II. 業務推進

患者様により良いサービスを提供するため、臨床・研究・教育活動を積極的に行うこととする。

### III. カンファレンス

整形外科カンファレンス 第1、3金曜日 → 1月より回診に参加するため中止  
外科カンファレンス 第2金曜日

内科カンファレンス 第4木曜日

#### 参加メンバー

医師、看護師、PT、OT、ST、地域医療連携室

### IV. 回診(1月より実施)

整形外科回診 月曜日(金本先生)、金曜日(谷口先生)

#### 参加メンバー

医師、看護師、PT、OT、地域医療連携室

### V. 平成25年度の目標

医療から介護へのスムーズな移行

回復期リハビリテーション病棟実施に向けての準備

退院前後訪問の徹底

リハビリテーション科教育研修制度の早期実施

臨床・教育・研究活動の活性化

セラピスト1人あたりの1日平均単位数20単位の確保

### VI. 平成24年度実績

(単位:円)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
外来	793,140	848,580	969,080	1,116,980	1,248,980	1,437,670	1,856,470	1,772,600	1,456,850	1,339,730	1,425,900	1,579,380
入院	2,237,950	2,317,800	3,538,170	4,249,020	4,441,390	4,600,160	5,146,480	4,939,680	5,042,690	4,604,740	5,783,740	5,327,340
合計	3,031,090	3,166,380	4,507,250	5,366,000	5,690,370	6,037,850	7,002,950	6,712,280	6,499,540	5,944,470	7,209,640	6,906,720

## リハビリテーション科 総 括

### I. 現状

- 疾患別内訳

	一般病棟	療養病棟	外来
運動器リハビリ	84.0%	44.3%	84.3%
運動器リハビリ維持期	0.0%	16.9%	14.1%
脳血管リハビリ	11.5%	14.8%	1.3%
脳血管リハビリ維持期	0.1%	6.3%	0.4%
脳血管リハビリ(廃用)	4.0%	15.2%	0.0%
脳血管リハビリ(廃用)維持期	0.0%	3.9%	0.0%
呼吸器リハビリ	0.6%	0.0%	0.0%

リハビリテーション実施患者の疾患別内訳は、運動器リハビリが一般病棟では84%、外来では98%と前年度同様に大半を占めた。

- リハビリ月平均実施患者数

	今年度	前年度
一般病棟	44人	27人
療養病棟	29人	23人
外来	93人	66人

リハビリテーション実施患者の月平均数は、スタッフの増員等により、前年度と比較して増加した。

- リハビリ月平均件数及び平均単位数

	入院	外来	合計	
			今年度	前年度
件数	995 件	362 件	1356 件	斜線
単位数	2202 単位	714 単位	2916 単位	1273 単位

リハビリテーション実施単位数の月平均は、前年度と比較して2.3倍増加した。

- 患者1人あたりの1日平均単位数

2.2 単位

患者1人あたりの1日平均単位数は2.2単位であった。その内訳は、急性期、特に術後の患者に対しては、3~6単位で実施した。療養病棟の算定期日を越えた患者に対しては、基本的に1単位で実施した。

● 新規患者数

	入院		外来		合計	
	今年度	前年度	今年度	前年度	今年度	前年度
運動器リハビリ	222人	129人	165人	78人	387人	207人
脳血管リハビリ	52人	30人	3人	1人	55人	31人
呼吸器リハビリ	3人	0人	0人	0人	3人	0人
摂食機能療法	22人	12人	0人	0人	22人	12人
消炎鎮痛	0人	0人	31人	38人	31人	38人

新規患者数は、前年度と比較して運動器では1.9倍、脳血管では1.8倍増加した。

● 各PT・OTの1日平均単位数

PT	18.5単位
OT	18単位

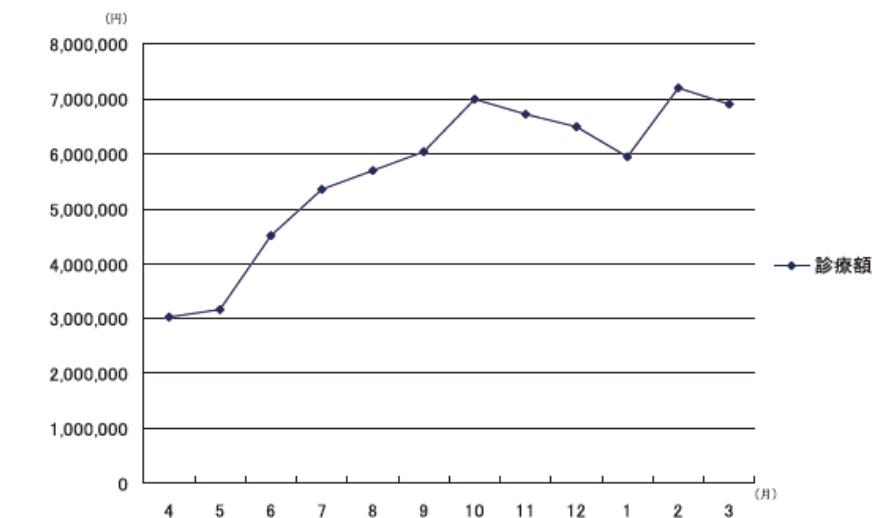
田辺すみれ苑へのヘルプやリハビリ室の改修工事、スタッフの増員等があったものの、9月より入院や外来で患者が増えたことで、各PT・OTの1日平均単位数は18単位以上を確保した。

● 亜急性期病床平均単位数

平均単位数	18単位
-------	------

リハビリテーション提供体制加算の取得のため6月から試算を開始し、7月より算定を開始した。医事課と半月毎に単位数を確認、地域連携室と情報交換や対象患者の選定等を各部署と連携を図りながら実施した結果、施設基準の要件を満たした。

● リハビリテーション科診療総額



術後の患者数の増加とスタッフの増員により、年度当初より約2倍に増加した。

## II. 取り組み

### リハビリテーション総合実施計画書作成の徹底

リハビリテーション科担当分は、各セラピストが担当患者の情報を期日までに記入し、纏めて医師や看護師に渡すようにした。その結果、ほぼ 100% 作成することができた。

### 亜急性期入院管理料 I におけるリハビリテーション提供加算の取得

リハビリ提供体制加算を 6 月から試算を開始し、7 月より算定を開始した。医事課と半月毎に単位数を確認、地域連携室と情報交換や対象患者の選定等を各部署と連携を図りながら実施した。その結果、継続して算定要件を満たした。

### 月～土曜日のリハビリテーション科稼働

日曜日以外の休日をシフト制で取得するよう変更した。その結果、患者様へのリハビリテーションの提供が 1 週間に 5.5 日から 6 日になり、またリハビリテーション科の診療額向上につながった。

### 回診参加

1 月より月曜日(金本先生)、金曜日(谷口先生)の整形外科回診に定期的に参加した。その結果、患者のより詳細な情報を収集することができた。

### リハビリテーション科緊急マニュアル作成

リハビリテーション科緊急マニュアルを作成し、スタッフに周知させた。

### 講習会

日程	テーマ	参加者名
5 月 27 日	体幹機能の謎を探る	翠川
6 月 15 日～17 日	第 46 回日本作業療法学会	加賀山
9 月 9 日	PNF 理論と実際	寄山、佐々木、翠川
10 月 20 日	リスク管理研修会	坂中、翠川
12 月 16 日	脳卒中に対する装具療法の実践	寄山、佐々木、翠川

### 院内看護研修会

日程	テーマ	参加者名
8 月 16 日	トランスファーについて	リハビリテーション科スタッフ
8 月 31 日	トランスファーについて	リハビリテーション科スタッフ

### 学会発表

日程	学会名	参加者名
11 月 11 日	近畿理学療法学術大会	前田
12 月 2 日	和歌山県理学療法士協会新人発表	坂中、翠川

### III. 今後の展望、目標

#### 平成 25 年度の目標

1. リハビリテーションの医療から介護への円滑な移行
2. 回復期リハビリテーション病棟実施に向けての準備
3. 退院前後訪問の徹底
4. リハビリテーション科教育研修制度の早期実施
5. 臨床・教育・研究活動の活性化
6. セラピスト 1 人あたりの 1 日平均単位数 20 単位の確保

##### 1. リハビリテーションの医療から介護への円滑な移行

医療保険では、「算定日数上限を超えている患者で、リハビリテーションを継続しても状態の改善が期待できない維持期のリハビリテーションを行うもののうち、脳血管疾患等リハビリテーション料、運動器リハビリテーション料の算定が原則2014年3月31日までとされた。」とある。現在、外来患者の多くは算定日数上限を超えている。このことから、次回の医療保険の改正に向け、他職種と連携しながら該当する患者は医療保険から介護保険への円滑な移行を積極的に進めていきたい。

##### 2. 回復期リハビリテーション病棟実施に向けての準備

平成26年度に実施予定の回復期リハビリテーション病棟の開設準備を進めていきたい。

##### 3. 退院前後訪問の徹底

術後患者の多くは自宅復帰する。そのため、円滑に自宅復帰できるよう積極的な退院前後訪問を進めていきたい。

##### 4. リハビリテーション科教育研修制度の早期実施

新規スタッフの増員、とくに経験年数の浅いセラピストの入職に対し、リハビリテーション科独自の教育研修制度を早期実施できるよう進めていきたい。

##### 5. 臨床・教育・研究活動の活性化

患者様により良いサービスを提供するために臨床・教育・研究活動を積極的に進めていきたい。

##### 6. セラピスト1人あたりの1日平均単位数20単位の確保

術後早期のリハビリテーションを手厚く行うよう進めていきたい。

○スタッフ構成

診療放射線技師 3名

○放射線科装置機器

・一般撮影装置

Radnext 32 (株式会社日立メディコ社製) 平成 24 年 6 月

・X線透視撮影装置

DHF-153HE II V (株式会社日立メディコ社製) 平成 24 年 6 月

・CT 撮影装置

ECLOS 16 列 (株式会社日立メディコ社製) 平成 24 年 6 月

・MRI 撮影装置

AIRIS II (株式会社日立メディコ社製) 平成 24 年 7 月

・ポータブル撮影装置

・手術室外科用イメージ WHA-200 (株)島津製作所 平成 17 年 8 月

・院内撮影装置 T-WALKER 100 (有)ティーアンドエス 平成 17 年 5 月

・画像保存通信システム(PACS)

Weview (株)日立メディコ

・遠隔読影通信システム

ドクターネット (株)ドクターネット

## 放射線科 平成 24 年度 総 括

### 平成 24 年度を振り返って

5・6・7月と放射線科においても改裝が行われ、機器・装置等を新たに導入しました。同時に通常の検査業務が行えるよう、機器の操作や使用上の問題にも取り組み対応してきました。特に MRI が新規導入され CT を地下から 1 階へ移動させたことは救急対応等、患者様の流れ等においても非常に大きかった様に思います。そして今まで当院に無かった画像保存通信システム(フィルムレス化)や遠隔読影通信システムは、患者様サービスの向上や医師・看護師の負担軽減に繋がりました。

そして 10 月より新たに 1 名入職し、放射線技師も 3 名体制となり 9 月より急激に増えた撮影や検査、平日・休日・夜間帯の救急等の対応もできる様になりました。

### 平成 25 年度に向かって

新生放射線科として撮影技術や接遇面でまだまだ向上できる点があると思います。それらを改善して努めていきたいと思っています。また、昨年度も安全で優しい検査を心掛けてきましたが、まだ十分だとは思っていません。なので、今年度、放射線科のテーマとして「思いやり」の精神で患者様に接していきたいと思っています。接遇研修等で学んだ事を生かし、忙しい中でも笑顔を絶やさず患者様に接し、スピード感を持って業務を行っていくよう努力します。今年度においても事故の無いように気を付け、より安全に業務出来る様、常に模索して努めてまいりたいと考えています。

平成24年度 撮影件数 モダリティー別

一般撮影

	件数
4月	428
5月	415
6月	228
7月	455
8月	428
9月	593
10月	752
11月	596
12月	578
1月	643
2月	604
3月	668
計	6388
平均	532

透視撮影

	UGI [件数]	その他 [件数]
4月	6	4
5月	0	0
6月	0	0
7月	11	6
8月	9	2
9月	12	2
10月	12	9
11月	8	3
12月	8	1
1月	9	4
2月	17	4
3月	17	3
計	109	38
月平均	9	3

平成22年度 件数	
月平均	394

平成22年度 UGI [件数]	
月平均	10

平成23年度 件数	
月平均	410

平成23年度 UGI [件数]	
月平均	8

## C T 検査

	全件数	4F病棟件数	他院紹介件数
4月	69	5	0
5月	74	5	0
6月	60	7	0
7月	90	5	1
8月	77	3	0
9月	58	6	1
10月	97	5	3
11月	95	9	7
12月	74	7	6
1月	89	4	7
2月	87	9	11
3月	109	5	7
計	979	70	43
月平均	82	6	4

平成22年度 件数	
月平均	63

平成23年度 件数	
月平均	64

## M R I 検査

	全件数
7月	6
8月	13
9月	15
10月	20
11月	19
12月	25
1月	29
2月	23
3月	28
計	178
平均	20

	整形 [件数]	内科 [件数]	外科 [件数]	他院紹介
	2	4	0	0
	10	3	0	0
	15	0	0	0
	17	3	0	0
	19	0	0	0
	23	1	1	0
	24	4	1	0
	16	6	0	1
	19	8	1	0
計	145	29	3	1
平均	16	3	0	0

## 検査科

主任 楠本康人

検査科は、生理検査・生化学・血液学・免疫学・細菌学検査・一般検査などの検査を担当し、現在3名(常勤2名)のスタッフで構成しています。緊急時にはオンコールにより対応できる体制にしています。

業務の取り組みとして、検査項目見直し等によるコスト削減、健診業務、外来、入院患者さまへ迅速な検査を行うことによる診療レベルの向上、診察部門のニーズに出来るだけ応えるよう個々の知識や技術向上に努めています。また、患者さまのためになるよう医師や看護部門、医事課と連携しています。

改装により、平成24年5月末に2Fから1Fへと拠点を移し、検査室と機器の一部も一新され、それに伴い検査依頼・管理システムを導入し、新たな気持ちでさらなる向上を目指していきたいと考えています。

### 【平成24年度 主な業務実績】

- ・検査箇一括化(年間で約30万円削減)
- ・出張健診院内化(約50万円削減)
- ・ICT参加(立ち上げ～実働)→細菌検査数増加
- ・職員へのB型肝炎ワクチン接種業務(平成24年度～25年度)
- ・健診部立ち上げ(定期的に会議実施)
- ・Dダイマー、CD毒素検査の院内化
- ・CD毒素勉強会実施
- ・検査件数の増加(前年度比)

### ●使用機器一覧

- |                                |                               |
|--------------------------------|-------------------------------|
| ・自動分析装置 日立7020*                | ・Forz ExcelCreates(検査システム)*   |
| ・AIA360(腫瘍マーカー・甲状腺ホルモン・BNP)*   | ・GA03T ATWILL A&T(血糖)         |
| ・AVL9181(電解質)                  | ・G8(HbA1c)*                   |
| ・GASTAT-1820(血液ガス)             | ・Ortho BioVue(クロスマッチ)         |
| ・心電計                           | ・心電計ポータブル                     |
| ・ホルター心電計                       | ・Xario SSA-660A TOSHIBA(エコー)* |
| ・SSD-650cc Aloka(エコー)          | ・Form PWV/ABI(血圧脈波・動脈硬化)      |
| ・スペイロメーター(呼吸機能検査)              | ・TRC-NW200(眼底)                |
| ・ビジュアルリーダー(尿化学分析装置)            | ・XS-800 sysmex(多項目自動血球分析装置)*  |
| ・FASTEC401(HCV抗体検査用希釈装置)       | ・乾熱滅菌器                        |
| ・Neurofax EEG7414 日本光電(脳波計)    | ・血中アンモニア測定装置(arkray)          |
| ・Triage MeterPro Alere(Dダイマー)* | *は今年度新規導入機器                   |

## 検査科 「総括」

改装工事に伴う 2 階から 1 階への移転時にも、通常業務で外注もせず院内で対応出来たのは各科の協力があったからこそではあるが、検査科としても良かったと思う。

整形金本医師が赴任してからは、術前検査（検体検査、凝固検査、心電図、呼吸機能検査）クロスマッチ、など時間と手間のかかる検査数が大幅に増加。さらに、術後副作用である深部静脈血栓症候群のコントロールとして、D ダイマーを院内検査に導入。その他、HbA1c の国際標準化に対応した機器を変更前と同条件で変更。

感染防止対策加算 2を取得するための ICT の立ち上げと、それによる細菌検査数の増加。  
院内感染対策として、CD 毒素検査の院内への導入。

健診業務の軌道修正、立て直し。（現時点で約 2 年間、健診の事務業務を検査科で実施）  
→2013 年度（平成 25 年度）事務所へ業務移行～健診部設立。出張健診を院内のみで実施することで外注費用を 50 万円削減することに成功。

自動分析装置を新しい機械に更新する際に検査システムを導入。それに伴い今まで各検査ごとに存在した検査依頼書の一元化（9 種類を 1 つにまとめた総合依頼箋を作成）を実現し、コスト削減（年間約 30 万円）に成功。

1 月から腹部・心・甲状腺・乳腺・頸動脈などの超音波検査習得のために指導を開始。指導にあたり、2 人が抜けてしまうため検査科のマンパワーが不足してしまっている。また、検査数増加（整形外科外来からの術前検査等）もあり、結果、至急対応が出来なくなり、医師が至急で必要な検査を「緊急検査」としてそれのみ対応する事に。

当院では超音波の症例数が少ないため、少しでも症例数を経験できる手段として 4 月から超音波検査学会への入会予定。  
来年度から術前検査に呼吸機能検査が追加されるので機械購入予定（4 月）。  
検査依頼・結果入力・結果提出用の端末の増設（来年度 5 月予定）。

平成 24 年度は、とにかくバタバタと過ぎて行った印象であり、人的不足の点からも検査科としては、日々ミスの恐怖との格闘でした。とにかく毎日がギリギリで、何をやったか分からぬ様な 1 日が多くありました。今後、この人数この状態のまま、この検査数をこなしていくかないといけないとするならば、来年度は検査環境の整備に力を入れていきたいと思っています。入力ミスなどの人的ミスをする確率が、少しでも少なくなるよう機器のオンライン化などをし、患者様にも病院職員にも、もっともっと信頼される検査科を構築していきたい。それが、信頼される病院としての一端を担う事だと信じています。

## 2012年度(平成24年度) 検査科実績

※実稼働日数は年度により変わります(当月日数より日・祝祭日・年末年始の休みを除いた日数です)

平成24年度	4月		5月		6月		7月		8月		9月	
	実稼働日	24	実稼働日	24	実稼働日	26	実稼働日	25	実稼働日	27	実稼働日	24
	月件数	日平均	月件数	日平均	月件数	日平均	月件数	日平均	月件数	日平均	月件数	日平均
<b>検査科</b>												
尿一般(健診)	259(69)	13.7	218(58)	11.5	210(39)	9.6	254(77)	13.2	235(67)	11.2	241(301)	22.6
尿沈渣	153	6.4	109	4.5	115	4.4	149	6.0	130	4.8	127	5.3
便潜血	26	1.1	25	1.0	24	0.9	37	1.5	18	0.7	37	1.5
血液一般分類(健診)	421(73)	20.6	420(58)	19.9	313(39)	13.5	424(70)	19.8	415(66)	17.8	346(248)	24.8
血液型	10	0.4	6	0.3	4	0.2	16	0.6	6	0.2	6	0.3
血液凝固検査	25	1.0	30	1.3	27	1.0	25	1.0	16	0.6	16	0.7
Dダイマー	Dダイマーは2012年10月～院内検査開始につき 6ヶ月分のデータ											
生化学一般(健診)	380(61)	18.4	406(57)	19.3	295(39)	12.8	405(70)	19.0	417(66)	17.9	347(248)	24.8
血糖(健診)	268(61)	13.7	303(57)	15.0	212(39)	9.7	320(70)	15.6	301(66)	13.6	246(248)	20.6
電解質	318	13.3	406	16.9	246	9.5	327	13.1	322	11.9	281	11.7
アンモニア	2	0.1	2	0.1	1	0.0	2	0.1	2	0.1	0	0.0
HbA1c	142	5.9	152	6.3	120	4.6	123	4.9	151	5.6	108	4.5
感染症	65	2.7	62	2.6	50	1.9	67	2.7	50	1.9	59	2.5
《腫瘍マーカー》 CEA	48	2.0	58	2.4	56	2.2	52	2.1	63	2.3	48	2.0
AFP	12	0.5	8	0.3	8	0.3	7	0.3	11	0.4	5	0.2
CA19-9	14	0.6	13	0.5	17	0.7	17	0.7	18	0.7	11	0.5
甲状腺ホルモン	17	0.7	27	1.1	31	1.2	27	1.1	31	1.1	23	1.0
BNP	85	3.5	90	3.8	74	2.8	92	3.7	90	3.3	55	2.3
血液ガス	14	0.6	17	0.7	19	0.7	13	0.5	14	0.5	22	0.9
クロスマッチ	4	0.2	4	0.2	2	0.1	6	0.2	7	0.3	4	0.2
不規則抗体	4	0.2	4	0.2	2	0.1	8	0.3	6	0.2	3	0.1
心電図(健診)	83(61)	6.0	77(57)	5.6	65(39)	4.0	85(70)	6.2	81(67)	5.5	80(247)	13.6
ホルター心電図	3	0.1	0	0.0	0	0.0	1	0.0	0	0.0	0	0.0
眼底検査	0	0.0	0	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	0	0.0
エコー検査	65	2.7	77	3.2	52	2.0	82	3.3	71	2.6	47	2.0
スペイロメトリー	2	0.1	1	0.0	2	0.1	1	0.0	0	0.0	0	0.0
血圧・脈波検査 (FORM)	6	0.3	3	0.1	6	0.2	9	0.4	3	0.1	3	0.1
健康診断(9月集団・11月出張)	81	3.4	59	2.5	32	1.2	77	3.1	75	2.8	31(262)	12.2
インフルエンザ	31	1.3	11	0.5	1	0.0	3	0.1	1	0.0	0	0.0
脳波	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
ドック	0	0.0	0	0.0	0	0.0		0.0	2	0.1	4	0.2
妊娠反応	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
航空検診(中止)	0	0.0		0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
塗沫	78	3.0	67	2.7	53	2.0	129	5.2	123	4.6	75	3.1
培養	81	3.1	73	2.9	54	2.1	140	5.6	135	5.0	77	3.2
感受性	56	2.2	48	1.9	42	1.6	102	4.1	96	3.6	52	2.2
TB	1	0.0	1	0.0	1	0.0	0	0.0	0	0.0	2	0.1
CD毒素	CD毒素は2012年11月～院内検査開始につき 5ヶ月分のデータ											
病理組織	12	0.5	2	0.1	1	0.0	12	0.5	2	0.1	3	0.1
細胞診	1	0.0	0	0.0	0	0.0	4	0.2	0	0.0	2	0.1

総計 (単位:円)	4月	5月	6月	7月	8月	9月
診療額	4,375,836	4,693,637	3,488,592	4,826,085	4,791,742	4,023,336
支出	784,389	854,863	569,249	885,338	858,749	695,970
差益	3,591,447	3,838,774	2,919,163	3,940,747	3,932,993	3,327,366

スタッフ一人当たりの

診療額	1,750,334	1,564,546	1,162,864	1,608,695	1,597,247	1,341,112
支出	313,756	284,954	189,810	295,113	286,250	231,990
差益	1,436,579	1,279,591	973,054	1,313,582	1,310,998	1,109,122

10月		11月		12月		1月		2月		3月		計		
実稼働日	26	実稼働日	24	実稼働日	23	実稼働日	23	実稼働日	23	実稼働日	25	実稼働日	294日	
月件数	日平均	月件数	日平均	月件数	日平均	月件数	日平均	月件数	日平均	月件数	日平均	年件数	月平均	日平均
297(63)	13.8	213(324)	22.4	212(73)	12.4	229(85)	13.7	229(98)	14.2	234(109)	13.7	4,190	349.2	14.3
170	6.5	107	4.5	105	4.6	118	5.1	122	5.3	127	5.1	1,532	127.7	5.2
38	1.5	18	0.8	18	0.8	4	0.2	20	0.9	24	1.0	289	24.1	1.0
457(52)	19.6	414(278)	28.8	409(70)	20.8	420(73)	21.4	420(69)	21.3	505(109)	24.6	6,149	512.4	20.9
24	0.9	17	0.7	27	1.2	22	1.0	25	1.1	26	1.0	189	15.8	0.6
42	1.6	34	1.4	33	1.4	38	1.7	35	1.5	42	1.7	363	30.3	1.2
21	0.8	28	1.2	49	2.1	35	1.5	52	2.3	67	2.7	252	42.0	1.8
452(52)	19.4	403(278)	28.4	379(70)	19.5	409(73)	21.0	411(69)	20.9	479(79)	22.3	5,945	495.4	20.2
313(52)	14.0	275(278)	23.0	285(70)	15.4	305(73)	16.4	317(69)	16.8	359(79)	17.5	4,666	388.8	15.9
355	13.7	327	13.6	327	14.2	350	15.2	351	15.3	405	16.2	4,015	334.6	13.7
2	0.1	0	0.0	0	0.0	2	0.1	2	0.1	1	0.0	16	1.3	0.1
139	5.3	128	5.3	125	5.4	153	6.7	130	5.7	141	5.6	1,612	134.3	5.5
83	3.2	64	2.7	60	2.6	78	3.4	64	2.8	83	3.3	785	65.4	2.7
60	2.3	62	2.6	34	1.5	42	1.8	58	2.5	81	3.2	662	55.2	2.3
8	0.3	7	0.3	5	0.2	17	0.7	9	0.4	8	0.3	105	8.8	0.4
18	0.7	15	0.6	10	0.4	8	0.3	10	0.4	14	0.6	165	13.8	0.6
31	1.2	22	0.9	19	0.8	35	1.5	28	1.2	41	1.6	332	27.7	1.1
76	2.9	78	3.3	69	3.0	76	3.3	80	3.5	87	3.5	952	79.3	3.2
15	0.6	13	0.5	16	0.7	24	1.0	12	0.5	11	0.4	190	15.8	0.6
5	0.2	12	0.5	15	0.7	2	0.1	2	0.1	6	0.2	69	5.8	0.2
3	0.1	10	0.4	11	0.5	2	0.1	2	0.1	5	0.2	60	5.0	0.2
115(52)	6.4	71(271)	14.3	73(70)	6.2	94(73)	7.3	83(69)	6.6	106(79)	7.4	2,166	180.5	7.4
1	0.0	0	0.0	1	0.0	2	0.1	1	0.0	4	0.2	13	1.1	0.0
0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	0.3	0.0
74	2.8	58	2.4	40	1.7	43	1.9	52	2.3	61	2.4	722	60.2	2.5
0	0.0	0	0.0	1	0.0	0	0.0	1	0.0	1	0.0	9	0.8	0.0
2	0.1	5	0.2	2	0.1	4	0.2	4	0.2	2	0.1	49	4.1	0.2
67	2.6	72(265)	13.8	71	3.1	85	3.7	98	4.3	108	4.3	1,378	114.8	4.7
2	0.1	4	0.2	10	0.4	51	2.2	52	2.3	39	1.6	205	17.1	0.7
0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0
7	0.3	1	0.0	2	0.1	1	0.0	0	0.0	1	0.0	18	1.5	0.1
0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0
0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0
140	5.4	97	4.0	77	3.3	96	4.2	75	3.3	97	3.9	1,107	92.3	3.8
149	5.7	110	4.6	81	3.5	96	4.2	81	3.5	101	4.0	1,178	98.2	4.0
104	4.0	69	2.9	48	2.1	96	4.2	57	2.5	78	3.1	848	70.7	2.9
5	0.2	1	0.0	1	0.0	0	0.0	4	0.2	0	0.0	16	1.3	0.1
		18	0.8	14	0.6	6	0.3	11	0.5	4	0.2	53	10.6	0.4
3	0.1	2	0.1	5	0.2	0	0.0	4	0.2	6	0.2	52	4.3	0.2
0	0.0	2	0.1	1	0.0	2	0.1	0	0.0	2	0.1	14	1.2	0.0

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
5,269,982	4,347,335	3,821,115	4,779,862	4,642,712	5,561,876	54,622,110
990,353	774,656	728,626	908,136	859,436	1,131,623	10,041,568
4,279,629	3,572,679	3,092,489	3,871,726	3,783,276	4,430,253	44,580,542
1,756,661	1,449,112	1,273,705	1,593,287	1,547,571	1,853,959	18,207,370
330,118	258,219	242,875	302,712	286,479	377,208	3,347,189
1,426,543	1,190,893	1,030,830	1,290,575	1,261,092	1,476,751	14,860,181

## 過去3年分 検査科実績

※実稼動日数は年度により変わります(当月日数より日・祝祭日・年末年始の休みを除いた日数です)

平成24年度	平成22年度合計			平成23年度合計			平成24年度合計		
	実稼働日 年件数	月平均	日平均	実稼働日 年件数	月平均	日平均	実稼働日 年件数	月平均	日平均
検査科									
尿一般	2,576	214.7	8.8	2,879	239.9	9.8	4190	349.2	14.3
尿沈渣	1,122	93.5	3.8	1,510	125.8	5.1	1532	127.7	5.2
便潜血	263	21.9	0.9	280	23.3	0.9	289	24.1	1.0
血液一般分類	4,535	377.9	15.5	4,839	403.3	16.4	6149	512.4	20.9
血液型	93	7.8	0.3	119	9.9	0.4	189	15.8	0.6
血液凝固検査	257	21.4	0.9	285	23.8	1.0	363	30.3	1.2
Dダイマー		院内実施なし					252	42.0	1.8
生化学一般	4,316	359.7	14.7	4,676	389.7	15.9	5945	495.4	20.2
血糖	3,092	257.7	10.6	3,543	295.3	12.0	4666	388.8	15.9
電解質	3,512	292.7	12.0	3,840	320.0	13.0	4015	334.6	13.7
アンモニア	91	7.6	0.3	50	4.2	0.2	16	1.3	0.1
HbA1c	1,503	125.3	5.1	1,538	128.2	5.2	1612	134.3	5.5
感染症	551	45.9	1.9	670	55.8	2.3	785	65.4	2.7
《腫瘍マーカー》 CEA	541	45.1	1.8	613	51.1	2.1	662	55.2	2.3
AFP	121	10.1	0.4	114	9.5	0.4	105	8.8	0.4
CA19-9	304	25.3	1.0	350	29.2	1.2	165	13.8	0.6
甲状腺ホルモン	275	22.9	0.9	274	22.8	0.9	332	27.7	1.1
BNP	624	52.0	2.1	799	66.6	2.7	952	79.3	3.2
血液ガス	220	18.3	0.8	207	17.3	0.7	190	15.8	0.6
クロスマッチ	53	4.4	0.2	78	6.5	0.3	69	5.8	0.2
不規則抗体				60	5.0	0.2	60	5.0	0.2
心電図	806	67.2	2.8	913	76.1	3.1	2166	180.5	7.4
ホルター心電図	18	1.5	0.1	13	1.1	0.0	13	1.1	0.0
眼底検査	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	3	0.3	0.0
エコー検査	685	57.1	2.3	741	61.8	2.5	722	60.2	2.5
スペイロメトリー	11	0.9	0.0	5	0.4	0.0	9	0.8	0.0
血圧・脈波検査 (FORM)	25	2.1	0.1	49	4.1	0.2	49	4.1	0.2
健康診断検査	1,053	87.8	3.6	1,346	112.2	4.6	1378	114.8	4.7
インフルエンザ	132	11.0	0.5	325	27.1	1.1	205	17.1	0.7
脳波	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
ドック	16	1.3	0.1	8	0.7	0.0	18	1.5	0.1
妊娠反応	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
航空検診	9	0.8	0.0	5	0.4	0.0	0	0.0	0.0
塗沫				822	68.5	2.8	1,107	92.3	3.8
培養				887	73.9	3.0	1,178	98.2	4.0
感受性				582	48.5	2.0	848	70.7	2.9
TB				25	2.1	0.1	16	1.3	0.1
CD毒素		院内実施なし					53	10.6	0.4
病理組織				78	6.5	0.3	52	4.3	0.2
細胞診				19	1.6	0.1	14	1.2	0.0

## 薬局

主任 笠松 泰成

平成24年度に薬局でおこった大きな出来事は二つあります。新館増築に伴う引っ越しと、12年ぶりの薬剤師入局です。入局が金本医師常勤に伴う多忙化の時期と重なったので、中央業務の遅延・停滞が回避されました。改装工事中は外来患者さまが減少したため、処方箋枚数や服薬指導件数は減少しましたが、秋以降は徐々に増加傾向となりました。

平成24年4月から加算された病棟薬剤業務加算は残念ながら当年度内に取得することはできませんでした。次年度への課題とします。

### ● スタッフ

薬剤師3名（内1名はH24年9月より勤務）、助手3名（内1名はH24年9月より他部署へ、1名はH25年3月より入局）上記メンバーで業務に当たりました。

### ● 外来業務

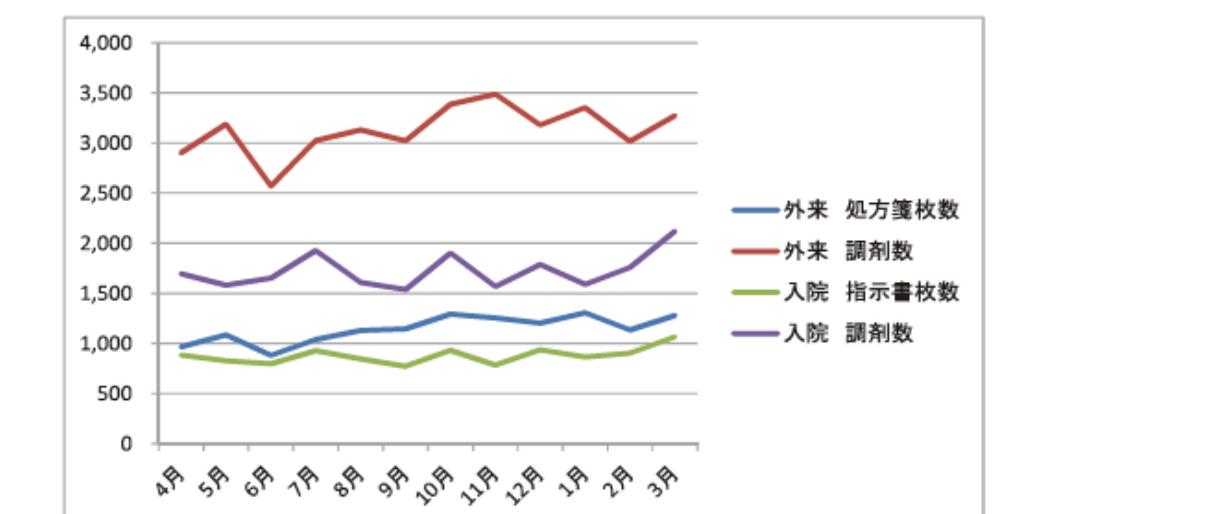
外来の処方箋枚数は13715枚で前年度より6%ほど増えています。

入院の指示書枚数も前年度より1.4%増加で、外来・入院ともに増加しました。

なお処方箋は殆どが院内発行で、院外処方箋枚数はかなり少ないので現状です。

(枚)	H24年度	H23年度	対前年
外来処方箋枚数	13715	12950	105.9%
入院指示書枚数	10540	10390	101.4%

(件)	H24年度	金額
薬剤情報提供	11162	1116200



## ● 病棟業務

服薬指導の件数は指導料2と3を合わせて2536件と昨年度より4%、人数で104件減少しました。

退院時指導の件数は6%、人数で9名減少しました。

改装時期の入院患者の減少が最も大きな理由です。

効率化を図るため、医事課からの連絡を密にもらいました。

①月3～4回の入院状況一覧表を貰う、②退院日の連絡の円滑化、など取り組みました。

垣下薬剤師にも3月から一部病棟の担当になってもらい、指導件数の増加に努めました。

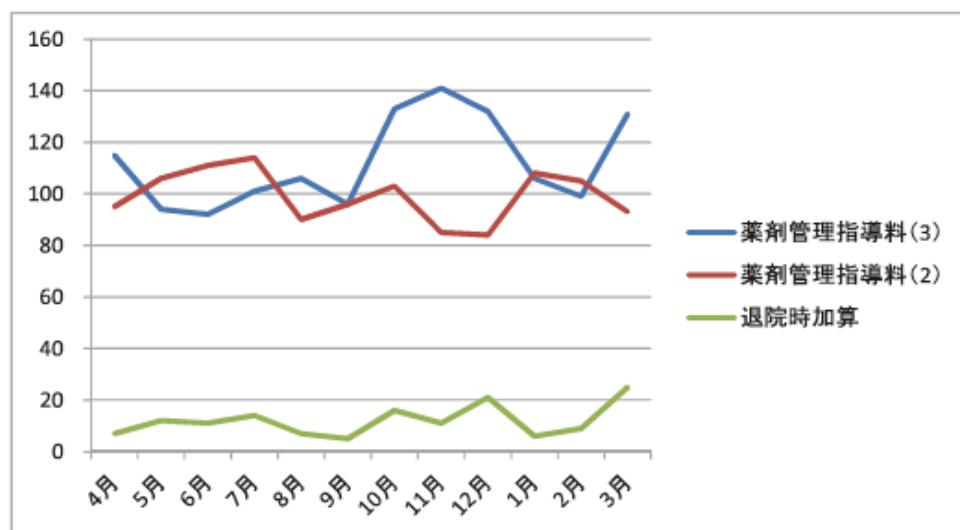
次年度への課題としては、①病棟担当薬剤師が休みのときの対応、②長期間指導できていない患者への対応、

③退院日の連絡の更なる円滑化、が挙げられます。③は院内LAN設置で効率化を図れると思います。

(件)	H24年度	H23年度	対前年
薬剤管理指導料(3)	1346	1371	98.2%
薬剤管理指導料(2)	1190	1270	93.7%
退院時加算	144	153	94.1%
合計	2680	2794	95.9%

病棟薬剤業務に取り組むには、週20時間の業務時間確保がネックになります。

現在外来は院内薬局で調剤を行っていますが、この見直しや病棟薬剤師の増員にも取り組む必要があります。



### ● 冊子等作成

ICT活動の一環で抗菌薬適正使用ガイドラインを7月に作成し配布しました。

採用薬一覧を8月に改訂し配布しました。

薬剤の保管場所一覧を3月に全面改訂しました。

### ● 抗生物質

抗生物質使用状況一覧について、今年度よりAUD/DDDシステムによる集計も行いました。ICT活動の一翼です。

導入により他病院と抗生物質の使用状況の比較検討ができるようになりました。

また感染防止対策委員会活動の一環で「広域抗生素使用届」制度を導入しました。広域抗生素の適切な使用のためです。

ICT活動開始の7月以降、ニューキノロンは増加しましたがカルバペネム系の使用率が半分近くまで減少しました。

購入に関しては、購入品目は15%増でしたが、金額は1%未満の増加にとどまりました。

薬価引き下げと、高額抗生物質を後発品に切り替えた結果と思われます。

(比率 %)	H24年度	H23年度	対前年
カルバペネム系	12.76%	23.86%	53.48%
ニューキノロン系	9.38%	7.94%	118.14%

のべ購入品目(点)	10177	8804	115.60%
購入金額(薬価)	16318166	16174990	100.89%

### ● 血液製剤

血液及び血液製剤の使用に関して、アルブミン以外の使用量は前年度より減少しています。

購入金額の減少に関しても、薬価引き下げもありますが使用量の減少が一番の理由です。

重症感染症に用いるグロブリン製剤、手術・DIC・肝障害に用いる凍結血漿は使用する患者が減少しました。

輸血管理料Ⅱの加算が取れないか試算してみました。輸血適正使用加算の項目の内、

(1)「FFPの使用量をMAPの使用量で除した値が0.27未満」は満たしておりますが、

(2)「アルブミン製剤の使用量をMAPの使用量で除した値が2未満」が満たせません。

	H24年度	H23年度	対前年
アルブミン(g)	2675	2162.5	123.70%
グロブリン(g)	55	120	45.83%
血漿アルブミン(g)	220	319	68.97%
赤血球(単位)	149	192	77.60%
凍結血漿(単位)	8	78	10.26%

のべ購入品目(点)	335	385	87.01%
購入金額(薬価)	3100762	4553818	68.09%

## ● 主な出来事

薬局での主な出来事です。

主な出来事	講演会勉強会	DIニュース発行
2012年4月 棚卸集計／新館へ引越4/21→4/28に目処／連休前の払出／薬価改定	1	4
2012年5月 抗生剤と血液の一覧表改訂／御伝票確認(薬価改定後)	5	1
2012年6月 抗菌薬適正使用ガイドライン作成／配布物と各所問合せ多い	6	3
2012年7月 上記ガイドライン作成と配布／調剤内規作成／ICT立上／日病薬アンケート	8	1
2012年8月 採用薬一覧改訂／和市で就活説明会／病棟予備薬点検／新人入局	2	3
2012年9月 新人OJT／県病薬アンケート／ICT+LNS合同会議	6	1
2012年10月 新人OJT／インフルエンザワクチン手配／オペ用薬剤見積と手配／DI情報配布	4	2
2012年11月 評価表／インフルエンザ関連物配布／NHCAP勉強	5	2
2012年12月 病院大会出席／麻薬(向)マニュアル改訂／HClO及び血漿分画製剤資料集め	1	4
2013年1月 近畿学術大会出席/PMDAと血液学会アンケート回答/持参薬取扱で協議	3	3
2013年2月 抗アレルギー剤小児用量表作成/DIニュース発行/紀南病院薬局研修/大学で就職説明会	1	7
2013年3月 末日に棚卸/オペ用&新規薬剤見積と発注の設定/薬剤棚一覧表作成	3	0
(合計)	45	31

## 抗生素使用一覧

商品名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均	
塩酸パンコマイシン散	14			14	93	109	11	135	104	69	87	4	640	53	
アルペカシン注射液200mg									27	18	6	5	56	5	
塩酸パンコマイシン点滴静注用0.5g「MEEK」	87	88	65	49	110	43	59	64	79	66	65	23	798	67	
オメガシン点滴用0.3g/パック	231	95	116	68	45	21	64	130	47	44	60	43	964	80	
シプロフロキサシン点滴静注液300mg(後発)												3	3	0	
スルペラゾン静注用1gキット	149	150	74	160	85	77	148	49	54	80	20	34	1,080	90	
セファメジンα 1gキット	69	58	8	37	63		19	60	91	25	34	32	496	41	
セフィローム注1g(後発)	7					3					10		20	2	
ゾシン静注用4.5g	87	71	9	9	31	95	151	41	45	96	46	101	782	65	
タイペラシリン注1g(後発)	5	13	6	28	38	8		13	41	9	4		165	14	
ダラシンS注射液600mg	17					4				14			35	3	
チエナム点滴用0.5gキット	77	132	49	65	36	15	28	35	32	32	1	22	524	44	
パシル点滴静注液500mg	96	61		26	140	119	176	84	38	67	8	51	866	72	
ハベカシン注射液	60	60		6	8				6				140	12	
パニマイシン注射液A&V	4	12	3	6	4	16	2	35	25	26	39	34	206	17	
パンスピリノ静注用1gパックs			1	4	6		1	144	95	116	165	166	698	58	
フィニパックスキット点滴用0.25g	18	150	47	63		18	24				12	42	374	31	
フルマリンキット静注用1g	53	52	32	76	51	25	44	2	8	32	24	30	429	36	
プロジフ静注液200mg					9	10							19	2	
ペントシリン注2gキット	32	33	11	19	16		5	28	32	12	26	17	231	19	
マキシピーム静注用キット							11	2					13	1	
ミノマイシン点滴静注用100mg			7	29	58	29	71	37	32	7	29	27	326	27	
メロペン点滴用キット0.5g															
モダシン静注用	23	37	38	17	24	26	30	40	37	13	39	23	347	29	
ユナシンS静注用	78	55	62	66	43	93	48	28	18	21	6	66	584	49	
ユナスピン静注用(後発)	22			20	3						7	6	7	65	5
ロセフィン静注用	31	15	10	2	7	21	44	17	58	32	9	70	316	26	
ザイボックス注射液															
計	1,160	1,082	538	764	870	732	936	944	869	786	696	800	10,177	848	

### ◆24年度を振り返って

昨年度は、「田辺すみれ苑への業務応援」「マンパワー不足」のため、業務の現状維持で精一杯の状態でしたが、7月には管理栄養士の入職、9月に田辺すみれ苑への業務応援が落着き、業務の立て直しから始めました。具体的には、給食管理業務のシステム化(給食管理ソフト導入)を行い、それに伴う給食管理業務の大幅な見直し(調理工程・見直し等)から始めました。

また、対象の入院患者さんの変化(整形外科入院患者さんの増加)により、栄養基準の見直しを行いました。また、食事形態の内訳も大きく変わり、献立メニューの見直しを行い、嗜好調査の結果から、献立メニューの改善を行いました。来年度の嗜好調査で評価を行い、「満足していただける食事」に少しでも近づけるように努力していきたいと思います。

この他、厨房の設備・機器の老朽化による、急な故障や不具合も多くありましたが、大きなトラブルなく食事を提供できたことが幸いでした。食器、トレイも新しい物に買い替え、少しでも気持ちよく食事していただけるようになったと思います。

まだ栄養指導の充実等、栄養科の全体としての課題が多くありますが、一つずつ改善し、より質の高い物を提供できるよう目指したいと思います。

### ◆スタッフ構成 (H25年4月～)

調理師主任	1名
調理師	3名
調理助手	4名
管理栄養士	2名

### ◆H25年度の目標

栄養管理業務、栄養指導の質の向上

栄養課 平成24年度 集計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均	
実稼働日(日)	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	30	
食数総合計(食)	8,069	8,124	7,469	8,407	7,858	8,216	8,752	7,556	7,980	8,231	8,104	8,870	97,636	8,136	
一般食合計	6,156	6,602	5,783	6,694	6,768	7,075	7,470	6,509	6,776	7,144	7,252	7,880	82,109	6,842	
並食	877	1,014	752	1,012	1,214	1,192	1,294	1,465	1,787	2,050	2,399	2,580	17,636	1,470	
軟食(粥)	2,758	2,972	2,709	3,281	2,851	2,985	3,228	2,548	2,691	2,603	2,367	2,561	33,554	2,796	
流動食	2,521	2,616	2,322	2,401	2,703	2,898	2,948	2,496	2,298	2,491	2,486	2,739	30,919	2,577	
特別食合計	1,913	1,522	1,686	1,713	1,090	1,141	1,282	1,047	1,204	1,087	852	990	15,527	1,294	
糖尿病食	1,376	1,076	1,066	1,173	813	815	945	639	796	826	709	797	11,031	919	
心臓食	292	196	330	106	0	101	28	181	226	131	84	115	1,790	149	
腎臓食	0	0	51	131	159	180	180	90	102	99	19	25	1,036	86	
膵臓食	81	45	0	0	0	0	3	0	37	13	0	0	179	15	
潰瘍食	115	205	149	175	83	7	23	47	0	18	40	17	879	73	
肝臓食	48	0	20	102	35	0	0	0	0	0	0	0	36	241	20
脂質制限食	0	0	70	26	0	38	103	90	43	0	0	0	370	31	
貧血食	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
検査食	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
流動食	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
形態別内訳															
オールミキサー食	1,224	1,197	1,049	1,262	1,026	1,079	1,306	797	596	775	480	680	11,471	956	
副ミキサー食	300	144	222	339	350	520	484	456	566	624	517	400	4,922	410	
キサミ食	2,207	2,413	2,273	2,612	2,106	1,856	2,123	1,759	1,755	1,903	2,029	1,974	25,010	2,084	
形	1,816	1,754	1,603	1,793	1,673	1,863	1,891	2,048	2,765	2,438	2,592	3,077	25,313	2,109	
流動食	2,522	2,616	2,322	2,401	2,703	2,898	2,948	2,496	2,298	2,491	2,486	2,739	30,920	2,577	
入院栄養食事指導	1	1	0	0	1	1	1	0	0	3	0	0	8	1	
外来栄養食事指導	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	
合 計	2	1	0	0	1	2	1	0	0	3	0	0	10	1	

## 地域医療連携室

室長 大上 信幸

地域医療連携室とは、患者様やご家族が安心して治療、ケアを受けられるように地域の医療関係と連携を深め皆様に満足していただける医療サービスを提供するための窓口です。

また、療養中の患者さまに生じる様々な問題に対して、可能な限りの情報提供や社会資源の利用援助が行えるように医療相談機能の充実に努めています。

### ●スタッフ構成

室長 大上 信幸

相談員 上山 貴行

### ●活動報告

- ・毎月開催している「田辺圏域保健医療介護の連携体制の構築をすすめる会」への参加を行っています。

研修内容(毎月第3週火曜日 19:00~)

4月：報告『私の仕事を知ってください』

①「南和歌山医療センター地域連携室」から ②「田辺高齢者複合施設たきの里」から

講義・意見交換

「延命治療、尊厳死を考える」 講師：市原 宗行 住職

その他

「医療と介護の連携マニュアル」について

5月：報告『私の仕事を知ってください』

①「田辺メディカル(訪問看護・居宅)」から ②「訪問看護ステーションエンゼル」から

講義・意見交換

「住まい」で迎える死について考える 講師：竹村 英一 医師

6月：報告『私の仕事を知ってください』

①「華リハ訪問看護ステーション」から ②「ケアサポート・カタチ」から

講義・意見交換

「援助者が最低限必要な医療知識について」 講師：中本 千秋 看護師

7月：報告『私の仕事を知ってください』

①「ヤマシタコーポレーション」から ②「ケアサポートセンターほほえみ」から

講義・意見交換

「嚥下食について」 講師：ニュートリー株式会社

8月：報告『私の仕事を知ってください』

①「ニチイケアセンターたなべ」から ②「紀南在宅介護サービス」から

意見交換

「認知症ケアについて」

9月：報告『私の仕事を知ってください』

- ①「ケアサポートセンター色えんぴつ」から ②「NPO法人 夢咲輝ネットワーク」から  
意見交換  
「災害対応マニュアルについて」

10月：講義と仕事紹介

- 「薬剤師の仕事と薬の話」 講師：田辺薬剤師会  
意見交換  
「薬剤管理や薬について困っていること」

11月：報告『私の仕事を知ってください』

- ①「社会保険紀南病院」から ②「ケアサポートゆにおん」から  
③ 地域の社会資源～福祉用具のリサイクルについて～

12月：報告『私の仕事を知ってください』

- ①「特別養護老人ホーム 愛の園」から  
研修と意見交換  
DVD研修「社会保障と税の改革に伴う動向と地域包括ケア」 講師：服部 万里子氏

1月：意見交換

- 連携マニュアルやフェースシートの利用状況と連携の課題  
緊急時の医療同意について その他

2月：報告『私の仕事を知ってください』

- ①「みなべ町社会福祉協議会」から ②福祉サービス利用援助事業  
研修と意見交換  
「連携の会3周年を迎える、今後について考える」 報告者：初山代表

3月：報告『私の仕事を知ってください』

- ①「デイサービスセンター稲成」から  
調査報告  
「当事業所が関わっている要介護者の服薬管理について」  
～介護支援専門員の聞き取り調査より考察～  
報告者：竹村医院居宅介護支援事業所 高下 奈穂氏  
意見交換  
「要介護者の服薬管理について」  
「参加しやすい会にするために」

## 地域医療連携室 「平成24年度 総括」

平成23年度の年報において、下記の課題を掲げました。

「当院の課題と解決に向けた今後の方向性(平均在院日数の短縮・病床の運営に向けて)」

- 1、後方支援病床の確保・充実
- 2、クリニック・診療所などとの連携
- 3、居宅支援に向けた、在宅サービス事業所との連携

### 「本年度の活動」

後方支援病床の確保・充実については、長期入院対策として、医療純度の高い方については、当院4階の医療療養型への転床、医療純度の低い方には、順次、系列施設を中心として、各施設にアプローチを行いできるだけ一般病棟の入院患者の入院期間が90日越えをしないように調整していきました。後方支援の少ない状況は、系列施設の開設に伴い、すこし状況の改善がみられました。しかし、相対的に次の行先を決めることが困難な患者が月に数名いるのも事実でありました。現在、有床診療所などの医療機関とのネットワークが希薄であるのも現実でした。今後、強化する必要があり、これについては粘り強く継続していきたいと考えています。また、11月より整形の手術患者の受け入れが始まり、一般病床については、整形患者の増加でリハビリ適用の方も増え、比較的順調に推移していました。一方で、医療依存度の高い方の減少により、療養型の有床率の維持がしにくくなっていた事実もあります。その対策として、オペ後の長期リハビリ目的の方の転床も検討し、在院日数を注視しながら、ベッドコントロールしている状況がありました。

クリニック・診療所などとの連携については、紹介状、看護サマリーの書類の交付は、おおむね問題なく行えていました。また、リハビリ提供をしている方についても、リハビリの提供継続に使うため、リハビリサマリーも提供できる状況となりました。情報提供の体制はできつつあると言えます。また、クリニックからの受け入れも、病床の空き状況などの確認もいただき、比較的スムーズに行える状況になってきていました。ただ、クリニックからの紹介件数が上昇している状況は薄く基本的な取り組みの継続を必要としています。また、救急隊の受け入れについては、地域の取り組みを注視しながら、当院の受け入れ状況の分析をしていくことも必要と考えています。クリニックからのCTの紹介件数は、クリニックの訪問後徐々に上昇していました。現在紹介を受けているクリニックとの関係をより強化するとともに、紹介実績の少ないクリニックからの紹介が増加するよう、定期的に訪問をしていく予定です。

居宅支援に向けた、在宅サービス事業所との連携について、系列施設の居宅介護支援事業所の開業に際して、紹介などを行いました。徐々に紹介実績も増えていきました。地域の連携会議の参加などによって、他の居宅事業所との面識も増え、徐々に地域連携室のある病院として、当院が認識されつつある状況は確認できています。患者満足度調査において外来の方の地域連携室の認識の浸透が不十分との結果がでていました。それについては、外来での相談件数も徐々にではありますが増加傾向で、少しずつ実績を積み、アピールを続ける必要があると思います。これについては、病院の窓口として機能を高めるように継続していきたいと思います。患者サポート相談件数も、月50～60件程度とコンスタントになってきており、更に認知度を高める為に地道に続けていきたいと思います。

### 「病床運営について」

平成24年4月より医療保険の改正の取り組みとして、患者サポート体制加算の算定として窓口を設け、対応マニュアルの整備、患者サポート相談記録の記載などをおこなってきました。また、入院後7日以内に患者のアセスメントを行い、援助の必要性などの評価を早い段階でのアプローチを行っていきました。

平成24年5月～6月にかけ、病院の一部改装もあり、6月については、病床実績は下降しました。その中で、10対1入院基本料の取得を平成24年7月より行うことができました。10対1の入院基本料取得とともに、入退院のカウント数の増加などで、病床の回転は、昨年よりも早くなり、病床稼働の維持は難しくなってきました。ただし、以前は系列施設の退院援助や入院などを、Drの協力のもと行って、かろうじて維持できていたものが、徐々に通常の状況において、在院日数が維持できる方向に向かっていったのも事実であります。

11月からは亜急性期病床の1床増加を行い、在院日数のコントロールを再調整していきました。理想としては、在院日数の維持と病床稼働の向上(105床)のバランスをとれるようにすることであり、在院の状況を亜急性の増加後図り、病床の稼働の上昇を狙う形を考えて日々行っていました。11月以降については、整形オペ対象者が増加し、3週間～1ヶ月程度の入院という傾向が多くなり、12月以降については、入院と退院のバランスが少しずつとれてきた状況にありました。また、整形入院の増加より、整形患者病床の占有率が上昇していました。その一方、療養病床対象者の減少で、転棟が困難になっていきました。それが、平均在院日数の上昇を生み、105床の稼働で21日の平均在院日数をクリアーする為には、入退院および転棟のバランスを再度見直し、コントロールすることを迫られ、1月以降も状況を見ながらバランス調整をしていました。2月、3月については、入院病床平均104床を超え、目標としている数字に近いところまで上昇し、かつ、平均在院日数の21日のクリアーも行うことができました。入院と退院の合計が3月には初めて月150件を超えて、かなり理想に近い形のベッドコントロールができるにいたりました。ただし、単月ではなく、通年の105床、平均在院日数21日クリアーに関しては、越えなければならない課題として入退院のバランス調整、および、地域連携の充実による、入院・退院援助をよりスムーズにしていくところ課題が残りました。

### 「総評」

平成24年4月改正で、取り組まなければならないことについては、おおむね行ってきました。今般の病院改装後のアピールの意味で、近隣のクリニックへの訪問をする中で、病院の当地域での認知不足を痛感することとなりました。今後も、認知度アップの為に、約3か月に1回ぐらいの頻度で地域やクリニックの訪問を続けることにより、病院の認知度アップに寄与すべきと考えています。また、院内・院外を問わず、地域の患者サポートの場として、相談を受けていき、そのことにより、病院の利便性をアピールしていくようにならうと考えています。また、平成24年7月より10対1入院基本料の取得後、在院日数、病床稼働率の維持に対して苦慮していたのは事実であります。それに伴い、前年度と比べ、病床の平均稼働が上がらず、一般病床全体の病床循環がきれいになってきてはいますが、療養病床の運営は綱渡りの感があり、今後課題であります。目標とすべき運営を行うためには、外来の充実、平均在院日数を満たす病床稼働が必要であり、その為には、施設・在宅との連携をさらに強化し、在宅生活において、切れ目のないサービス提供ができる医療機関群の構築が必要となってくると思います。それとともに、現在課題となっている、地域の同規模の医療機関との連携も、粘り強く模索していきたいと考えています。

平成25年度の目標として、

- 1、病床維持と平均在院日数のバランス調整の継続
- 2、地域との連携のさらなる充実
- 3、連携室の質の向上・院内連携の充実

を挙げたいと思います。上記の実現のため平成24年度に残された課題の克服と調整を行っていきたいと思います。

## クリニック訪問結果(平成24年度)

平成24年6月に病院の改装・CTのリニューアル・MRIの新規導入に伴い、近隣クリニックへの訪問を行いました。

1回目は、広報誌持参 2回目は、予約の為のファイル持参  
(1回のみのクリニックは訪問の際に、広報誌とファイルを同時持参)

	1回目	2回目
串医院	8月7日	9月13日
長嶋医院	8月23日	
西川医院	8月22日	
堅田内科循環器科	8月21日	
おかもと内科クリニック	8月7日	9月13日
山西内科胃腸科	8月9日	9月27日
真寿苑クリニック	8月10日	9月5日
外科内科辻医院	8月9日	9月27日
まちだ内科クリニック	8月10日	9月14日
楠本医院	8月7日	9月14日
水本内科クリニック	8月9日	9月27日
那須医院	9月5日	

平成25年1月に串医院・長嶋医院・那須医院へ放射線科担当者と再訪問を行いました。

平成24年度 転院受入件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	4	5	5	3	3	4		4	4	4	4		40
外科	1		3	3	1		1	1			1	1	11
整形外科	3	4	6		4	10	3	5	6	4	6	2	53
月別合計	8	9	14	6	8	14	4	10	10	8	10	3	104

平成24年度 患者サポート相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入院	11	27	34	18	16	21	25	23	22	19	21	21	258
退院	11	57	33	29	16	23	58	37	40	50	41	56	451
外来	0	2	1	6	5	10	3	9	3	10	3	3	55
月別合計	22	86	68	53	37	54	86	69	65	79	65	80	764

平成24年度 退院時相談の診療科別の統計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	4	9	11	8	4	5	5	4	4	4	5	4	67
外科	4	4	6	5	7	3	2	2	1	0	2	1	37
整形外科	4	9	8	3	3	12	6	6	6	8	7	2	74
月別合計	12	22	25	16	14	20	13	12	11	12	14	7	178

平成24年度 退院調整加算の算定内訳の統計

項目／月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一般													
退院調整加算1	1	6	2	4	6	2	5	3	3		1		33
退院調整加算2	3	1	4	3	1		5		3	3	3	3	29
退院調整加算3	4	2	3	3	1	1	4	7	3	1	1	3	33
療養													
退院調整加算1			1										1
退院調整加算2	1	1								3	1	1	7
退院調整加算3				1	1		2					1	5
退院調整加算4							1					1	2
介護連携指導料	4	2	4	4	2		7	1	1	1	2	2	30
退院時共同指導料2	1												1
月別合計	14	12	14	15	11	3	24	11	10	8	8	11	141

## 看護部門

看護部長 鈴木正代

### 平成24年度 総括

4月5月 ・10:1にむけて看護必要度の研修会を名谷病院から中山看護部長に来ていただき  
2日間にわたり、ビデオ実習と講義を受ける。

- ・感染防止対策加算2を取得のため、ICTを立ち上げる  
看護部門から 松本副総看護師長  
リンクナース 後藤文子 山本みちる 内谷万美子 下地朱美  
リンクナースが3回の研修で、痰の吸引、尿道カテーテル留置  
ウロガードの尿廃棄の手順を作成
- ・浴槽改装 リフトでの入浴介助で職員の負担改善

6月 ・看護必要度評価者院内指導者研修に参加 鈴木 坂本  
・看護必要度評価用紙を作成

7月 ・10:1 入院基本料の取得

8月 ・田辺すみれ苑 夏祭り ポランティア参加  
・商店街ヤーヤー祭り参加 健康相談 栄養相談 介護相談  
無料検査 骨粗鬆症 肺年齢 血管年齢 血圧測定実施。改装後の1階を見学。

9月 ・整形外科 金本医師 外来診察開始  
・病室カーテンの洗濯  
・手術室、中材改装  
・毎金曜日 外来と事務部門の定例会議開始

11月 ・金本医師手術開始

12月 ・田辺保健所立ち入り検査 文章指摘なし  
看護師の夜勤回数軽減に努力するように  
・健診会議 業務の見直し改善

- 1月     ・持ち込み薬の取り扱いについて薬局と相談  
          マニュアル作成
- 2月     ・転医マニュアル作成（事務部門と看護部門）  
          ・整形外科 TKA THA 術前術後の観察マニュアル作成
- 3月     ・3階看護助手1名～2名に配置  
          本来の看護業務が出来るよう看護助手の業務内容改善  
  
          ・栄養科と食事箋記載内容相談 様式決定  
  
          ・4階看護補助者学習会(看護補助者主任担当)  
          第2・第4木曜日 14時30分～15時 実施予定  
  
          ・ICT 合同カンファレンス(紀南病院にて)  
          目標に対して80%達成と評価あり  
          出来ていないことを今後継続して行う  
          H25年度も同じメンバーで活動を続行する  
          ・看護師長会 毎月第2月曜日に定期的に開催を決定

整形外科の手術が始まり経験のない事ばかり、スタッフの少ない状況で大きな問題もなく経過しています。  
手術術前術後の対応、リハビリが始まり、転室転棟のやりくりでは、部屋が汚い狭い特室なのに狭いトイレが使いにくい もっと広い部屋はないのか、部屋を何回も替わるなど、患者さんも看護師もストレスがかかることがばかりでした。  
病棟は看護職員が増えることがない状況で、よく頑張ってくれました。

平成 24 年度 看護師 院外研修会 No. 1

	内 容	主催者	日時	研修会場	参加者
1	感染対策医療連携 カンファレンス 感染管理認定看護師 看護師長 中本千秋氏	紀南病院	5月 29 日	紀南病院	松本澄人 鈴木正代
2	看護必要度評価者 院内指導者研修	SQUE 研究会 日本臨床看護 マネジメント学会	6月 3 日	看護研修 センター	坂本秀和 鈴木正代
3	第 4 回和歌山紀南地区 感染管理 ネットワーク研究会	丸石製薬株式会社	6月 30 日	紀南 文化会館 研修室4F	下地朱美 鈴木正代
4	医療と地域との連携に ついて 講師 初山 昌平 氏	看護協会 田辺地区支部	7月 7 日	南和歌山 医療センター	鈴木富士子 小池寿文 坂本秀和 鈴木正代
5	感染管理「ストラクティス研究会 和歌山ワーキンググループ」	感染対策「ストラクティス 研究会	7月 28 日 9月 29 日 2月 2 日	和歌山市 「プラザ」ホーフ	後藤文子 山本みちる 内谷万美子 下地朱美
6	和歌山紀南地区感染防止 セミナー 院内感染防止策の重要なポイント とその実践について 浜松医療センター副院長 矢野 邦夫 先生	紀南病院	7月 27 日	紀南病院	鈴木正代 松本澄人 山本みちる 下地朱美 宮本てるみ
7	医療安全管理者要請研修 フォローアップ研修①	和歌山県看護協会	9月 18 日 9月 19 日	看護研修 センター	坂本秀和
8	看護が見える記録 看護必要度の評価の視点から	和歌山県看護協会	10月 4 日	「プラザ」ホーフ	鈴木正代 坂本秀和
9	内視鏡器械取り扱い講習		8月 5 日	大阪国際会議 場	松本澄人

平成 24 年度 看護師 院外研修会 No.2

	内 容	主 催 者	日 時	研修会場	参加者
10	看護協会施設代表者研修 社会の動向を知り今後の 看護管理に生かす 看護師等の雇用の質向上の 取り組みと医療機関における労 働管理について	和歌山県看護協会	12月1日	看護研修 センター	鈴木正代
11	スタッフのキャリア開発支援	和歌山県看護協会	1月19日	看護研修 セ ンター	鈴木正代
12	口から食べる喜びと患者さんの 笑顔を取り戻そう 摂食・嚥下障害看護	和歌山県看護協会	1月25日	紀南文化会 館	谷津也子
13	医療安全管理者養成研修 フォローアップ研修②	和歌山県看護協会	2月6日	看護研修 センター	坂本秀和

平成 24 年度 院内研修会 看護部門(看護補助者含む) No.1

	内 容	日 時	参 加 者
1	平成 24 年診療報酬改正等の概要 株式会社 スズケンコンサルティング課	4月 3 日	21名
2	看護必要度研修 1回目 講義 ビデオ演習 ペーパーテスト実施 名谷病院看護部長 中山秀美氏	4月 23 日 4月 24 日	39 名
3	看護必要度研修 2回目 講義 ビデオ演習 ペーパーテスト実施 講師 鈴木正代 坂本秀和	5月 23 日	9 名
4	看護必要度研修 3回目 ペーパーテスト実施 講師 鈴木正代 坂本秀和 実際に運用してみて	6月 22 日 6月 29 日	19 名 21 名
5	1回 感染対策研修 標準予防策 講師 サラヤ	7月 4 日	21名 補助者含む
6	2回 感染対策研修 標準予防策 講師 サラヤ	7月 10 日	20名 補助者含む
7	3回 感染対策研修 標準予防策 講師 サラヤ	7月 12 日	9名 補助者含む
8	標準予防策だけじゃ防げない 感染経路別予防策 紀南病院 感染防止対策室 中本千秋 氏	7月 18 日	31名
9	MRI の特徴と画像 MRI を安全にお使いいただくために 日立メディコ 吉村晃太 氏	7月 25 日 7月 26 日	6名 15名
10	介助方法について 講師 リハビリテーション科全員	8月 17 日 8月 31 日	15名 13名 補助者含む

平成 24 年度 院内研修会 看護部門(看護補助者含む) No.2

	内 容	日 時	参 加 者
11	院内感染対策と MRSA MRSAについて ビデオ「アウトブレイクへの対応」 疫学調査の1例 講師:大日本製薬株式会社	9月14日 9月28日	17名 他部門4名 11名
12	医療安全対策フォローアップ研修伝達講習	10月5日 10月19日	13名 11名
13	睡眠時無呼吸症候群 PSG システム研修	10月12日	11名
14	静脈血栓症予防について	10月18日 10月26日	21名 14名
15	膝人工関節置換術講習会	10月23日 10月30日	26名 25名
16	個人情報学習会	11月8日	30名
17	CD 毒素について	11月29日 11月30日	30名 26名
18	人工呼吸器使用について	12月19日 12月20日	12名 13名
19	医療安全使用の学習会	1月30日	9名
20	接遇研修 紀陽リース・キャピタル株式会社	2月15日 3月15日	35名
21	褥瘡と栄養管理 ネスレ株式会社	2月20日	9名

## \*スタッフ構成

看護師 2名・准看護師 1名・補助者 1名

## 《中央材料室》

中央材料室改装と同時に洗浄装置と高圧蒸気滅菌器及び迅速生物学的モニタリングを新規購入し、より一層滅菌物の品質保証ができるようになりました。

手術件数増加に伴い、看護師が中材業務をすることが困難となっていましたが、補助者 1名が加わり、中材業務を円滑に進めることができます。

## 《内視鏡室》

平成 24 年度内視鏡総件数は、276 件

上部内視鏡件数 252 件(内 PEG13 件) 下部内視鏡 24 件

## 内視鏡件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
上部	24	26	14	28	20	14	22	18	21	16	22	27	252
下部	6	1	1	4	5	2		1		1		3	24
合 計	30	27	15	32	25	16	22	19	21	17	22	30	276

手術件数が増加したので全ての内視鏡検査に中材スタッフのみで対応することができなくなり内科外来看護師1名と外科外来看護師1名に内視鏡業務の指導を行い対応しています。今後は、吐血患者の止血処置等にも対応してもらえるよう指導していきます。

また、平成25年1月に内視鏡自動洗浄装置も新規購入し、内視鏡の洗浄レベルがアップしています。今後もより一層感染予防に努めていきたいと思います。

## 《手術室》

平成24年度手術総件数は119件

外科 38件 整形外科 81件

金本医師が9月に着任され、手術室が改装されクリーンルーム手術室として生まれ変わり、11月より人工関節手術がスタートし手術件数が増加しています。経験のない人工関節手術で、直接介助看護師は手術に使用する器械の多さと複雑な手順、間接介助看護師は整形外来看護師2名に入ってもらっているが慣れない手術室業務の中、試行錯誤の連続でようやく慣れてきたような状況です。慣ってきた頃に、抜かりやミスを起こしやすいので注意・確認しながら業務に取り組んで行きたいと思っています。

また、手術室スタッフは入室してきた患者さまに常に優しい言葉をかけ、緊張をほぐすよう対応しています。

来年度は、術前訪問を行い、患者さんの手術に対する不安を少しでも軽減できるよう取り組んで行きたいと思っています。

手術件数一覧

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外科	8	5	1	8	5	1	1	3	2	1	3	5	43
整形外科	2	5			2		2	18	16	16	20	18	99
合 計	10	10	1	8	7	1	3	21	18	18	23	23	142

麻酔件数一覧

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
全身麻酔	外科	2			2			1	1	1			7
	整形外科				1								1
腰椎麻酔	外科	2	2		1	2		2	1	2	1		13
	整形外科	1	2		1	1		1	18	16	13	18	85
局所麻酔	外科	4	3	1	3	3	1	1			2	5	23
伝達麻酔	整形外科	1	3		1			1			1	2	4
合 計	10	10	1	8	7	1	3	21	18	18	23	23	142

術式別算定件数 外来

手術名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
関節脱臼非観血的整復術(小児肘内障)	1	2		1	3	2	2		3	1		1	16
関節脱臼非観血的整復術(肩)					1	1							2
関節脱臼非観血的整復術(指)						1							1
頸関節脱臼非観血的整復術					1								1
陷入爪手術					1								1
腱縫合術(切創等の創傷)創傷処理											1	1	
腱鞘切開術										1			1
骨折観血的手術(前腕)										1	1		2
骨折観血的手術(指)											1	1	
骨折非観血的整復術(大腿)													
骨折非観血的整復術(前腕)					1				1	1	1		4
骨折非観血的整復術(手)					1								1
肛門周囲膿瘍切開術					1		1						2
爪甲除去術	1			3	1	3	1		1			3	13
創傷処理	8	11	4	17	11	14	12	11	2	4	7	8	109
内視鏡的食道及び胃内異物摘出術					1								1
皮下腫瘍摘出術	1	3		2	1	1	3					1	12
皮膚切開術		3	1	4	3	5	6		6	4	3	5	40
癰疽手術		1			1			1				1	4
腹壁膿瘍切開術					2								2
合計	11	20	5	29	25	28	26	12	13	11	13	21	214

## 平成24年度 術式別算定件数 入院

手術名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
アキレス腱断裂手術											1		1
胃縫合術(大網充填術又は被覆術を含む)					1								1
胃切除術(単純切除術)	1												1
胃切除術(悪性腫瘍手術)									1				1
胃瘻造設術	1	4			4					3	1	13	
ガングリオン摘出術(足)											2	2	
化膿性又は結核性関節炎搔爬術(膝)									2				2
関節脱臼観血的整復術(股)							1				3		4
関節脱臼非観血的整復術(肩)							1			1			2
関節脱臼非観血的整復術(股)						1	1	1				1	4
気管切開術						1							1
筋肉内異物摘出術		1											1
筋切離術											1	1	
経皮的腹腔膿瘍ドレナージ術								1					1
結腸切除術(全切除、亜全切除又は悪性腫瘍)	1												1
臍切離術								2					2
肛門周囲膿瘍切開術			1										1
骨切り術(指)							2			2		4	
骨折非観血的整復術(前腕)	1												1
骨折非観血的整復術(大腿)								2					2
骨折観血的手術(前腕)	1	2					1						4
骨折観血的手術(上腕)					1						1	2	
骨折観血的手術(大腿)	1	1		2	1			2	3	1	1	1	13
観血的整復固定術(インプラント周囲骨折に対するもの)大腿								3					3
骨内異物除去術(上腕)										1			1
骨内異物除去術(大腿)										1			1
骨内異物除去術(下腿)		1											1
鋼線等による直達牽引(観血的)										1			1
四肢切断術(指)							1				1	2	
四肢切断術(大腿)							1						1
小腸切除術(悪性腫瘍以外の切除)										1			1
人工関節置換術(膝)								10	5	9	11	10	45
人工関節置換術(股)								2	3	3	3	3	14
人工関節再置換術(膝)											1	1	
人工関節抜去術(膝)											1	1	
人工骨頭挿入術(股)		1						3			1		5
人工肛門造設術	1		1										2
人工肛門形成術				1									1
神経移行術											1	1	
爪甲除去術								1					1
創傷処理						1	2				1		4
脱肛根治手術	1												1
直腸切除・切断術(切断)					1								1
中心静脈栄養用埋込型カテーテル設置	2	2	1	1	1						1		8
デブリードマン	1	1			2	1		1	1	2	3	4	16
内視鏡的消化管止血術	2								1				3
内視鏡的胃ポリープ・早期悪性腫瘍粘膜切除術	1												1
内視鏡的食道及び胃内異物摘出術	1												1
非観血的關節授動術(膝)								1					1
皮膚切開術		1		1	2		1				1	6	
皮膚、皮下腫瘍摘出術									1				1
ヘルニア手術(鼠径ヘルニア)	1			2	2			1	1	1			8
ヘルニア手術(大腿ヘルニア)											1		1
リンパ節摘出術											1	1	
合計	15	15	2	10	13	3	6	31	23	22	29	31	200

## 医事課

事務課長 濱口雄大

### I スタッフ構成

事務長	1名
事務課長	1名
主任	1名（診療録管理者兼務）
スタッフ	6名

### II 主な業務

総合案内 受付業務 診療情報管理 診療行為入力 会計業務 入退院業務 診療報酬請求業務  
電話/来客対応 伝票処理 書類資料作成 備品・小口金管理 医事統計業務 ドック・健診業務  
予防接種受付 未収金管理 宿直業務 医師事務作業補助 施設基準届出業務 他 庶務全般

#### □外来担当

- ・受診に関する診療録作成及び受診相談、保険証確認、診察券発行
- ・診療行為入力業務、診療報酬請求、労災・自賠責保険の諸手続きに関する事項
- ・外来患者統計、外来カルテ管理、治療費及び未収金管理、会計業務、病院報告
- ・電話/窓口での案内・相談業務、各種文書の取扱い、外来予約の補助

#### □入院担当

- ・入退院時における事務処理及び手続き、電話/窓口対応、保険証確認
- ・入院患者統計、診療行為入力業務、入院請求に関する諸料金請求業務
- ・入院に関わる各種手続き及び文書の取扱い
- ・入院カルテ管理、労災・自賠責保険の諸手続きに関する事項
- ・退院サマリー作成補助、診療情報管理、病院報告

#### □医事統計担当

- ・診療報酬に関わる統計業務
- ・病棟単位別・科別・各部門別統計業務、亜急性期病床統計
- ・入/外来患者数管理(病棟別・科別・医師別・疾患別など)

#### □庶務担当

- ・寝具、郵便発信/受信に関する業務、伝票処理、備品・小口金管理

#### □ドック・健診担当

- ・予約管理/案内 受診者記録管理 受付業務 簡易検査
- ・事業所/項目/月/日別受診者数統計、再診者管理
- ・結果入力業務 事業所/保険者への請求業務
- ・事業所/保険者との契約
- ・労働基準協会と提携した夏期集団健診、秋期出張健診に関する業務

### III 医事課 外来部門 総 括

#### 1. 外来改装時の対応、業務改善

5月から8月までにわたる外来改装にあたり診察室を一時別階に移動しました。期間中は安全面を考慮し、受付～診察室間の案内役を配して、カルテの移動なども医事職員・外来看護師で協力し行いました。また、待合室が狭くなるなどの環境の変化ができるだけ患者様の精神的な負担とならないよう、積極的に声をかけさせて頂くなど不安の解消に努め、こまめな清掃を日々何度も行いマスクを配布する等衛生面についても最大限配慮し対応しました。

改装後は受付の移設、スペース縮小に伴い外来カルテの保管場所を再検討し、別棟事務所内にスペースを確保。半年前以降のカルテを地下の倉庫に保管していたのを含め 2 年分のカルテを受付・事務所に保管できるようにしました。

#### 2. 診療時間の変更に伴う調整

外科上田医師の退職、整形外科金本医師の入職、内科二診に辻村医師の診察時間を設けるなどに伴い、診療時間が全科変更となりました。金本医師の午前中の外来については、混雑することが予想されたため予約制を実施することとしました。前日に予約患者のカルテを受付後即座に診察室に回せるよう事前に必要な事柄を整理・準備することとし、受付にかかる時間を短縮、問診の精確さを向上させました。また、外来看護部門との連絡を緻密にし、患者の集中を防ぎ、他院からの流入をスムーズにできる体制をとりました。

#### 3. 週一回の外来会議の実施

外来業務の改善のための場として、週一回の外来会議を実施。外来事務担当、外来各科看護師で構成し、適宜関係職員を呼び、業務上のルールや改善策を提示。カルテ・処方箋の運用方法やリハビリ患者の案内方法等について合議しています。よりスマーズなリハビリテーション及び外来診療の流れを可能にするため、患者の呼び出し方、関連科全体に当日の患者の流れが分かるカードの作成、診療開始時間前のカルテの移動、等の点で改善を図りました。

#### 4. 新入職員の教育

12 月より医事職員一名が入職。受付で主な業務を担当することとなりました。レセコン入力作業等、会計作業が三名全員で行えることを目標とした教育を開始しています。

#### 5. 待合書籍の刷新

待合の書籍・棚を刷新。職員からの寄付による児童書、雑誌の新規購読などで待合書籍の拡充を図り、待ち時間をより快適なものにできるよう努めました。

#### 6. 統計業務

外来受付用の PC を設置。リハビリ算定期限患者リストの作成、保健所への提出資料作成など、従来事務所で行っていた統計業務の一部を受付部門に移行し分担を図りました。

## IV 医事課 入院部門 総 括

### 1. 他部署との連携

診療報酬改定に伴う新たな加算・算定方法、そして変更の無かった今までの算定方法についても見直しを行い、算定漏れを防ぐため各部門との連携を深めました。

まず、地域医療連携室から事前に入退院・転棟予定を連絡してもらうことにより、計算処理がスムーズに行えるよう改善。その予定をもとに、退院時薬剤指導加算の充実を図るため薬剤師に事前連絡を行うことや、退院計算時リハビリ単位数算定漏れを防ぐため、治療記録を医事課に届けるよう変更しました。その他、リハビリテーション提供体制加算の算定とその維持のため亜急性期病床患者のリハビリ単位数を、リハビリ科と調整・再確認しています。

### 2. 入院関連統計データの再構築

在院日数や患者統計などの医事課内データの充実を図るために、退院時に科別・主治医・保険・ICD10分類疾病も含めた連絡方法に変更。また、月末に褥瘡患者を集計し、看護部門からの連絡と照合し発生・持込み率のデータを作成しました。

### 3. 算定ミスの防止

今まで、高額医薬品を薬局集計データとレセプトで照らし合わせたり、手術材料の算定漏れのないよう中央材料室と連絡を取り合うなど、ミスのないように対応しましたが、手術室改装後11月から手術件数が大幅に増加。新たな手術算定方法を確認し、薬局・中央材料室との連携をさらに深め、薬剤・材料の算定漏れのないよう努めました。退院時処方箋の連絡方法を変更し、薬局の素早く正確な管理もあり円滑に退院計算ができるようになりました。

保険請求査定に関する定期的な対策として、返戻・査定内訳書のファイルを新たに作成し、返戻・査定事由について、いつでも確認できるようにしました。

その他、診療録管理委員会にてカルテの管理規則を定め、以後入院カルテの綴じる順番を徹底したことや、入院書類の保管方法・場所の整理を行ったことで外来・入院部門、他部署ともに業務を効率化できました。

平成25年度は、入院部門に新たに1名入院業務の指導を開始。一般病床の担当と療養病床の担当を分担し、一般病床だけでなく療養病棟の医療区分等算定漏れがないように今まで以上に医事課内、他部署と連携をとっていく予定です。

### 4. 入院費について

手術件数が大幅に増加したことにより、治療費に不安を抱く患者も増えたため、入院連絡をもとに外科・整形外科手術予定で高額医療費が予測される入院患者に対し、入院時自己負担金・高額医療・減額認定等の説明を積極的に行ってきました。さらに今までの雑費を見直し、一般個室の電話代の廃止、特別室の電話料金確認をパソコンで実施できるよう変更、補助ベッド貸出時に寝具貸出などを行いました。

## V 医事課 総括

### 1. 診療報酬改定、事務所移設、10対1入院基本料取得

年度当初は診療報酬改定に対する理解と対応、記録・報告などの業務管理がメインとなりスタートしました。業務管理の主な内容は新たな届出項目に伴う役割分担や部門内連携・報告、必要帳票の作成・確認を主とし対応。また3月からの改装工事中の改善・対応策、4月に医事課が移設になったため、トラブルなく進めるための準備・改善中心の業務に追われました。各部門との連携で患者様への影響も最小限に抑えるよう取り組みました。改装中の対応と並行し、前年度からの病院目標である入院基本料10対1基準へのランクアップに向け、改装の影響を踏まえた診療データに基づく病棟調整へと連携室とともに流れを詰めていきました。結果、病院全体の協力のもと、3・4・5月実績で10対1基準を満たすことができましたが、6月のレントゲン撮影使用不可期間の影響で患者数が減少し、すぐに基準を満たせない状況にならないかを再度検討し、病棟稼働率を調整することで乗り切る結果となりました。

### 2. 病院年報作成、診療報酬データ作成、常勤医師変更による対応

5月には病院としては初めてとなる病院年報の作成、全部署のデータや実績、業務活動を含めた内容に取り組んだため、全てのデータの再確認・各部署との連携作業・新たなデータ抽出などが必要となり、医事課全員で協力し作成に取り組みました。大幅な負担増の期間がありましたが、医事課の準備不足が原因で今後の課題となり、その後の役割分担や、新入職員成長に伴う部分的な担当変更開始など大きな枠組みを見直し、徐々に新しい業務の流れを構築していくきっかけとなりました。今後の課題抽出及び各部門でのデータ比較や対応策、現状把握のため医事課で集計するデータを取りまとめ、各部門へ報告する体制へと移行していきました。各部門ともそれぞれ独自に統計していますが、医事課とのズレや算定ミス、新たな算定などへの改善と各部署の実績確認、コスト意識向上を目的に報告。9月には手術室改装のため入院患者数減少の影響を想定し、連携室との共有情報を増やしていくと共に、常勤医師変更に伴う準備、手術に関する届出や同意書作成、医事業務対応を行いました。

### 3. リハビリテーション科亜急性充実提供加算取得、放射線科紹介件数UP

上半期では、平成24年度暫定目標である亜急性期病床リハビリ加算取得を目指していたので、リハビリ科と密に連絡を取り合い目標達成へと取り組みました。リハビリ科内では加算取得に向けての新たな業務の流れを構築、データと照らし合わせながらの業務体制を築いていったことにより、予定よりも1ヶ月早く目標を達成。その後も継続し良い流れを維持できています。9月にはリハビリ前診察の流れ変更のため原案を各部門の意向を尊重できるよう検討開始。その後、医師の協力のもと関連部門と協議を重ね11月より実施し順調に経過しています。放射線科では他院からの紹介検査件数を上げるという目標を掲げていたため、医事課では他院用ファイル作成や紹介受入れ時の業務流れを円滑にできるよう提案し、放射線科との連携を上手くいくように取り組みました。他院との交流、広報委員会からの情報提供、放射線科の最善を尽くした対応による協力の結果、他院紹介件数増加へつながっていきました。

### 4. 診療録(カルテ)管理変更

下半期では、カルテ保管スペースが限られてきたため診療録管理委員会からカルテ保管場所の変更案があり、その対応のため外来・入院カルテ保管場所の配置を見直し、旧CT室への移動準備を開始。それと並行しその他の保管書類整理、不要物処分を行い、通常業務が円滑にできるように保管場所の移動を行いました。

## 5. 健診部門

健診部門では、検査科担当分の業務を事務所へ移行する準備に入り、パンフレット更新、結果報告書の作成、担当業務の見直し、拡大を行いました。平成25年度は、検査科より事務部門への業務移行が本格的にスタートするため、事務部門として以下の課題に取り組み質・効率の向上を目指していきます。

- ・予約方法変更し実績検証
- ・予約が重なる期間は、事業所へ受診日を提案し分散をはかる
- ・項目セット、料金見直し、パンフレット更新
- ・結果マニュアル作成
- ・再診率UPへの取り組み
- ・月別事業所数、受診人数、実施項目などをデータ化
- ・特定健診保健指導対象病院へ制度を把握し流れを構築

## 6. その他

その他、個人情報管理委員会より規定の更新があったため、入院案内を更新。診療情報管理委員会より検査結果用紙見直しに対する議案があり、検査科と協議し検査結果用紙を変更。病院長より睡眠時検査導入の提案があり、検査を実施できる体制にし、健康診断オプション検査としても追加を行いました。また、事務職員として12月に1名増員(受付)があり、平成25年度へ向けての担当変更・業務改善案を検討。平成25年度の目標として「個々のレベルアップ、無駄をなくし業務改善を」を掲げ、職員採用後の業務改善を重要課題とし、その内容は以下のとおりです。

### ○個々のレベルアップ、担当変更(兼務)

平成25年度も今までの業務継続による負担と、新たな業務増加(院内LAN・オーダリングシステム・電子カルテの導入検討、病院機能評価、回復期病棟の準備など)の対応が必要となります。業務的に厳しい状況が想定されるため少し高い設定ではあるが医事課全員対応と結果を残すことを目的に役割分担変更に取り組んでいきます。専門的な知識を継続して深めることと同時に、担当を見直し兼務できる体制も新たに追加し、バランスよく業務を行い効率向上を目指します。

### ○無駄をなくし業務改善を

各担当者からのムダなこともしくは改善できる提案をもとに下記日程で業務改善を行う。

- ・自分の関連業務
- ・自分以外の業務に関すること

4月 外来・入院・庶務・健診・施設管理部門よりそれぞれ提案

5・6月 準備・実行

7月 検証

8月 検証結果をもとに改善

9月 各担当より再度提案

10・11月 準備・実行

12月 検証

1月 検証結果を改善

2・3月 実行・継続・効果について全ての提案を見直す

年間通じて実行し、有効だと考えられる提案の80%の達成を目標とする。

## ドック・健 康 診 断

### I 健診部構成メンバー

事務所 濱口課長、田中知、庄司、松島外來看護師長、放射線科 那須主任、検査科 中嶋

### II 実施健診

協会けんぽ(生活習慣予防検診)

田辺市・上富田町 各種特定健診

田辺市国保ドック

特殊健診(有機溶剤健診、じん肺健診等)

労働安全衛生法に基づく健診(一般事業所健診、集団検診、出張健診)

各種院内ドック(日帰り、生活習慣病、メタボ・動脈硬化、肺、ホルモン・更年期、アレルギー等)

### III 総 括

健診システムの変更から約3年が経ち、毎年受診される方々にも新しいシステムが少しは浸透してきた印象である。

2012年4月中頃から6月の1・2階の改装により病院の印象も明るくなり、さらに健診の順路もおおむね1階部分でカバーでき、受診者の方はもちろん、スタッフにとってもいい環境が整った。

ドック・健診を受診する方は比較的若い年齢層であり、そういった方にこの新しくなった中央病院を見ていただき、また安心して身を任せれる様な病院として認識していただけるような努力が必要である。

「今まで行った事のなかった中央病院に健診で行ったけど、思ってたよりいい病院だったわ～」

「健診で初めて中央病院に行ったけど、職員さんも愛想いいし先生も丁寧やし行って良かったよ。思つてた印象と違ったわ～」

健診を通じて、この様な声が多く聞こえてくるような健診に、病院に、していく事、また新規受診者については、今後当院をリピートしていただく事が重要であり、医師・スタッフのサービス・迅速性など、プロとしてあらゆる面でのスマートさが必要となってくる。

健診に携わるスタッフが皆、同じ方向を向き、同じ価値観を持ち、同じ意識で取り組めるかが、今後の大きな課題となってくる。

#### IV出張健診の変更について

【日時】秋期出張健診(11月21日(水)・22日(木)13:00～16:00) 2日間

平成24年度の出張健診では血液検査、心電図を当院で実施。

○血液検査実施者:233人 ○心電図実施者:225人

昨年まで委託していた上記2項目を院内で実施したことによりコストを削減することができました。

#### 【課題】

上記2項目を院内で実施することに変更したため人手の確保が課題となり、各部門や田辺すみれ苑からの協力により実施することができました。

2日間(13:00～16:00) + 前日15:00～準備

○前日準備 (事務員5名、外来看護師1名、検査技師1名 計6名)

○健診当日 (事務員6名、看護師4名、介護員2名、検査科2名、すみれ苑(応援)事務員1名、  
看護師1名 Dr2名(委託) 計:当院14名、応援2名、Dr2名)

平成25年度も人手の確保が来年以降の課題となります、予定を立て、前もって準備してできる事なので進んで当院で実施できるように取り組んでいきたい思います。

## ドック・健康診断・予防接種

【平成24年度】

### ドック・健康診断受診者数

項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ドック				1	2	4	7	1	2	1		1	19
一般健診	80	53	33	81	49	82	50	57	72	74	84	96	811
生活習慣病予防健診	1		4	25	18	2	6	8	5	11	25	28	133
市検診		7	2	7	3	5	1	3			3		31
B肝		99	2	4						2	3	1	111
ツベルクリン反応							3	3					6
公的機関検診													0
合 計	81	159	41	118	72	93	67	72	79	88	115	126	1,111

その他、毎年夏期・秋期に労働基準協会と提携し多くの事業所を対象とした集団(出張)検診を実施。

○夏期 集団検診 事業所数 22 受診者数 262人 有所見者数 人(46.7%)

○秋期 出張検診 事業所数 14 受診者数 265人 有所見者数 人(56.5%)

### ドック・一般健康診断・生活習慣病予防健診 対象 受診者数と再診の割合

項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総受診者数													
前年度比	100%	47%	90%	135%	93%	67%	108%	131%	210%	64%	88%	89%	93%
有所見者数													
再診者数													
有所見率%	37.1%	50.0%	37.0%	34.8%	39.0%	44.6%	57.0%	33.8%	47.6%	24.4%	39.6%	52.3%	41.0%
有所見者の再診率	8.7%	11.8%	23.3%	22.6%	34.4%	12.0%	24.4%	21.7%	20.0%	10.5%	5.6%	6.5%	17.1%
総受診者の再診率	3.2%	5.9%	8.6%	7.9%	13.4%	5.4%	13.9%	7.4%	9.5%	2.6%	2.2%	3.4%	7.0%

### インフルエンザワクチン予防接種

項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
65歳以上							90	246	58	5			399
一般							21	199	46	5			271
職員								93	5	1			99
計							111	538	109	11			769

### B型肝炎ワクチン接種

項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
B型肝炎ワクチン接種	4	2	4							2	1		13

## 総務課

事務次長 稲垣之源

### I 総務課職員構成

事務次長 稲垣之源（総務課長兼務）  
会計課主任 土井千鶴  
施設管理主任 岩城寿之  
庄司智乃  
嘱託 古久保好秀  
嘱託 塚文生

### II 総評

平成24年度の大きな事業として病院改修工事があり、それに伴い機械、備品が大幅に更新された1年でありました。

人事面では、回復期病棟の立ち上げに向かって、セラピスト7名の増員があり、また、長年入職が無かった薬剤師をはじめ放射線技師、管理栄養士が増員となった年でもありました。

院内外が新しくなったことで、田辺中央病院の'変化'を新聞、ホームページその他の媒体でアピールすることが出来るようになりました。それによって、なによりも嬉しい事として、近隣の皆様や患者様、周囲の方々より"病院がよくなつたねえ"とのお声を掛けて頂けるようになつたことでした。

平成25年6月末には病棟の改修も終わります。建物、備品等目に見えるものは新しくなりましたが、これからは、病院としての中身、質という目には見えないものの価値を問われることになります。

現在、院内では様々な研修や勉強会を行っています、我々が今一番必要なことは上質を身につけるということです。研修、勉強会を継続することによって、少しでもその質を上げる、それこそが、病院としての目標であり使命であると考え、職員一人ひとりが'進化'するための手段を、総務課の役割の中で考えて行きたいと思います。

次年度はその手段の一つとなる、病院機能評価の準備に入り、また、電子カルテに向かっての情報整理がスタートします。

#### IV 人事関係

○本年セラピストが 7 名増員となりリハビリテーション科が活気づき、院内の勉強会のなかで一生懸命研究発表している光景が見られるようになりました。本年度も、セラピストの学校訪問、就職説明会へ参加しました。徐々ではありますが、採用へと繋がってきているように感じていますので、今後も引き続き続けて行きたいと思います。

○金本医師が 9 月に整形外科部長として着任したことにより、整形外科の患者様が増加し改装された手術室でコンスタントに手術をして頂ける運びとなりました。

○看護師の入退職では、日勤の看護師は増加しましたが、夜勤の出来る看護師は厳しいまま推移し、来年度はより計画的、積極的な勧誘が必要となっています。平成 25 年 5 月には病棟の改修工事が始まります。新しくなった病棟やナースステーションをホームページ内や新しく病院パンフレットを作成し、そこで看護部を積極的に紹介する事で看護師の勧誘を計っていきたいと思っています。

○本年度より、人事考課制度を導入しました。12 月の賞与を対象とし 11 月に自己評価及び評価者による個人評価を行い約 1 月をかけて評価決定をしましたが、今回は初めての試みでもあり賞与への反映は少ないものとなりましたが、今後毎年 6 月、11 月に人事考課委員会を開きより公平な人事考課制度の確立にむけて取組んで行きたいと思います。

○2 月、3 月に初めての外部業者による接遇研修を行いました。2 時間にわたる研修でしたが、受講者の感想もよく、毎年定期的に続けて行きたく思います。

#### V ホームページ

当院ホームページに関しては、アクセス数が 1 日平均 80 件、職員採用面接の折に、ホームページをみて応募しましたとの話をよく聞くようになりました。本年は各診療科を紹介しそこで働く職員の顔を紹介することにより、より親しみやすさを感じて頂くようにしました。

病棟の改修後は、新しくなった病棟の紹介とともに看護部を積極的にアピールしたいと思います。

また、人工関節センターの紹介を盛り込み、関節痛で苦しむ多くの患者様にご案内できればと思っています。

今後もシンプルで且つ親しみやすく、優しいイメージで当院の情報を広報誌と共に発信して行きたいと思います。

## VI 行事

年間行事のなかで、恒例の地域の行事に本年も参加しました。

7月は伝統の田辺祭りで、リハビリテーション科の新人職員が参加し、笠鉾を引いて市内を巡行する暑い中の大変な行事ですが、町内会長をはじめ町内の皆様に大変喜んでいただくことが出来ました。

8月には商店街振興組合主催のヤーヤー祭りに参加し、院内では血管年齢測定や血圧、骨密度等の無料測定を行い、玄関前では、かき氷やジュースの無料配布をして、改修工事後の新しくなった病院を皆様にご披露させて頂きました。

今後も地域に密着した病院として、様々な行事に参加し中央病院を多くの皆様に理解して頂き、地域に必要とされる病院となるべく、計画、実行して行きたいと思います。

1月には恒例となった新年会を行いました。今回は田辺すみれ苑との合同新年会となり、参加人数も総勢 120 名となり職員によるアトラクションもあって、楽しいひとときを過ごすことが出来ました。

田辺すみれ苑との職員間での交流として、田辺すみれ苑での夏祭り、新年の餅つき大会、中央病院ではヤーヤー祭り、また、真夏のソフトボール大会と相互に助け合いながら今後も交流を深めて行きたいと思います。

## 人事関係

### 【入職・退職者数】

職種	入職者	ハローワーク	紹介業者	その他紹介	すみれ苑より	直接	(人)
							退職者
医師	1				1		
看護師	9	3	2	2	2		5
准看護師	3	1		1	1		7
看護補助者・助手	10	7		3			1
理学療法士	5	1		2		2	
作業療法士	2			1		1	
放射技師	1					1	
薬剤師	1			1			
管理栄養士	1	1					
事務職	2	1		1			1
計	35	14	2	12	3	4	14

○本年度の入職者の目立った動きとしましては、昨年より20名増員となり、回復期病棟立ち上げの目標のもとセラピストが7名増加したこと、また、長期に渡り、採用がなかった薬剤師が入職したことありますが、慢性的な看護師不足は変わらず、夜勤可能な看護師の増員が望まれます。

○金本医師がはまゆう病院より整形外科部長として9月入職。

○入職者の4割はハローワークからの紹介で、3割が、職員その他関係者の紹介からとなりました。

○退職者では、主な退職理由として、結婚や、夫の転勤等転居によりが5名、病気等によるが3名、家庭の理由での退職が3名となっています。

### 【入退職者月別動向表】

入職者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
看護師	2	1			2				1	1	1	1	9
准看護師		1			1	1							3
補助者・助手			1						2		2		5
セラピスト	3	2			1						1		7
放射線科							1						1
薬剤師					1								1
管理栄養士				1									1
事務					1				1				2
その他	1								1	1		2	5
医師						1							1
合計	6	4	1	2	5	2	1		5	2	4	3	35

### 退職者

看護師			1						2		2		5
准看護師													0
看護補助	1				1	1	1		1				5
技術												1	1
事務									1				1
その他											2		2
合計	1			1	1	1	1		2	2		5	14

### 【学校訪問先(就職説明会含)】

[ 近畿リハビリテーション学院・阪奈中央リハビリテーション・和歌山国際厚生学院・ ]

関西総合リハビリテーション・関西医科大学・県薬剤師会・熊野高校

本年度、関西総合リハビリテーション専門学校の就職説明会に参加して1名の入職者が決定しました。

今後は、実習生の受け入れも考えながら、採用に結び付けて行きたいと思います。

### 【紹介業者訪問先】

大阪にある紹介業事務所へ前田理事をはじめ、事務長、名谷病院関係者と合同で、医師の紹介依頼も含め下記の業者を訪問しました。

(メディカルステージ・メディウェル・リクルート・マーキュリー・キャリアブレイン・ソシオメディカル)

本年度は看護師2名が紹介業者を通じ入職となりました。(㈱アイビーメディカル、㈱ディンプ)

本年度、関西総合リハビリテーション専門学校の就職説明会に参加して1名の入職者が決定しました。

今後は、実習生の受け入れも考えながら、採用に結び付けて行きたいと思います。

【各種職員表彰者】

主 催 機 閣	表 彰 名	職 種	氏 名
和歌山県病院協会	優秀職員会長表彰 永年勤続者会長表彰（20年）	看護師長 看護師	坂本 秀和 内谷万美子
田辺市救急医療週間推進協議会	救急功労者表彰	検査技師	中嶋 欣也
田辺市医師会	永年勤続医療従事者表彰（15年）	放射線技師	那須 満
田辺中央病院	永年勤続者表彰（10年）	看護師	鈴木富士子
	〃	〃	吉川 とよ子
	〃	〃	谷 津也子
	〃	〃	山下 智美
	〃	〃	楠本 敏子
	永年勤続者表彰（20年）	管理栄養士	藤岡美保子
	永年勤続者表彰（30年）	看護師長	松本 澄人
	〃	看護師	山本みちる
	〃	検査技師主任	楠本 康人
	〃	施設管理主任	岩城 寿之

○和歌山県病院協会主催の表彰は2年ごとに行い、優秀職員会長表彰は20年以上勤務し、各病院1名限定の永年勤続者会長表彰は、同一病院において公的病院は30年、私的病院では20年以上勤務した者が対象となり10月に行われた第14回和歌山県病院大会にて表彰されました。

○田辺市救急医療週間推進協議会主催の救急功労者表彰は毎年、救急医療に功績のあった職員を表彰し、田辺市長・田辺市医師会会長連名の表彰となり、市長室にて表彰されました。

○田辺市医師会主催の永年勤続医療従事者表彰は、看護師以外で同一医療機関で15年以上勤務している者が対象となり田辺市医師会定時総会にて表彰されました。

○田辺中央病院の永年勤続者表彰は勤続10年、20年、30年に該当する職員を対象に、4月の運営会議のなかで表彰式が執り行われました。

【看護師免許合格者】

○准看護師として実務経験が10年以上が経過し、看護専修学校通信課程（2年）を終了後、当院在籍中に看護師国家試験に合格した職員です。

平成19年度	内谷万美子・山本みちる
平成20年度	宮本てるみ
平成22年度	中村かおり
平成23年度	谷津也子・鈴木富士子
平成24年度	松本知与・瓦谷三栄子・富田志織

## 各 種 委 員 會 活 動



## 病院運営委員会

当委員会は原則、月1回開催しております。(第3火曜日17:00~)

委員会の構成は、理事、顧問、医局2名(院長、副院長)、看護部門6名(総看護部長、副総看護部長、各看護後師長、介護主任)放射線科1名、検査科1名、薬局1名、リハビリテーション科1名、栄養科1名、事務部門5名の19名です。(場合によっては各委員会より担当者が出席する場合もあります。)

当委員会は、当院の活動状況の報告と実施予定の計画についての検討・承認等、病院運営に関する事案についてを議論しております。病院の運営に関する最終承認の場になるところであるため、議事録は委員会終了後1週間以内に各部署に配布し職員全体に周知しております。

各部署の責任者が全て参加する会議ですので、報告・承認の場に止まらず、病院運営に関する積極的な提案が出来る会議にし委員会を通じた病院の活性化をさらに図りたいと考えます。その為、H24年度は各部署から実績を報告することとし、毎月の「数字」の確認と今後への取り組みを考えることを習慣として行えるようにし、事務方だけでなく看護部門・パラメディカル部門等が病院の経営に参加する意識を高め病院運営への積極的な参画を促進することを目標に運営しました。

今年度の主な議案は下記のとおりです。

各部署からの実績報告(毎月)	4月の改正に伴う施設基準の届出について
田辺すみれ苑の状況報告	亜急性期充実加算について
外来改裝工事の実施と予定について	10:1入院基本料の取得
平成23年度診療実績について	脳血管リハビリⅠの施設基準について
医業収益及び今後の方向性について	一般病棟90日超患者の取り扱い
医師・看護師・コメディカル確保について	療養病棟療養環境加算について
人事考課制度導入、奨励金について	亜急性期病床の増床について
院内・院外研修計画について	手術の届出について
新入職員教育について	厚生労働省 疑義解釈について
接遇研修の実施について	看護必要度について
管理職研修について	ICTと感染防止対策委員会の活動について
医師の退職と入職について	薬価の購入価格について
清掃業務の委託について	ICTの活動と広域抗生素の使用について
手術室の改裝について	ホームページについて
9月からの外来予定について	広報誌発行について
外来待ち時間対策について	嗜好調査について
リハビリスタッフの増員と対応について	栄養管理ソフトの導入について
リハビリ実施中の緊急時の対応について	消防署立入検査について
薬剤の包括金額・購入の差益	田辺保健所病院立入検査について
上半期の総括と下半期について	生活保護法による指定医療機関に対する個別指導について
パックスシステムの運用について	田辺すみれ苑・紀成福祉会との親睦ソフトボール大会について
CT、MRIの紹介撮影について	病院協会ソフトボール大会について
MRI検査のリスク管理について	田辺祭りについて
デジタル化に伴うリスク管理について	田辺祭りへの参加・協力について
院内LANの整備	ヤーヤー祭りへの参加について
オーダリング・電子カルテ導入について	田辺すみれ苑餅つき大会について
病院機能評価の受審について	中央病院・すみれ苑合同新年会について
サービス付き高齢者向け住宅の計画	合同防災対策訓練について
ご意見箱への対応について	病棟改修工事について
睡眠時無呼吸症候群の検査導入について	平成24年度の年報作成について
出張検診の対応について	救急検証記録の開始について
医療事故報告について	

## 医療安全管理委員会

### ○:参加メンバー

浅井院長・鈴木看護部長・松本副総看護師長・坂本看護師長・小池看護師長・松島看護師長  
高岡事務長・笠松薬局主任・那須放射線技師主任・上森リハビリ主任・中嶋検査技師  
藤岡管理栄養士・上山相談員

### ○:委員会について(毎月第4週月曜日開催)

4月:ヒヤリハットの提出は、地域連携室が担当となる。

新年度となり、研修会(院内、院外、各委員会)の充実を図る事を目標とする。

5月からの病院改修工事に向けた対策を検討する。

13件の報告があった。

5月:病院改修工事が始まり、患者の安全管理についての議論を行う。

6件の報告があった。

6月:事例検討を行う。

処方箋の転記ミスについて →記入、確認方法の徹底を再度行うこととする。

入院患者が無断外出した件について→再発防止に向けた対策を行う。

15件の報告があった。

7月:報告書の記入方法についての議論を行う。

報告書の記入については、原則発見者とし、情報の共有化を図ることとし  
同じミスを繰り返さないよう対策をする。

医療安全管理者は、小倉師長から坂本師長が担当となる。

13件の報告があった。

8月:事例検討を行う。

IVH、喀痰吸引対象者に関する対応方法について。→重症管理者に対する業務の確認事項  
周知徹底を図る。

11件の報告があった。

9月:事例検討を行う。

ストレッチャー移動時に行った転落事故について。→再発防止に向けた、対策と移動方法の  
確認を行う。

11件の報告があった。

10月:医療安全の研修会参加報告を行う。 参加者・坂本看護師長

事故報告書記入に関しての注意点、01レベル、02レベルについてなど

12件の報告があった。

11月：報告書の作成に対して、インシデント、アクシデントの仕分けについての検討を行う。  
情報の共有についての検討を行う。  
胃カメラ検査前の事例についての検討を行う。→再発防止のためのマニュアルを作成する  
23件の報告があった。

12月：報告書についての検討を行う。  
アクシデント報告は多いが、インシデントについての報告が少ないとことについて、  
事故を未然に防ぐためにも、インシデントの報告が重要であることを議論を行った。  
10件の報告があった。

1月：事例検討を行う。  
入院患者が他院に転院する際に不備があったことについて。  
→事務、看護師サイドでのマニュアル作成を行った。  
10件の報告があった。

2月：報告書の問題点、記入方法などについての検討をする。  
病棟改装工事に伴っての、医療安全面での議論を行う。  
9件の報告があった。

3月：安全管理について  
現在、坂本師長が推進責任者であるが、4月より入職する、木村副総看護師長にも担当してもらう。  
定期薬処方の記入についての検討を行う。→誤薬防止の為に、再度、現状でよいのか  
検討を行った。  
14件の報告があった。

※総評として  
ヒヤリハット報告書の件数が少ない状態である。個々レベルでの報告は出ていたようであるが  
報告書として上がっていらないのが現状である。報告書が上がってくる状態にすることが、事故を  
未然に防げることにつながっていくことになる。

## ヒヤリ・ハット 事故報告の分析

平成24年度分

種類	インシ	アクシ
注射	23	15
内服	30	16
検査	11	3
処置		1
転倒・転落	3	15
打撲等	1	
皮膚剥離	3	
誤嚥等		
指示受け等	7	2
その他	8	9
合 計	86	61

種類	3F	4F	5F	外来	薬局	事務	放射科	検査	リハ	階・廊	駐・玄	その他	合計
注射	10	10	5	7	4							2	38
内服	1	10	8	2	24							1	46
検査	2	3	1	3			1	4					14
処置												1	1
転倒・転落	3	8	6									1	18
打撲等	1												1
皮膚剥離	1	1	1										3
誤嚥等													0
指示受け等	2	1		3								3	9
その他	2	2	5	2		1		1	1			3	17
合 計	22	35	26	17	28	1	1	5	1	0	0	11	147

時間	インシ	アクシ
9:00～10:00	15	6
10:00～11:00	17	10
11:00～12:00	12	5
12:00～13:00	2	2
13:00～14:00	5	3
14:00～15:00	2	8
15:00～16:00	3	2
16:00～17:00	4	3
17:00～18:00	3	4
18:00～19:00	3	1
19:00～20:00	3	2
20:00～21:00		1
21:00～22:00	1	2
22:00～23:00	2	1
23:00～0:00		1
0:00～1:00	1	1
1:00～2:00		
2:00～3:00	1	1
3:00～4:00		1
4:00～5:00		
5:00～6:00	1	1
6:00～7:00	3	1
7:00～8:00	3	2
8:00～9:00	5	3
合 計	86	61

時間	3F	4F	5F	外来	薬局	事務	放射科	検査	リハ	階・廊	駐・玄	その他	合計
9:00～10:00	2	4		4	10		1						21
10:00～11:00	2	2	4	5	7			4				3	27
11:00～12:00	3	2	3	2	4			1				2	17
12:00～13:00		1	1		2								4
13:00～14:00	2	2	1		2				1				8
14:00～15:00	2	2	1	2	1							2	10
15:00～16:00	1	2	1		1								5
16:00～17:00	1	4	1			1							7
17:00～18:00	2		3		1							1	7
18:00～19:00		2	1	1									4
19:00～20:00		4										1	5
20:00～21:00	1												1
21:00～22:00	2			1									3
22:00～23:00		1	2										3
23:00～0:00				1									1
0:00～1:00		1	1										2
1:00～2:00													0
2:00～3:00	1		1										2
3:00～4:00			1										1
4:00～5:00													0
5:00～6:00	1		1										2
6:00～7:00		2	1	1									4
7:00～8:00	1	3	1										5
8:00～9:00	1	3	2									2	8
合 計	22	35	26	17	28	1	1	5	1	0	0	11	147

種類	3F	4F	5F	外来	薬局	事務	放射科	検査	リハ	階・廊	駐・玄	その他	合計
うっかり	6	11	5	6	2	1		2				2	35
思い込み	4	2		4	5			1					16
確認不足	13	17	13	15	22	1	1	3				4	89
システム上の問題				5	1	1		1				1	9
その他	4	12	7	1	1			1	1			1	28
												0	0
												0	0
												0	0
合 計	27	42	25	31	31	3	1	8	1	0	0	8	177

## 医薬品安全管理委員会

医薬品安全管理委員会の報告です。H24年度は12回開催されました。  
医薬品安全管理に関する配布物や議論は以下の通りです。

開催日	情報源	内容	対処	DIニュース発行
2012/4/23		1 パンコマイシン・ロカルトロールの切替に伴う諸注意 5 血液製剤のヒヤリハット事例	各部署配布 各部署配布し注意喚起	4
2012/5/28		1 抗不整脈・昇圧・免疫抑制剤の一覧作成	看護部に配布	1
2012/6/25		1 オメプラール注の混濁 1 フェロミア+ビタミンC製剤は無効 4 ブスコパン注のショック 4 モーラステープの光線過敏症	各部署配布し注意喚起 各部署配布 各部署に配布し注意喚起 外来で配布し注意喚起	3
2012/7/23		4 オメプラール注配合変化表 1 抗生物質適正使用のマニュアル作成	各部署配布 各部署配布。感染対策委員会と兼用	1
2012/8/27		1 サムスカ錠の適正使用 4 アルコールと手指衛生のリーフレット 4 フォルテオ注の使用方法説明書	高ナトリウム血症に注意喚起 看護部に配布。感染対策委員会と兼用 病棟配布	3
2012/9/24		1 抗生剤点滴時間の統一 1 DPPIVとインスリンの併用に関する注意	副作用回避と効果増強のため全薬剤一時間と統一 適応症の確認	1
2012/10/22		リンデロン懸濁液を静注した報告について 医師の指示リンデロン4mg→在庫リンデロン懸濁液2.5mg →懸濁液を静注→後に静注不可と判断 本日委員会で討議→右記事項を決定	懸濁液は静注禁止の周知徹底 アンプルの箱に大きな赤文字で「禁・静注」 リンデロン注4mg口座カット 静注可能なステロイド剤は「デカドロン」で採用	2
2012/11/26		1 タミフル使用のQ&A 3 手術時の火傷事故について 3 気管切開チューブの取り扱い時の注意について 3 グリセリン浣腸の取り扱い時の注意について 2 手術中の光源コードの先端による熱傷 2 病理診断報告書の確認忘れ	季節の前に再確認 注意喚起 注意喚起 何度も言われる事故なので注意再確認 注意喚起 注意喚起	2
2012/12/17		2 硬膜外腔に持続注入する薬剤の誤った接続 2 放射線検査での患者取り違え 1 名称類似医薬品一覧	接続箇所の確認喚起 患者確認方法の徹底 写真付きで作成。注意喚起	4
2013/1/22		6 輸血・血漿分画製剤使用の前に(2種)	血液製剤の使用法の確認。安全性の確認	3
2013/2/25		2 輸液ポンプ等の流量と予定量の入力間違い 1 フェジン注の適正使用 1 インフルエンザ吸入薬で死亡	全量と流量の取り違え確認の喚起 定期的な検査の実施を依頼 類薬で発生。呼吸器系疾患に注意喚起	7
2013/3/25		DIニュースは翌月の月初に一ヶ月分を取りまとめ再配布	左記決定	0

年間31回

平成25年度

2013/4/22	1 5	エフオーワイの血管炎・投与速度・配合変化 輸血関連急性肺障害	エフオーワイの使用時の諸注意再確認 輸血時の呼吸困難に注意喚起	3
-----------	--------	-----------------------------------	------------------------------------	---

### 情報源 一覧

- 1…薬局作成
- 2…医療安全情報(公益財団法人日本医療機能評価機構)
- 3…PMDA医療安全情報(独立法人医薬品医療機器総合機構)
- 4…メーカー販促物
- 5…日本赤十字血液センター
- 6…輸血用血液製剤及び血漿分画製剤投与時の効果的なインフォームドコンセントの実施に関する研究

## 感染対策委員会

診療報酬改定に伴い、感染防止対策加算の見直し(医療安全対策加算とは別に評価)が行われ、当院は感染防止対策加算2(入院初日)100点の施設基準を取得することになりました。

主な施設基準は、

- ①300床未満の医療機関、感染防止に係る部門を設置
- ②3年以上の経験を有する専任医師、薬剤師、検査技師、5年以上の経験を有する看護師配置
- ③年に4回以上、感染防止対策加算1を算定する医療機関が開催するカンファレンスに参加すること。

施設基準を取得するにあたり、4月にICT(感染対策チーム)を立ち上げています。メンバーは、医師 田中みやこ、医師 伊東了、薬剤師 笠松泰成、検査技師 中嶋欣也、看護師 松本澄人、事務 芝崎修平の6人です。

当院は、感染防止対策加算1を取得している紀南病院の開催するカンファレンスに日高総合病院、玉置病院とともに参加し指導を仰ぎ、院内感染対策体制を確立し、適切かつ安全で質の高い医療を提供できるよう活動しています。

ICTは、院内ラウンドの経験がないため紀南病院のICTラウンドに参加見学させて頂き当院のラウンドに役立てました。また薬剤部より、抗菌薬適正使用マニュアルを作成しラウンド時に適正使用されているか否かのチェックや感染患者の隔離等の指示をだして感染防止対策に当たっています。

LNT(リンクナースチーム)も立ち上げています。

メンバーは、5階 後藤文子、4階 山本みちる、3階 内谷万美子、2階 下地朱美、理学療法科 翠川正博の5人です。LNTはICTの実行部隊としてICTと現場とのつなぎ役となり感染対策推進の各部署の役割モデルとして、感染対策業務を実行してくれています。LNTの看護部門の4人は、5月から喀痰吸引と尿道カテーテルの感染対策研修会に3回出席し手順の作成と手順通りに行われているかのデータの収集に取り組んでいます。

院内教育として、手洗いのアンケート調査を実施しました。手洗いはまづまづできているような回答だったが親指を洗えていない看護師と介護員を含め 18人(33%)もいる、効果的な手洗いがなされておらず手には細菌が付着したまま患者の処置をしていることになります。

また、手袋をはずした後擦式アルコール手指消毒をしていない人が 14人(25%)とこれも手袋をしている間に細菌が増殖した手で次の処置をすることになる。手洗いの重要性の理解が足りないので上記のアンケートの後、7月上旬にサラヤ株式会社による「手洗い」について、同月下旬に『標準予防策だけでは防げない感染経路別予防策』と題して紀南病院感染管理認定看護師中本千秋さんに講義を依頼し開催して頂き感染対策の啓蒙に取り組みました。感染対策の基本として「手洗い」を徹底するよう今後とも教育啓蒙していきたいと思っています。

また ICT では病院環境を清潔にしようと環境整備に次亜塩素酸ナトリウム配合で食品にも使用できる「ウィルバス」を12月6日より使用し、平成24年度末の時点で院内からノロウイルスなどの感染症は発症していない。  
今後も手洗いのみならず環境の整備と汚染物の取り扱いと消毒も同時に教育啓蒙していきたい。

スタンダードプリコレーション(標準予防策)実践状況チェックポイントのアンケート調査  
(看護師43名と介護員11名)の結果。

アンケート項目	看護師		介護員	
	できている	できていない	できている	できっていない
1. 状況に応じて手洗いと擦式消毒用アルコール製剤を使い分けているか?	41 (95%)	2 (5%)	11 (100%)	0 (0%)
2. 脱時計・指輪をはずしているか?	37 (86%)	6 (14%)	11 (100%)	0 (0%)
3. 指先・爪の先が洗えているか? (擦式消毒用アルコール製剤も同様)	40 (93%)	3 (7%)	7 (63%)	4 (37%)
4. 手のひらが洗えているか? (擦式消毒用アルコール製剤も同様)	43 (100%)	0 (5%)	11 (100%)	0 (0%)
5. 指の間が洗えているか? (擦式消毒用アルコール製剤も同様)	42 (97%)	1 (3%)	10 (91%)	1 (9%)
6. 魚指は全体を他方の手のひらで包み込み、よく洗っているか? (擦式消毒用アルコールも同様)	29 (67%)	14 (33%)	7 (63%)	4 (37%)
7. 手の甲が洗えているか? (擦式消毒用アルコールも同様)	39 (90%)	4 (10%)	11 (100%)	0 (0%)
8. 他の患者の処置に移る前に必ず手洗い、または、擦式消毒用アルコール製剤を使用しているか?	32 (74%)	11 (26%)	11 (100%)	0 (0%)
9. 一処置一手洗いの原則を意識しているか?	39 (90%)	4 (10%)	9 (88%)	2 (12%)
10. オムツ交換時や排泄介助時は、そのど手袋を着用しているか?	38 (88%)	5 (12%)	9 (88%)	2 (12%)
11. オムツ交換や排泄介助後は、同一患者でも他の部位に触れる前に手袋を交換しているか?	35 (81%)	8 (19%)	7 (63%)	4 (37%)
12. 手袋で処置した後、汚染されない物に触れる時は、手袋をはずしているか?	39 (90%)	4 (10%)	11 (100%)	0 (0%)
13. 手袋をはずした後は必ず手洗いを行なうか、または擦式消毒用アルコール製剤を使用しているか?	38 (88%)	5 (12%)	11 (100%)	0 (0%)
14. 手袋は周囲を汚染しないようにはずしているか?	43 (100%)	0 (0%)	11 (100%)	0 (0%)
15. はずした手袋は周囲を汚染しないように速やかに廃棄しているか?	40 (93%)	3 (7%)	11 (100%)	0 (0%)
16. 咳嗽がある患者に近く時や自分自身に咳嗽がある時は、サーナカルマスクを使用しているか?	39 (90%)	4 (10%)	10 (90%)	1 (10%)
ここからは病棟看護師(37人)のみを対象としています。				
17. オムツ交換の必要物品として、手袋・擦式消毒用アルコール製剤を準備しているか?	30 (81%)	7 (19%)	10 (90%)	1 (10%)
18. オムツを開ける前に手袋を着用しているか?	34 (91%)	3 (9%)	10 (90%)	1 (10%)
19. オムツは周囲を汚染しないように交換しているか?	36 (97%)	1 (3%)	11 (100%)	0 (0%)
20. 交換したオムツは、周囲を汚染しないように処理しているか?	35 (94%)	2 (6%)	10 (90%)	1 (10%)
21. 交換後、周囲に触れないうちに手袋をはずしているか?	35 (94%)	2 (6%)	10 (90%)	1 (10%)
22. 手袋をはずした後、擦式消毒用アルコール製剤を使用しているか?	28 (75%)	9 (25%)	6 (54%)	5 (46%)
23. 擦式消毒用アルコール製剤を使用した後にベッド檻を上げているか?	16 (43%)	21 (57%)	6 (54%)	5 (46%)
24. 汚染された手でベッド檻に触れた時に、清掃しているか?	22 (59%)	15 (41%)	5 (45%)	6 (55%)

## 感染対策チーム( Infection Control Team)

今年度 4月より感染対策委員会の下部組織として ICT が発足。年 4回の国保日高総合病院、洗心会玉置病院、社会保険紀南病院との合同カンファレンスを開催し、院内の感染防止対策推進に努めることとなった。

### メンバー

田中みやこ医師 伊東了医師 松本澄人副総看護師長 中嶋欣也検査技師

笠松泰成薬局主任 上山貴之相談員 芝崎修平医事職員

### リンクナースチーム(LNT)

内谷万美子看護師 山本みちる看護師 後藤文子看護師 下地朱美看護師

翠川正博理学療法士

※1月以降 鈴木総看護師長並びに病棟看護師数名が毎月会議に出席

### 4月

ICT 発足

### 5月

5/29 第一回合同カンファレンス参加(感染対策上の管理体制、各種システム運用の確認)

### 6月

6/6 第一回目の ICT 会議 以降月一回 ICT 会議の開催の決定 リンクナース発足

6/12 抗生剤使用の規定を作成

6/20 第一回目の院内ラウンド 以降週一回のペースで実施 ICT 報告会を開始

特定抗生剤使用者リストの作成・配布

### 7月

7/18 第二回目目の ICT 会議

7/18 講習会「標準予防策だけじゃ防げない感染経路別予防策」

を紀南病院 感染対策室 中本千秋師長を招き実施

抗生剤使用者の要注意例において ICT からのコメントを発布

抗生剤投与の現状確認と症例検討を実施

手洗い講習会の実施

8月

接触予防策が必要な患者へのマーキングを実施

9月

標準予防策に関する講習会を実施

9/20 第二回合同カンファレンス参加(院内マニュアルの策定報告・運用状況確認)

11月

11/29,11/30 クロストリジウムに関する院内研修の実施

院内TPN取り扱いの統一

耐性菌保菌患者リストの作成、配布開始

12月

12/6 環境消毒を「0.5%ラボテックアルコール」(グルコン酸クロルヘキシジン)から  
「ウイルバス」(次亜塩素酸ナトリウム)に切り替え

12/13 第三回合同カンファレンス(耐性菌対応策・ノロウイルス消毒方法等)

ICT会議を月1回とし感染対策に則る看護業務の確認・編成にシフト

1~3月

1/29 臨時合同カンファレンス(IVH ルート交換・塩素系消毒剤による環境整備等)※

看護師病棟業務の見直し、ICT会議への看護師参加枠の拡充

3/5 第四回合同カンファレンスの実施(H24年度の活動評価及びH25年度の目標設定)

※12/13 第三回合同カンファレンスにおいて田辺中央病院より看護部門の欠員。これを補うため社会  
保険紀南病院の協力のもと1/29 臨時の合同カンファレンスを開催。

## 診療録管理委員会

### I メンバー

大上地域連携室室長、鈴木看護部長、垣下薬剤師、狭口放射線技師、崎山理学療法士

稻垣事務次長、濱口事務課長、坂本医事課主任、庄司総務職員、芝崎医事職員

※平成 24 年度 11 月より上山相談員→垣下薬剤師に交代

平成 25 年度 4 月より濱口事務課長が抜け、木村副看護部長、井沼医事職員が参加

### II 目的

診療情報の適正な管理方法を定め、運用を円滑にすることを目指す。

### III 活動内容

#### ○診療録開示手続きの明確化

診療録開示に関する手続きの見直し及び刷新をし、各部門長の承認、開示場所の確定など。

#### ○診療録内の帳票の綴り順のルール作り

診療録内の帳票の綴り順について再度確認。また入院カルテについては退院後に医事・看護部門で再度確認し綴じなおすこととした。

#### ○帳票の変更

検査・食事箋の管理・運用について確認。また帳票のデザインを刷新し利便性を向上。

#### ○外来処方箋及び定期薬リスト、外来診療録の運用見直し

外来処方箋、定期薬などの整理のため診療録の一部にファイルを用いるなど見直し。

#### ○診療録保管庫の整備及びレントゲンフィルム等診療情報の保管場所の変更

様々な場所に別個に保管していた診療録・診療情報の保管場所を集約した。

不要な診療録、レントゲンフィルム、健康診断に関わる書類の整理・廃棄。

また診療録保管庫を新設した。

#### ○診療録紛失時の対応規定の取り決め

診療録紛失時の院内対応の規定を定める。紛失報告書の作成、管理者を決定。

#### ○オーダーリング及び院内 LAN についての準備

院内情報の電子化に向けて準備進める。院内の帳票・情報のリストアップ等を行う。

## 個人情報管理・倫理委員会

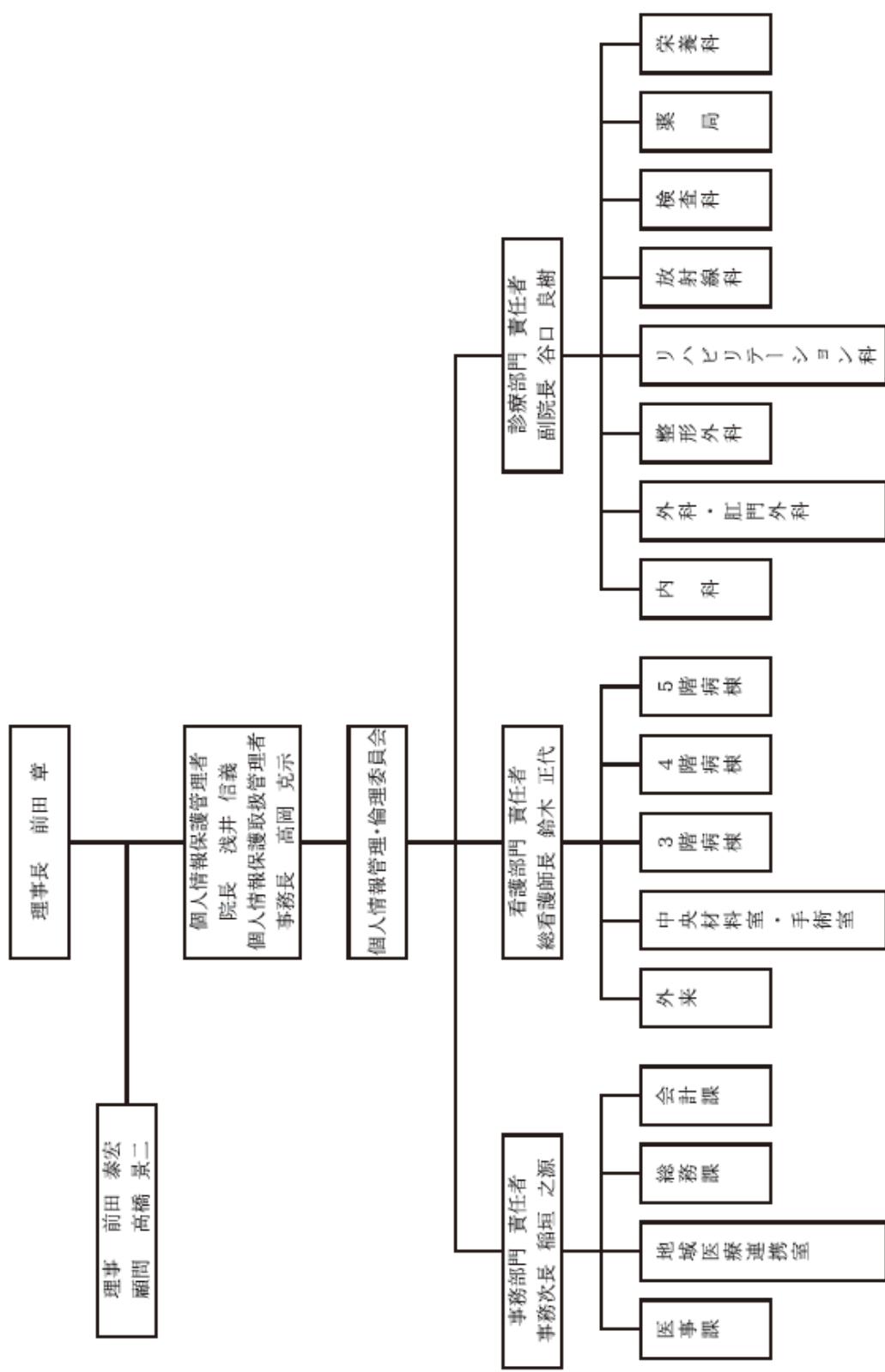
### ○活動目的

個人情報の取り扱い方を見直し、改善する。  
病院倫理にそった行動をするように指導・支援する。

### ○平成 24 年度 委員会活動の流れ

- 5月 個人情報管理・倫理委員会発足
- 6月 病院内の個人情報に関する資料を集め、現状や問題点などを出す。
- 7月 病院・患者間、病院・新入職員間での個人情報に関する誓約について見直す。  
院内規則の置き場所や改正について話し合う。
- 8月 「個人情報保護に関する基本方針」を見直し、再作成を行う。  
新人才オリエンテーションの実施の仕方について話し合う。新人研修資料は全採用職員用と必要に応じて各部署での資料を用意する。
- 9月 個人情報に関する研修の実施に向け準備をする。
- 10月 入院患者に配布していた「入院のご案内」と「個人情報の取り扱いについて」の用紙を1冊にまとめる。個人情報に関しての同意書は作らず、同意できない場合にだけ申し出もらうように取り決める。
- 11月 個人情報に関する研修を年1回以上行うことが決定。
- 12月 個人情報に関する疑問や問題から、対策をマニュアル化する作業を始める。
- 1月 個人情報に関する責任者が決定し、「個人情報 Q&A」の作成を開始する。
- 2月 個人情報に関する責任者によって作成された「個人情報 Q&A」を、委員会メンバーに配布し、意見を出し合う。
- 3月 「院内用個人情報 Q&A」作成。

医療法人研医会 田辺中央病院 個人情報保護・管理に関する組織図



## 広報委員会

当委員会は当病院の組織や運営状況について、広報誌やインターネット等によって積極的に情報を提供することを目的としています。

### ●活動内容

- (1) 情報提供に関する基本方針の策定に関すること
- (2) 情報提供に関する各部局等との連絡調整に関すること
- (3) 当院に関する広報誌等の編集及び発行に関すること
- (4) 田辺中央病院の公式ホームページの編集及び管理に関すること
- (5) その他当院の情報提供に関する重要事項

### ●広報誌“心”的発刊

第5号(平成24年7月発刊)

主な記事

- 外来・待合 改装・改修
- 各部門
- 放射線科 リニューアル
- リハビリテーション 親入職員紹介
- リハビリテーション科

第6号(平成24年10月発刊)

主な記事

- 医師紹介 整形外科部長 金本成熙
- 手術室・中央材料室 改装
- 地域医療連携室 発足1年を迎えて
- 手洗いうがいで感染予防

平成24年度は病院近辺地域との交流を深めるため、また1・2Fの改装・改修工事を実施したこともあり、病院周辺の商店を中心に工事期間中の交通や騒音のお詫び、金本整形外科部長着任に関する情報なども含め広報誌第5号を約300部配布。約10か所で継続的に広報誌設置にご協力頂けたこととなった。また逆にお店の情報誌・カタログ・パンフレットを置く場所を病院待合に設けた。

広報誌第6号は金本先生の紹介を掲載したため、1回目の訪問時に金本先生の話題があったところを中心に配布。今後も交流を積み重ね、年に1度は継続的な挨拶回り、情報提供を実施していく。

平成24年度 院外研修実施報告

月	日時・参加者	テーマ・内容	備考(費用)
4月			
5月	29日 鈴木(正)・松本(澄)	感染対策医療連携カンファレンス	
6月	3日 鈴木(正)・坂本 30日 鈴木(正)・下地	看護必要度研修 (看護研修センター) 感染ネットワーク研究会	研修費7000円×2 旅費5120円×2
7月	7日 鈴木(正)・鈴木(ふ) 坂本・小池 27日 鈴木(正)・松本(澄) 山本(み)・下地・宮本 28日 後藤・山本・内谷・下地	病院と地域の連携 (南和歌山医療センター)  和歌山紀南地区感染防止セミナー 「院内感染防止策の重要ポイント とその実践について」 感染ベストプラクティス研究会	研修費500円×4 旅費5250円
8月	5日 松本(澄)	内視鏡器械取り扱い講習	研修費3000円 旅費9280円
9月	18日・19日 坂本 29日 後藤・山本・内谷・下地	医療安全管理者フォローアップ研修  感染ベストプラクティス研究会	研修費10000円 交通費5250円×2 研修費500円×4 旅費5250円
10月	4日 鈴木(正)・坂本	看護が見える記録 看護必要度の評価の視点から	
11月			
12月	1日 鈴木(正)	看護協会施設代表者研修会	
1月	12日 谷 19日 鈴木(正) 25日 谷	摂食嚥下機能の基礎知識  スタッフのキャリア開発支援  摂食嚥下障害	研修費3000円  研修費5000円  研修費3000円
2月	2日 後藤・山本・内谷・下地	感染ベストプラクティス研究会	研修費500円×4 旅費5250円
3月			

医療法人 研医会 田辺中央病院

## 患者数統計



## 外来統計

## 外来患者延べ患者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
時間内稼働日数	24日	24日	26日	25日	27日	23日	26日	24日	23日	23日	23日	25日	293日
内科	649	677	600	667	708	631	769	956	733	728	653	684	8,455
外科	333	374	254	468	405	313	333	296	227	331	231	286	3,851
整形外科	696	799	611	787	884	1,141	1,387	1,314	1,185	1,107	1,082	1,213	12,206
全科	1,678	1,850	1,465	1,922	1,997	2,085	2,489	2,566	2,145	2,166	1,966	2,183	24,512

## 外来 1日平均患者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	27.0	28.2	23.1	26.7	26.2	27.4	29.6	39.8	31.9	31.7	28.4	27.4	28.9
外科	13.9	15.6	9.8	18.7	15.0	13.6	12.8	12.3	9.9	14.4	10.0	11.4	13.1
整形外科	29.0	33.3	23.5	31.5	32.7	49.6	53.3	54.8	51.5	48.1	47.0	48.5	41.7
全科	69.9	77.1	56.3	76.9	74.0	90.7	95.7	106.9	93.3	94.2	85.5	87.3	83.7

## 外来患者 時間内・時間外・休日・深夜の割合

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
時間内	1,600	1,742	1,409	1,788	1,911	1,987	2,420	2,474	2,045	2,013	1,884	2,075	23,348
時間外	53	24	26	37	43	40	33	18	25	38	35	43	415
休日	8	67	18	81	28	40	29	50	47	88	35	45	536
深夜	17	17	12	16	15	18	7	24	28	27	12	20	213
合計	1,678	1,850	1,465	1,922	1,997	2,085	2,489	2,566	2,145	2,166	1,966	2,183	24,512
時間内(%)	95.4%	94.2%	96.2%	93.0%	95.7%	95.3%	97.2%	96.4%	95.3%	92.9%	95.8%	95.1%	95.3%
時間外(%)	3.2%	1.3%	1.8%	1.9%	2.2%	1.9%	1.3%	0.7%	1.2%	1.8%	1.8%	2.0%	1.7%
休日(%)	0.5%	3.6%	1.2%	4.2%	1.4%	1.9%	1.2%	1.9%	2.2%	4.1%	1.8%	2.1%	2.2%
深夜(%)	1.0%	0.9%	0.8%	0.8%	0.8%	0.9%	0.3%	0.9%	1.3%	1.2%	0.6%	0.9%	0.9%

## 外来統計

外来患者 性別 (※実人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	%
男	393	360	327	414	416	426	494	537	466	513	467	499	5,312	40.4%
女	478	561	427	533	559	702	778	877	752	770	673	742	7,852	59.6%
合計	871	921	754	947	975	1,128	1,272	1,414	1,218	1,283	1,140	1,241	13,164	100%

※同一患者複数回受診 → 1名としてカウント

外来 曜日別患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
月	275	291	252	352	274	256	370	439	329	293	234	332	3,697	
火	264	386	239	385	302	480	622	540	475	532	450	478	5,153	
水	352	463	283	371	470	303	390	326	313	326	283	220	4,100	
木	268	292	208	248	333	390	466	611	408	410	423	400	4,457	
金	316	279	341	337	418	439	449	475	409	400	386	496	4,745	
土	121	104	117	132	151	166	137	130	163	140	129	184	1,674	
日	82	35	25	97	49	51	55	45	48	65	61	73	686	
合計	1,678	1,850	1,465	1,922	1,997	2,085	2,489	2,566	2,145	2,166	1,966	2,183	24,512	
月(%)	16%	16%	17%	18%	14%	12%	15%	17%	15%	14%	12%	15%	15%	
火(%)	16%	21%	16%	20%	15%	23%	25%	21%	22%	25%	23%	22%	21%	
水(%)	21%	25%	19%	19%	24%	15%	16%	13%	15%	15%	14%	10%	17%	
木(%)	16%	16%	14%	13%	17%	19%	19%	24%	19%	19%	22%	18%	18%	
金(%)	19%	15%	23%	18%	21%	21%	18%	19%	19%	18%	20%	23%	19%	
土(%)	7%	6%	8%	7%	8%	8%	6%	5%	8%	6%	7%	8%	7%	
日(%)	5%	2%	2%	5%	2%	2%	2%	2%	2%	3%	3%	3%	3%	

## 外来統計

外来 月別・診療科別 初診/再診件数

科	項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	%
内 科	初診	56	51	44	36	48	42	86	274	115	117	64	83	1,016	12.0%
	再診	593	626	556	631	660	589	683	682	618	611	589	601	7,439	88.0%
	計	649	677	600	667	708	631	769	956	733	728	653	684	8,455	100%
外 科	初診	108	106	46	170	111	97	86	76	77	105	77	89	1,148	29.8%
	再診	225	268	208	298	294	216	247	220	150	226	154	197	2,703	70.2%
	計	333	374	254	468	405	313	333	296	227	331	231	286	3,851	100%
整 形 外 科	初診	58	73	42	77	102	286	245	185	167	168	150	187	1,740	14.3%
	再診	638	726	569	710	782	855	1,142	1,129	1,018	939	932	1,026	10,466	85.7%
	計	696	799	611	787	884	1,141	1,387	1,314	1,185	1,107	1,082	1,213	12,206	100%
合 計	初診	222	230	132	283	261	425	417	535	359	390	291	359	3,904	15.9%
	再診	1,456	1,620	1,333	1,639	1,736	1,660	2,072	2,031	1,786	1,776	1,675	1,824	20,608	84.1%
	計	1,678	1,850	1,465	1,922	1,997	2,085	2,489	2,566	2,145	2,166	1,966	2,183	24,512	100%

外来 月別・曜日別 初診/再診件数

月	項目	日	月	火	水	木	金	土	合計	%
4月	初診	69	25	24	36	20	30	18	222	13.2%
	再診	13	250	240	316	248	286	103	1,456	86.8%
5月	初診	24	20	31	51	28	61	15	230	12.4%
	再診	11	271	355	412	264	218	89	1,620	87.6%
6月	初診	18	22	17	29	8	23	15	132	9.0%
	再診	7	230	222	254	200	318	102	1,333	91.0%
7月	初診	83	51	34	50	14	44	7	283	14.7%
	再診	14	301	351	321	234	293	125	1,639	85.3%
8月	初診	45	24	26	77	34	37	18	261	13.1%
	再診	4	250	276	393	299	381	133	1,736	86.9%
9月	初診	33	40	104	20	98	105	25	425	20.4%
	再診	18	216	376	283	292	334	141	1,660	79.6%
10月	初診	42	58	108	33	90	70	16	417	16.8%
	再診	13	312	514	357	376	379	121	2,072	83.2%
11月	初診	36	93	91	60	123	109	23	535	20.8%
	再診	9	346	449	266	488	366	107	2,031	79.2%
12月	初診	43	63	60	20	62	81	30	359	16.7%
	再診	5	266	415	293	346	328	133	1,786	83.3%
1月	初診	55	45	113	32	62	55	28	390	18.0%
	再診	10	248	419	294	348	345	112	1,776	82.0%
2月	初診	52	18	52	23	57	67	22	291	14.8%
	再診	9	216	398	260	366	319	107	1,675	85.2%
3月	初診	65	49	71	9	56	86	23	359	16.4%
	再診	8	283	407	211	344	410	161	1,824	83.6%
合計	初診	565	508	731	440	652	768	240	3,904	15.9%
	再診	121	3,189	4,422	3,660	3,805	3,977	1,434	20,608	84.1%

## 外来/入院 田辺地方病院群輪番制における患者数実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
輪番日数	2	2	2	3	3	3	2	3	3	3	2	3	31
外来患者延べ数	1,678	1,850	1,465	1,922	1,997	2,085	2,489	2,566	2,145	2,166	1,966	2,183	24,512
輪番日外来患者延べ数	49	79	39	103	44	63	42	76	63	120	50	68	796
総患者との割合	2.9%	4.3%	2.7%	5.4%	2.2%	3.0%	1.7%	3.0%	2.9%	5.5%	2.5%	3.1%	3.2%
入院患者数	1	6	3	9	10	10	7	9	9	10	5	10	89
入院率	2.0%	7.1%	7.1%	8.0%	18.5%	13.7%	14.3%	10.6%	12.5%	7.7%	9.1%	12.8%	10.1%

## 外来 年齢階層別患者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	%
0~14歳	9	30	14	33	24	18	22	23	19	24	16	14	246	1.9%
15~39歳	88	88	71	102	90	94	102	137	107	127	117	110	1,233	9.4%
40~64歳	219	229	201	247	254	272	322	353	329	330	289	328	3,373	25.6%
65~69歳	78	82	60	90	84	111	129	141	129	132	108	118	1,262	9.6%
70~74歳	111	119	99	110	125	159	187	173	165	178	159	192	1,777	13.5%
75歳~	366	373	309	365	398	474	510	587	469	492	451	479	5,273	40.1%
合 計	871	921	754	947	975	1,128	1,272	1,414	1,218	1,283	1,140	1,241	13,164	100%

## 外来 時間外・休日・深夜における年齢階層別患者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	%
0~14歳	8	27	8	25	12	13	11	16	15	17	8	9	169	10.9%
15~39歳	31	45	23	47	31	32	17	32	31	45	39	38	411	26.4%
40~64歳	25	46	17	52	40	44	32	32	37	52	22	40	439	28.2%
65~69歳	7	11	1	6	3	8	4	10	11	12	8	10	91	5.8%
70~74歳	11	7	5	9	3	7	12	6	7	16	2	6	91	5.8%
75歳~	23	33	17	29	24	31	22	28	43	55	25	26	356	22.9%
合 計	105	169	71	168	113	135	98	124	144	197	104	129	1,557	100%

※時間外&lt;休日&lt;深夜

※時間外(平日6:00~8:30、17:00~22:00 土曜12:30~22:00)

※深夜 22:00~6:00

## 外来 地域別患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	%
田辺市	720	768	637	748	769	831	975	1,081	925	950	851	912	10,167	77.2%
上富田町	63	58	52	56	53	79	81	97	83	76	71	72	841	6.4%
白浜町	35	46	29	43	42	69	84	93	87	81	65	85	759	5.8%
みなべ町	46	42	40	63	53	72	53	63	57	71	56	72	688	5.2%
印南町	3	4	3	2	3	4	4	8	9	9	9	5	63	0.5%
すさみ町	2	1	2	2	2	4	9	9	10	11	8	8	68	0.5%
県内その他	8	8	7	7	15	43	34	45	36	41	34	42	320	2.4%
県外	13	28	13	22	25	15	22	23	19	29	26	23	258	2.0%
合 計	890	955	783	943	962	1,117	1,262	1,419	1,226	1,268	1,120	1,219	13,164	100.0%

## 外来 地域別患者数 田辺市分類

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	%
秋津川	9	9	8	8	12	10	10	12	10	8	7	11	114	1.1%
秋津町	30	31	26	28	33	30	45	45	38	40	41	47	434	4.3%
あけぼの	13	16	16	17	20	16	24	22	21	19	17	15	216	2.1%
朝日ヶ丘	6	8	7	7	6	6	10	15	8	5	7	10	95	0.9%
鮎川	7	11	7	8	9	11	8	12	16	12	16	7	124	1.2%
磯間	6	5	4	9	7	10	13	12	15	11	7	10	109	1.1%
輪成町	29	36	30	35	41	33	44	51	39	48	33	45	464	4.6%
今福町	11	10	10	9	9	8	11	12	9	11	13	10	123	1.2%
上野	3	5	3	3	3	2	3	2	2	1	2	2	31	0.3%
上の山	20	16	21	17	18	25	26	29	22	21	28	28	271	2.7%
江川	24	29	20	23	24	27	34	36	37	33	33	31	351	3.5%
扇ヶ浜	7	6	5	3	8	3	6	5	4	4	6	5	62	0.6%
神島台	1	3	3	3	3	3	4	4	3	3	2	5	37	0.4%
片町	2	4	2	4	1	4	3	4	2	3	3	5	37	0.4%
上秋津	20	19	10	25	18	26	27	30	26	26	30	37	294	2.9%
上芳養	13	13	11	15	10	17	13	18	17	20	9	18	174	1.7%
上万呂	12	8	7	6	10	10	7	11	12	4	10	9	106	1.0%
上三栖	6	2	3	2	2	1	4	5	6	4	5	2	42	0.4%
上屋敷	20	21	17	22	23	26	28	28	21	23	18	23	270	2.7%
学園	4	3	6	4	4	3	3	5	2	6	3	3	46	0.5%
北新町	11	13	11	9	14	12	12	13	16	17	11	12	151	1.5%
木守						1							1	0.0%
綿屋町	3	3	3	3	2	5	5	4	3	3	3	3	40	0.4%
栄町	4	7	8	3	5	3	9	4	4	8	4	6	65	0.6%
下川上				1								1	2	0.0%
下川下	2	2	1						4		2		11	0.1%
下万呂	16	15	7	10	14	11	25	26	14	22	22	21	203	2.0%
下三栖	5	9	11	10	11	14	15	19	23	15	15	13	160	1.6%
下屋敷町	15	14	13	16	10	13	11	17	13	16	12	13	163	1.6%
城山台	1					1		1	1	1	2	3	10	0.1%
新庄町	16	22	17	21	19	29	37	39	24	44	31	30	329	3.2%
新万	12	11	12	11	11	20	18	20	13	19	13	11	171	1.7%
新屋敷町	5	5	8	6	7	8	10	12	8	9	5	7	90	0.9%

末広町	7	11	6	9	8	11	9	10	16	12	12	12	123	1.2%
高雄	60	58	54	62	63	72	83	83	80	75	68	76	834	8.2%
たきない町	5	2	4	2	1	2	4	3	4	3	3	3	36	0.4%
谷野口						1	1						2	0.0%
天神崎	14	14	12	17	13	14	16	23	13	16	10	15	177	1.7%
中芳養	7	6	5	9	7	5	14	13	8	6	10	4	94	0.9%
中辺路町	3	11	4	8	5	12	12	21	5	12	9	9	111	1.1%
中万呂	11	11	6	9	10	15	15	19	12	13	9	13	143	1.4%
中三栖	3	5	4	6	6	5	7	13	10	4	6	4	73	0.7%
中屋敷町	22	17	18	23	24	21	30	28	24	20	22	20	269	2.6%
長野	4	2	4	4	2	5	4	4	7	3	7	6	52	0.5%
芳養町	10	12	4	8	7	14	13	16	11	13	13	10	131	1.3%
芳養松原	8	13	8	14	17	14	15	24	17	25	15	20	190	1.9%
東山	8	9	13	9	15	16	12	18	18	14	15	14	161	1.6%
平瀬		2		2		2		3		2	1	2	14	0.1%
福路町	1	1	1	2	3	4	2	1	1	1	1	1	19	0.2%
伏菟野							1	1					2	0.0%
古尾	23	23	18	18	23	18	23	22	24	21	20	22	255	2.5%
宝来町	7	6	5	6	6	5	5	15	9	9	8	10	91	0.9%
本宮町		1	2	2	1	1	6	4	3	2	1	2	25	0.2%
本町	3	3	2	4	4	3	2	4	4	3	4	4	40	0.4%
神子浜	26	28	14	27	27	32	38	31	32	29	30	31	345	3.4%
湊	63	82	62	65	66	61	83	77	79	82	74	79	873	8.6%
南新町	13	15	15	17	21	18	16	17	20	19	14	18	203	2.0%
南新万	7	5	3	8	8	11	5	14	7	8	5	10	91	0.9%
向山		1						1			2		4	0.0%
むつみ	2	3	2	3	2	5	4	4	3	6	6	3	43	0.4%
明洋	19	24	16	28	17	21	30	29	24	31	21	22	282	2.8%
目良	17	14	14	14	15	16	20	20	17	23	17	18	205	2.0%
面川											1		1	0.0%
元町	1	1	1	1		1		1	1	1	1		9	0.1%
文里	21	18	18	15	23	17	17	25	21	24	21	21	241	2.4%
籾神村	22	14	15	18	21	22	23	23	22	17	15	20	232	2.3%
合計	720	768	637	748	769	831	975	1,081	925	950	851	912	10,167	100.0%

入院 一般病棟

3階病棟

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
患者延べ人数	927	890	696	913	838	912	965	863	918	944	857	974	10,697
1日平均患者数	30.9	28.7	23.2	29.5	27.0	30.4	31.1	28.8	29.6	30.5	30.6	31.4	29.3
入院件数	48	46	42	56	58	44	59	54	49	57	55	63	631
退院件数	39	42	27	42	48	40	46	37	35	30	35	45	466
平均在院日数	17.7	19.0	18.7	17.0	15.2	22.5	18.6	18.0	20.6	19.8	18.1	17.2	18.5

5階病棟

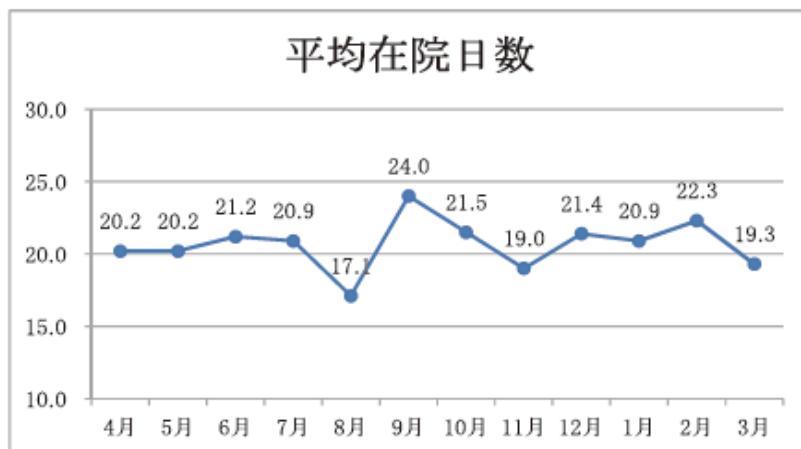
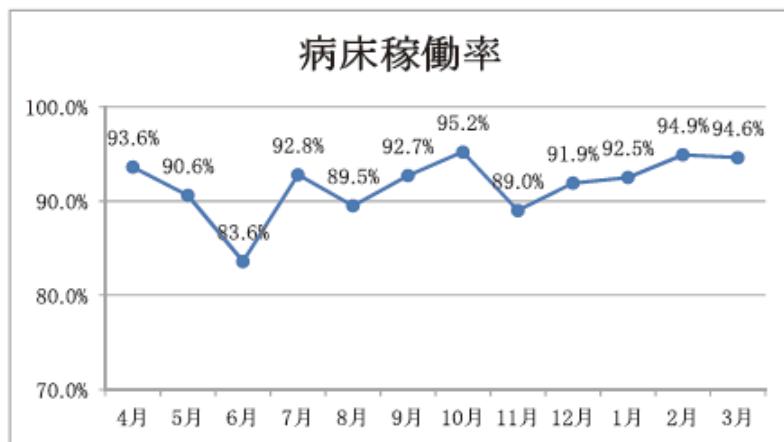
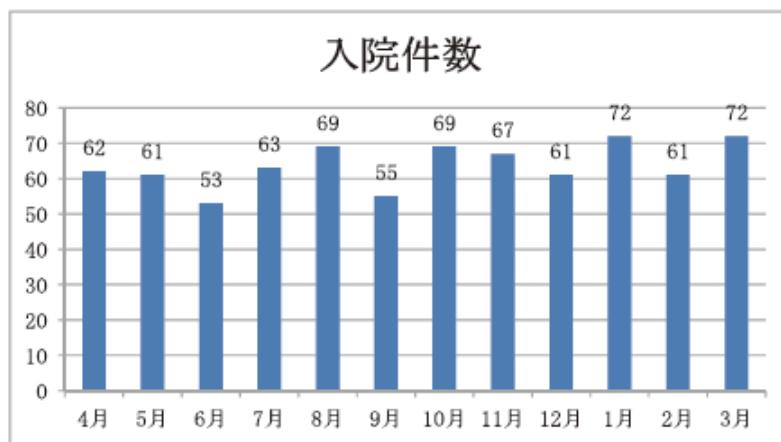
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
患者延べ人数	690	661	565	715	671	659	738	670	709	680	680	741	8,179
1日平均患者数	23.0	21.3	18.8	23.1	21.6	22.0	23.8	22.3	22.9	21.9	24.3	23.9	22.4
入院件数	14	15	11	7	11	11	10	13	12	15	6	9	134
退院件数	22	16	11	12	21	11	18	24	30	23	17	26	231
平均在院日数	23.7	24.7	34.8	46.3	25.2	32.7	36.0	22.0	23.3	24.5	46.5	26.3	30.5

一般病棟(3階+5階)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
患者延べ人数	1,617	1,551	1,261	1,628	1,509	1,571	1,703	1,533	1,627	1,624	1,537	1,715	18,876
1日平均患者数	53.9	50.0	42.0	52.5	48.7	52.4	54.9	51.1	52.5	52.4	54.9	55.3	51.7
入院件数	62	61	53	63	69	55	69	67	61	72	61	72	765
退院件数	61	58	38	54	69	51	64	61	65	53	52	71	697
平均在院日数	20.2	20.2	21.2	20.9	17.1	24.4	21.5	19.0	21.4	20.9	22.3	19.3	20.7
病床稼働率	89.8%	83.3%	70.0%	87.5%	81.0%	87.3%	91.5%	85.2%	87.5%	87.3%	91.5%	92.2%	86.2%

一般病棟 診療科別患者人数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
内 科	患者延べ人数	623	523	469	678	672	668	707	415	367	432	353	524	6,431
	1日平均患者数	20.8	16.9	15.6	21.9	21.7	22.3	22.8	13.8	11.8	13.9	12.6	16.9	17.6
	入院件数	35	25	30	38	39	23	31	22	18	25	21	32	339
	退院件数	33	25	19	32	33	27	27	19	21	14	27	304	
	平均在院日数	14.2	15.7	17.4	17.9	16.5	23.1	22.9	15.5	18.7	16.1	17.4	16.5	17.6
外 科	患者延べ人数	508	519	339	431	438	385	331	325	321	367	274	227	4,465
	1日平均患者数	16.9	16.7	11.3	13.9	14.1	12.8	10.7	10.8	10.4	11.8	9.8	7.3	12.2
	入院件数	16	21	14	16	23	13	21	13	14	15	12	17	195
	退院件数	14	22	10	14	23	15	18	13	15	12	15	15	186
	平均在院日数	27.3	20.0	19.3	20.6	16.6	24.8	15.7	23.4	20.8	26.2	19.8	12.9	20.6
整 形 外 科	患者延べ人数	486	509	453	519	399	518	665	793	939	825	910	964	7,980
	1日平均患者数	16.2	16.4	15.1	16.7	12.9	17.3	21.5	26.4	30.3	26.6	32.5	31.1	21.9
	入院件数	11	15	9	9	7	19	17	32	32	28	23	23	231
	退院件数	14	11	9	8	13	9	19	21	31	20	23	29	207
	平均在院日数	37.1	33.4	42.4	39.2	22.0	24.9	27.6	20.6	23.8	23.1	27.7	27.2	29.1
全 診 療 科	患者延べ人数	1,617	1,551	1,261	1,628	1,509	1,571	1,703	1,533	1,627	1,624	1,537	1,715	18,876
	1日平均患者数	53.9	50.0	42.0	52.5	48.7	52.4	54.9	51.1	52.5	52.4	54.9	55.3	51.7
	入院件数	62	61	53	63	69	55	69	67	61	72	61	72	765
	退院件数	61	58	38	54	69	51	64	61	65	53	52	71	697
	平均在院日数	20.2	20.2	21.2	20.9	17.1	24.4	21.5	19.0	21.4	20.9	22.3	19.3	20.7



## 入院 療養病棟

## 療養病棟

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
患者延べ人数	1,474	1,542	1,498	1,539	1,543	1,491	1,543	1,403	1,508	1,528	1,387	1,512	17,968
1日平均患者数	49.1	49.7	49.9	49.6	49.8	49.7	49.8	46.8	48.6	49.3	49.5	48.8	49.2
入室件数	13	8	4	8	6	2	6	6	8	7	6	10	84
退院件数	13	8	4	7	6	1	7	6	5	9	4	12	82
病床稼働率	98.3%	99.5%	99.9%	99.3%	99.5%	99.4%	99.5%	93.5%	97.3%	98.6%	99.1%	97.5%	98.5%

## 医療・ADL区分の割合

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
医療区分3	29%	33%	33%	32%	26%	21%	21%	19%	20%	20%	19%	17%	24%
医療区分2	43%	43%	44%	46%	49%	49%	47%	44%	40%	40%	40%	39%	44%
医療区分1	28%	24%	23%	22%	25%	30%	32%	37%	40%	40%	41%	44%	32%
ADL区分3	68%	70%	69%	65%	66%	68%	66%	70%	65%	64%	62%	64%	66%
ADL区分2	24%	22%	24%	29%	30%	28%	30%	26%	27%	28%	28%	28%	27%
ADL区分1	9%	8%	8%	6%	4%	4%	4%	4%	7%	8%	9%	8%	7%

## 療養病棟 診療科別患者人数

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内 科	患者延べ人数	837	878	900	876	873	870	894	792	813	831	755	829	10,148
	1日平均患者数	27.9	28.3	30.0	28.3	28.2	29.0	28.8	26.4	26.2	26.8	27.0	26.7	27.8
	入室件数	7	6	3	4	5		3	4	2	4	2	6	46
	退院件数	9	3	3	6	3		4	5	1	4	3	4	45
外 科	患者延べ人数	557	587	538	571	577	531	583	530	566	553	464	476	6,533
	1日平均患者数	18.6	18.9	17.9	18.4	18.6	17.7	18.8	17.7	18.3	17.8	16.6	15.4	17.9
	入室件数	5	2	1	3	1	2	3		3	1	1	2	24
	退院件数	4	4	1	1	3	1	2	1	2	3	1	3	26
整 形 外 科	患者延べ人数	80	77	60	92	93	90	66	81	129	144	168	207	1,287
	1日平均患者数	2.7	2.5	2.0	3.0	3.0	3.0	2.1	2.7	4.2	4.6	6.0	6.7	3.5
	入室件数	1			1				2	3	2	3	2	14
	退院件数		1					1		2	2		5	11
全 診 療 科	患者延べ人数	1,474	1,542	1,498	1,539	1,543	1,491	1,543	1,403	1,508	1,528	1,387	1,512	17,968
	1日平均患者数	49.1	49.7	49.9	49.6	49.8	49.7	49.8	46.8	48.6	49.3	49.5	48.8	49.2
	入室件数	13	8	4	8	6	2	6	6	8	7	6	10	84
	退院件数	13	8	4	7	6	1	7	6	5	9	4	12	82

入院 全病棟
--------

## 全病棟

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
患者延べ人数	3,091	3,093	2,759	3,167	3,052	3,062	3,246	2,936	3,135	3,152	2,924	3,227	36,844
1日平均患者数	103.0	99.8	92.0	102.2	98.5	102.1	104.7	97.9	101.1	101.7	104.4	104.1	100.9
入院件数	62	61	53	63	69	55	69	67	61	72	61	72	765
療養入室件数	13	8	4	8	6	2	6	6	8	7	6	10	84
退院件数	74	66	42	61	75	52	71	67	70	62	56	83	779
病床稼働率	93.7%	90.7%	83.6%	92.9%	89.5%	92.8%	95.2%	89.0%	91.9%	92.4%	94.9%	94.6%	91.8%

## 全病棟 診療科別患者人数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
内 科	患者延べ人数	1,490	1,432	1,399	1,585	1,576	1,568	1,632	1,237	1,211	1,294	1,136	1,384	16,944
	1日平均患者数	49.7	46.2	46.6	51.1	50.8	52.3	52.6	41.2	39.1	41.7	40.6	44.6	46.4
	入院件数	35	25	30	38	39	23	31	22	18	25	21	32	339
	療養入室件数	7	6	3	4	5	0	3	4	2	4	2	6	46
	退院件数	42	28	22	38	36	27	31	32	20	25	17	31	349
外 科	患者延べ人数	1,035	1,075	847	971	984	886	883	825	856	889	710	672	10,633
	1日平均患者数	34.5	34.7	28.2	31.3	31.7	29.5	28.5	27.5	27.6	28.7	25.4	21.7	29.1
	入院件数	16	21	14	16	23	13	21	13	14	15	12	17	195
	療養入室件数	5	2	1	3	1	2	3	0	3	1	1	2	24
	退院件数	18	26	11	15	26	16	20	14	17	15	16	18	212
整 形 外 科	患者延べ人数	566	586	513	611	492	608	731	874	1,068	969	1,078	1,171	9,267
	1日平均患者数	18.9	18.9	17.1	19.7	15.9	20.3	23.6	29.1	34.5	31.3	38.5	37.8	25.4
	入院件数	11	15	9	9	7	19	17	32	29	32	28	23	231
	療養入室件数	1	0	0	1	0	0	0	2	3	2	3	2	14
	退院件数	14	12	9	8	13	9	20	21	33	22	23	34	218
全 診 療 科	患者延べ人数	3,091	3,093	2,759	3,167	3,052	3,062	3,246	2,936	3,135	3,152	2,924	3,227	36,844
	1日平均患者数	103.0	99.8	92.0	102.2	98.5	102.1	104.7	97.9	101.1	101.7	104.4	104.1	100.9
	入院件数	62	61	53	63	69	55	69	67	61	72	61	72	765
	療養入室件数	13	8	4	8	6	2	6	6	8	7	6	10	84
	退院件数	74	66	42	61	75	52	71	67	70	62	56	83	779

## 一般病棟 平均在院日数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	
一 般	1ヶ月	20.2	20.2	21.2	20.9	17.1	24.0	21.5	19.0	21.4	20.9	22.3	19.3	20.7
	直近3ヶ月	21.0	19.9	20.5	20.7	19.5	20.4	20.6	21.3	20.6	20.4	21.5	20.7	20.6
3階病棟	17.7	19.0	18.7	17.0	15.2	22.5	18.6	18.0	20.6	19.8	18.1	17.2	18.5	
5階病棟	23.7	24.7	34.8	46.3	25.2	32.7	36.0	22.0	23.3	24.5	46.5	26.3	30.5	
内科	14.2	15.7	17.4	17.9	16.5	23.1	22.9	15.5	18.7	16.1	17.4	16.5	17.6	
外科	27.3	20.0	19.3	20.6	16.6	24.8	15.7	23.4	20.8	26.2	19.8	12.9	20.6	
整形外科	37.1	33.4	42.4	39.2	22.0	24.9	27.6	20.6	23.8	23.1	27.7	27.2	29.1	

## 紹介(診療情報有)患者の割合

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
紹介有	21	22	18	19	22	20	26	23	18	22	18	21	250
紹介無	41	39	35	44	47	35	43	44	43	50	43	51	515
合 計	62	61	53	63	69	55	69	67	61	72	61	72	765
紹介有	33.9%	36.1%	34.0%	30.2%	31.9%	36.4%	37.7%	34.3%	29.5%	30.6%	29.5%	29.2%	32.7%
紹介無	66.1%	63.9%	66.0%	69.8%	68.1%	63.6%	62.3%	65.7%	70.5%	69.4%	70.5%	70.8%	67.3%

## 入院 時間内・時間外・休日・深夜の割合

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
時間内	46	46	44	41	45	37	51	51	41	59	47	56	564
時間外	7	5	7	9	11	6	7	5	5	2	7	5	76
休日	5	8	1	4	3	9	7	5	13	8	4	8	75
深夜	4	2	1	9	10	3	4	6	2	3	3	3	50
合 計	62	61	53	63	69	55	69	67	61	72	61	72	765
時間内	74%	75%	83%	65%	65%	67%	74%	76%	67%	82%	77%	78%	73%
時間外	11%	8%	13%	14%	16%	11%	10%	7%	8%	3%	11%	7%	10%
休日	8%	13%	2%	6%	4%	16%	10%	7%	21%	11%	7%	11%	10%
深夜	6%	3%	2%	14%	14%	5%	6%	9%	3%	4%	5%	4%	7%

※時間外&lt;休日&lt;深夜

※時間外(平日17:00~22:00 土曜12:30~22:00)

※深夜 22:00~6:00

## 曜日別入院件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
月	13	14	10	14	11	11	12	8	11	10	9	7	130
火	9	13	8	10	6	6	11	14	9	19	13	17	135
水	9	15	7	9	10	7	10	15	11	12	9	5	119
木	10	5	12	12	14	9	10	13	6	10	8	13	122
金	14	8	8	9	17	10	11	9	7	10	10	14	127
土	4	3	7	7	4	8	7	6	8	6	8	7	75
日	3	3	1	2	7	4	8	2	9	5	4	9	57
合 計	62	61	53	63	69	55	69	67	61	72	61	72	765
月	21%	23%	19%	22%	16%	20%	17%	12%	18%	14%	15%	10%	17%
火	15%	21%	15%	16%	9%	11%	16%	21%	15%	26%	21%	24%	18%
水	15%	25%	13%	14%	14%	13%	14%	22%	18%	17%	15%	7%	16%
木	16%	8%	23%	19%	20%	16%	14%	19%	10%	14%	13%	18%	16%
金	23%	13%	15%	14%	25%	18%	16%	13%	11%	14%	16%	19%	17%
土	6%	5%	13%	11%	6%	15%	10%	9%	13%	8%	13%	10%	10%
日	5%	5%	2%	3%	10%	7%	12%	3%	15%	7%	7%	13%	7%

## 性別入院患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	26	24	25	28	23	18	26	19	20	25	20	23	277
女	36	37	28	35	46	37	43	48	41	47	41	49	488
合 計	62	61	53	63	69	55	69	67	61	72	61	72	765
男	41.9%	39.3%	47.2%	44.4%	33.3%	32.7%	37.7%	28.4%	32.8%	34.7%	32.8%	31.9%	36.2%
女	58.1%	60.7%	52.8%	55.6%	66.7%	67.3%	62.3%	71.6%	67.2%	65.3%	67.2%	68.1%	63.8%

## 入院 年齢階層別患者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
乳・小児													
10代				1									1
20代	1	1	1	1	3	1	3	1	1		1	3	17
30代	2	2	1	4	3			2		1		2	17
40代	2			3	2	4		1		2	2		16
50代	1	2		2	4	5	1	3		1	3		22
60代	3	6	7	4	8	5	6	8	1	7	8	13	76
70代	15	10	13	17	14	12	12	17	14	19	14	20	177
80代	20	25	17	18	20	21	33	25	33	32	24	20	288
90代	14	14	14	12	15	7	13	10	12	10	9	13	143
100代	4	1		1			1					1	8
合計	62	61	53	63	69	55	69	67	61	72	61	72	765
乳・小児													
10代				2%									0%
20代	2%	2%	2%	2%	4%	2%	4%	1%	2%		2%	4%	2%
30代	3%	3%	2%	6%	4%			3%		1%		3%	2%
40代	3%			5%	3%	7%		1%		3%	3%		2%
50代	2%	3%		3%	6%	9%	1%	4%		1%	5%		3%
60代	5%	10%	13%	6%	12%	9%	9%	12%	2%	10%	13%	18%	10%
70代	24%	16%	25%	27%	20%	22%	17%	25%	23%	26%	23%	28%	23%
80代	32%	41%	32%	29%	29%	38%	48%	37%	54%	44%	39%	28%	38%
90代	23%	23%	26%	19%	22%	13%	19%	15%	20%	14%	15%	18%	19%
100代	6%	2%		2%			1%					1%	1%

## 入院患者 平均年齢

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平均年齢	80.2	80.0	79.8	75.0	75.1	76.1	80.0	77.3	82.5	79.0	77.2	76.3	78.2

## 入院 地域別患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	%
田辺市	51	50	43	52	55	37	52	40	40	43	39	50	552	72.2%
上富田町	1	3	3	2	1	4	1	8	3	8	4	2	40	5.2%
白浜町	2	4	2	3	4	5	4	4	10	6	1	6	51	6.7%
みなべ町	5	3	4	2	6	6	7	9	4	9	9	6	70	9.2%
有田市					1								1	0.1%
すさみ町			1	2		1		1			1	2	8	1.0%
印南町											2		2	0.3%
日高川町							1	1		1		1	4	0.5%
和歌山市					1								1	0.1%
御坊市	1							2			1	1	5	0.7%
新宮市						2					1	1	4	0.5%
県内その他	1						3	2	4	3	1	2	16	2.1%
県外	1	1		2	1		1			2	2	1	11	1.4%
合計	62	61	53	63	69	55	69	67	61	72	61	72	765	100.0%

## 平成 24 年度 患者数統計 入院

入院 地域別患者数 田辺市分類

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	%
秋津川		2	1			1		1	2				7	1.3%
秋津町		1	1	2	2	2	1	3	1	1	1	3	18	3.3%
あけぼの	2	1	1	2	1	1		3	1			3	15	2.7%
朝日ヶ丘		1		1		1					1	4	0.7%	
船川	5	2	4	7	7	3	3	2	1	2	2	4	42	7.6%
磯間	1	1		1			1	2		1			7	1.3%
福成町	2	2			1	1	2	4	2	3	1	2	20	3.6%
今福町					1				1				2	0.4%
上野	2			1									3	0.5%
上の山	1				3	1	1				3	1	10	1.8%
江川	1		3	3	1	2	1	2	2		2	2	19	3.4%
神島台					1								1	0.2%
片町				1	1						1	1	4	0.7%
上秋津	2	1	2	2	1	2	4	1	1	4	3	3	26	4.7%
上芳養	1				2	1				1			5	0.9%
上三橋			1								1	1	3	0.5%
上屋敷	2	1	2	1	2	2	2		2		1	1	15	2.7%
北新町					1	1					2		4	0.7%
緋屋町					1								1	0.2%
五味	1												1	0.2%
榮町		1											1	0.2%
下川下	2				1								3	0.5%
下万呂	2	3	2	1		2	2	2	1			1	16	2.9%
下三橋	1			1				1		1			4	0.7%
下屋敷町	1		2	1	2				1		1	1	9	1.6%
新庄町	1	1	2	2	3		1		1	5	1	1	18	3.3%
新万	1				2	1		1	1				6	1.1%
新屋敷町		1						1	1		2		5	0.9%
末広町	1		3					1				1	6	1.1%
高雄	1	4	2	2		1	5	2	1	5	3	5	31	5.6%
たきない町		2	1	3	1	2	3	1	1				14	2.5%
竹ノ平	1												1	0.2%
天神崎		1				1				1			3	0.5%
中芳養						1	2						3	0.5%
中辺路町	2	5	2	2	3	2	1	1	3		2	2	25	4.5%
中万呂			1	1	1		1				1		5	0.9%
中三橋		1					3						4	0.7%
中屋敷町	1		1	2	4		1			1			10	1.8%
長野											1		1	0.2%
芳養町	1			1	2	1	1	1	3				10	1.8%
芳養松原	2	3		1		1					1	1	9	1.6%
東山		1		2			2		1				6	1.1%
平瀬						1							1	0.2%
福路町					1								1	0.2%
伏菟野	1			1	1								3	0.5%
古尾		3	1	1			1	2			1		9	1.6%
本宮町	2		1	1	1	2	1		1	2	1	1	13	2.4%
本町				1						1			2	0.4%
神子浜	1	1			3		1	1	3		1	2	13	2.4%
湊	2	6	3		5	1	3	2	1	2	2	3	30	5.4%
南新町			1						1	1	1		4	0.7%
南新万	1										1		2	0.4%
向山									1	1		1	3	0.5%
むつみ					1	1					1		3	0.5%
明洋	2	1		1		1	3			4		1	13	2.4%
目良	1	1				1	1			4			8	1.4%
面川	1						1						2	0.4%
元町									1				1	0.2%
文里	1	1	1	2	1	1	1	1			2	1	12	2.2%
龍神村	3	2	3		2	1	3	5	5	2	3	6	35	6.3%
合計	51	50	43	52	55	37	52	40	40	43	39	50	552	100.0%

## 平成24年度 患者数統計

### 紹介率

#### 外来

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
初診患者数	222	230	132	283	261	425	417	535	359	390	291	359	3,904
紹介患者数	10	5	9	11	20	90	50	55	49	57	54	38	448
救急搬送患者数	14	21	15	25	21	24	23	13	14	31	9	22	232
紹介率	10.8%	11.3%	18.2%	12.7%	15.7%	26.8%	17.5%	12.7%	17.5%	22.6%	21.6%	16.7%	17.4%

#### 入院

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
初診患者数	40	33	36	47	46	37	45	41	36	38	28	39	466
紹介患者数	18	17	18	16	18	18	22	19	14	20	14	17	211
救急搬送患者数	16	8	7	15	19	16	10	14	10	11	7	14	147
紹介率	85.0%	75.8%	69.4%	66.0%	80.4%	91.9%	71.1%	80.5%	66.7%	81.6%	75.0%	79.5%	76.8%

#### 全患者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
初診患者数	262	263	168	330	307	462	462	576	395	428	319	398	4,370
紹介患者数	28	22	27	27	38	108	72	74	63	77	68	55	659
救急搬送患者数	30	29	22	40	40	40	33	27	24	42	16	36	379
紹介率	22.1%	19.4%	29.2%	20.3%	25.4%	32.0%	22.7%	17.5%	22.0%	27.8%	26.3%	22.9%	23.8%

### 逆紹介率

#### 外来

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
初診患者数	222	230	132	283	261	425	417	535	359	390	291	359	3,904
逆紹介患者数	27	24	16	23	14	38	26	40	22	31	42	37	340
逆紹介率	12.2%	10.4%	12.1%	8.1%	5.4%	8.9%	6.2%	7.5%	6.1%	7.9%	14.4%	10.3%	8.7%

#### 入院

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
初診患者数	44	38	37	50	49	41	44	42	38	41	31	37	492
逆紹介患者数	16	27	18	26	19	19	29	29	28	21	19	26	277
逆紹介率	36.4%	71.1%	48.6%	52.0%	38.8%	46.3%	65.9%	69.0%	73.7%	51.2%	61.3%	70.3%	56.3%

#### 全患者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
初診患者数	266	268	169	333	310	466	461	577	397	431	322	396	4,396
逆紹介患者数	43	51	34	49	33	57	55	69	50	52	61	63	617
逆紹介率	16.2%	19.0%	20.1%	14.7%	10.6%	12.2%	11.9%	12.0%	12.6%	12.1%	18.9%	15.9%	14.0%

平成24年度 外来 患者経路

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	%
病院より紹介	2		1	1	6	76	34	44	40	37	40	23	304	42.0%
施設など	4	3	4	4	5	6	7	3	2	8	6	3	55	7.6%
診療所・クリニックより紹介	4	5	6	8	11	12	13	13	14	15	15	17	133	18.4%
救急搬送	14	21	15	25	21	24	23	13	14	31	9	22	232	32.0%
合 計	24	29	26	38	43	118	77	73	70	91	70	65	724	100.0%

病院より紹介

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	%
白浜はまゆう病院	1			1	4	75	30	38	35	33	33	18	268	88.2%
紀南病院					1			3	1	1	3	3	12	3.9%
南和歌山医療センター			1			1	3		2	1	1	1	10	3.3%
国保すさみ病院									1	1	1		3	1.0%
角谷整形外科病院							1	1					2	0.7%
大阪市立大学医学部付属病院								1					1	0.3%
大田市立病院										1			1	0.3%
国保日高総合病院									1				1	0.3%
新宮市立医療センター						1							1	0.3%
須佐病院												1	1	0.3%
高井病院											1		1	0.3%
玉置病院											1		1	0.3%
西宮渡辺病院								1					1	0.3%
和歌山労災病院	1												1	0.3%
合 計	2		1	1	6	76	34	44	40	37	40	23	304	100.0%

施設など ※救急搬送等と重複有

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	%
田辺すみれ苑	1	2	3	4	3	4	3	2		4	5	1	32	58.2%
あきつの	1	1			2	1	2	1	2	2	1		13	23.6%
千寿荘			1				1					2	4	7.3%
自彌館							1			1			2	3.6%
アンソレイユ日置						1							1	1.8%
梅の里										1			1	1.8%
真寿苑	1												1	1.8%
龍トピア	1												1	1.8%
合 計	4	3	4	4	5	6	7	3	2	8	6	3	55	100.0%

外来 紹介元 診療所・クリニック一覧

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	%
那須内科消化器科	1					1	2	4	3	2	7	5	25	18.8%
串医院	1			1	2				3	7	4	2	20	15.0%
平畠医院		2		2	2	2	1			1			10	7.5%
田辺広域休日急患診療所			1		1		1			1		4	8	6.0%
真寿苑クリニック		1	1					1				3	6	4.5%
中井・丸岡医院					1	3				2			6	4.5%
長嶋医院				1			1	2	1		1		6	4.5%
竹村医院					1	1		1	1		1		5	3.8%
おかもと内科クリニック						1	1		1			1	4	3.0%
榎本整形外科		1				1					1		3	2.3%
辻村外科	1	1	1										3	2.3%
ひがし内科クリニック						1	1			1			3	2.3%
山西医院	1		1					1					3	2.3%
池田整形外科					1			1					2	1.5%
柏井内科クリニック				1		1							2	1.5%
田辺龍神中央診療所									2				2	1.5%
鮎川診療所									1				1	0.8%
うえだ内科外科クリニック								1					1	0.8%
植山整形外科												1	1	0.8%
榎本産婦人科							1						1	0.8%
上富田クリニック						1							1	0.8%
上富田町市ノ瀬診療所								1					1	0.8%
クリニック大吉								1					1	0.8%
けんゆうクリニック									1				1	0.8%
国保秋津川診療所					1								1	0.8%
笹屋内科外科												1	1	0.8%
晒医院				1									1	0.8%
杉本胃腸科外科							1						1	0.8%
整形外科ひろクリニック								1					1	0.8%
線崎泌尿器科医院								1					1	0.8%
立石内科循環器科				1									1	0.8%
玉置整形外科医院											1		1	0.8%
辻内科医院								1					1	0.8%
南紀新庄クリニック								1					1	0.8%
西川医院					1								1	
浜口医院			1										1	0.8%
福原医院										1			1	
まちだ内科クリニック					1								1	0.8%
丸笹外科内科								1					1	0.8%
水本内科クリニック				1									1	0.8%
宮の森スキンケア診療室					1								1	0.8%
合計	4	5	6	8	11	12	13	13	14	15	15	17	133	100.0%

平成24年度 入院経路

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	%
一般入院	21	24	16	15	23	13	20	26	24	31	35	32	280	36.6%
病院より紹介	8	9	15	6	8	14	4	10	10	8	10	3	105	13.7%
施設など	16	17	12	21	14	11	23	15	12	16	4	16	177	23.1%
診療所・クリニックより紹介	1	3	3	6	5	1	12	2	5	6	5	7	56	7.3%
救急搬送	16	8	7	15	19	16	10	14	10	11	7	14	147	19.2%
合計	62	61	53	63	69	55	69	67	61	72	61	72	765	100.0%

病院より紹介 ※救急搬送等と重複有

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	%
紀南病院	2	6	7	3	3	7	1	3	2	4	6	2	46	43.0%
南和歌山医療センター	6	2	6	3	5	2	2	6	6	5	3	1	47	43.9%
白浜はまゆう病院			1			4			2				7	6.5%
和歌山県立医大		1				1							2	1.9%
玉置病院										1		1	2	1.9%
国保すきみ病院			1										1	0.9%
琴の浦リハビリテーションセンター							1						1	0.9%
和歌山病院								1					1	0.9%
合計	8	9	15	6	8	14	4	10	11	9	10	3	107	100.0%

施設など ※救急搬送等と重複有

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	%
田辺すみれ苑	4	8	5	5	5	4	8	5	7	9	2	8	70	36.1%
あきつの	4	2	2	4	3	2	5	6		5	1	2	36	18.6%
鮎川園	4	2	3	8	5	3	3	1	1	2	1	3	36	18.6%
千寿荘	1	1	1	2	1	1	3		1				11	5.7%
龍トピア	1					1		3	2		1	1	9	4.6%
虹			2			2	2				1		7	3.6%
真寿苑	2			2	1		1						6	3.1%
自彌館		1				1	1					1	4	2.1%
あおい介護センター		1							2				3	1.5%
梅の里	1	1										1	3	1.5%
白百合ホーム	1					1		1					3	1.5%
椿園				1		1	1						3	1.5%
愛の園	1												1	0.5%
たきの里			1										1	0.5%
龍の里											1	1	0.5%	
合計	19	17	13	22	15	16	24	16	13	16	6	17	194	100.0%

入院 紹介元 診療所・クリニック一覧 ※救急搬送等と重複有

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	%
串医院		1		2	3	1	1	1					9	11.1%
那須内科消化器科			1				2			1	3	7	8.6%	
真寿苑クリニック	1	1		1			2			1		6	7.4%	
田辺龍神中央診療所	1							2	1	1	1	6	7.4%	
竹村医院						3				1	1	5	6.2%	
うえだ内科外科クリニック								3	1		1	5	6.2%	
近野診療所	1					1		1	1			4	4.9%	
おかもと内科クリニック			1				1				1	3	3.7%	
大峰診療所		1			1				1			3	3.7%	
堅田内科循環器科				1		1	1					3	3.7%	
休日急患診療所				1						1		1	3.7%	
水本内科クリニック	1		1				1					3	3.7%	
辻村外科		1					2					3	3.7%	
榎本整形外科		1			1				1			3	3.7%	
高城診療所	1						1	1				3	3.7%	
西川医院										1	1	2	2.5%	
平畠医院					1					1		2	2.5%	
山西医院							1			1		2	2.5%	
柏井内科クリニック				1								1	1.2%	
浅井皮膚科				1								1	1.2%	
池田整形				1								1	1.2%	
大嶋診療所											1	1	1.2%	
神島クリニック		1										1	1.2%	
玉置医院	1											1	1.2%	
玉置整形外科										1		1	1.2%	
浜口医院						1						1	1.2%	
丸笹外科内科											1	1	1.2%	
合計	6	6	3	8	6	4	15	5	7	6	6	9	81	100.0%

## 外来・入院 紹介元一覧

特別養護老人ホーム 愛の園	浅井皮膚科
特別養護老人ホーム 鮎川園	鮎川診療所
特別養護老人ホーム ときわ寮 梅の里	池田整形外科
特別養護老人ホーム 白百合ホーム	うえだ内科外科クリニック
特別養護老人ホーム 真寿苑	植山整形外科
特別養護老人ホーム 第二真寿苑	榎本整形外科
特別養護老人ホーム 龍トビア	榎本産婦人科
養護老人ホーム 千寿荘	大峰診療所
田辺市高齢者複合福祉施設 たきの里	おかもと内科クリニック
介護老人保健施設 あきつの	柏井内科クリニック
介護老人保健施設 アンソレイユ日置	堅田内科循環器科
介護老人保健施設 自彌館	上富田クリニック
介護老人保健施設 田辺すみれ苑	上富田町市ノ瀬診療所
介護老人福祉施設 虹	串医院
紀南地方老人福祉施設組合 養護老人ホーム 椿園	クリニック大古
社会福祉法人 大塔あすなろ会 あすなろ木守の郷	けんゆうクリニック
社会福祉法人 南紀のぞみ会 のぞみ園	国保秋津川診療所
龍神村高齢者福祉センター 龍の里	笹屋内科外科
グループホーム あきつの	晒 医院
生活支援ハウス 芳養の里	真寿苑クリニック
株式会社 あおい介護センター	杉本胃腸科外科
和歌山県立医科大学附属病院	整形外科ひろクリニック
大阪市立大学医学部付属病院	線崎泌尿器科医院
大田市立病院	高城診療所
紀南病院	竹村医院
国保すさみ病院	立石内科循環器科
国保日高総合病院	田辺広域休日急患診療所
琴の浦リハビリテーションセンター	田辺龍神中央診療所
白浜はまゆう病院	玉置整形外科医院
新宮市立医療センター	辻村外科
須佐病院	辻内科医院
角谷整形外科病院	中井・丸岡医院
高井病院	長嶋医院
玉置病院	那須医院 那須内科消化器科
南紀福祉センター附属病院	南紀新庄クリニック
西宮渡辺病院	西川医院
南和歌山医療センター	浜口医院
和歌山病院	ひがし内科クリニック
和歌山労災病院	平畠医院
	福原医院
	まちだ内科クリニック
	丸笹外科内科
	水本内科クリニック
	宮の森スキンケア診療室
	山西医院

平成24年度 一般病棟 退院経路

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	%
居宅	36	30	21	34	45	26	33	27	38	28	34	51	403	57.8%
転院	4	3	1	2	5	3	5	7	3	8	3	6	50	7.2%
施設	15	22	15	17	10	16	21	23	19	12	11	12	193	27.7%
死亡	6	3	1	1	9	6	5	4	5	5	4	2	51	7.3%
合計	61	58	38	54	69	51	64	61	65	53	52	71	697	100.0%

曜日別退院件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
月	10	15	7	10	10	6	15	13	16	7	5	8	122
火	11	9	12	13	12	12	17	7	7	9	8	11	128
水	8	5	7	6	9	7	9	6	7	13	9	8	94
木	9	14	2	12	14	6	11	10	11	9	5	13	116
金	12	8	7	3	5	8	3	17	13	7	14	17	114
土	6	6		6	9	11	8	4	8	4	8	9	79
日	5	1	3	4	10	1	1	4	3	4	3	5	44
合計	61	58	38	54	69	51	64	61	65	53	52	71	697
月	16%	26%	18%	19%	14%	12%	23%	21%	25%	13%	10%	11%	18%
火	18%	16%	32%	24%	17%	24%	27%	11%	11%	17%	15%	15%	18%
水	13%	9%	18%	11%	13%	14%	14%	10%	11%	25%	17%	11%	13%
木	15%	24%	5%	22%	20%	12%	17%	16%	17%	17%	10%	18%	17%
金	20%	14%	18%	6%	7%	16%	5%	28%	20%	13%	27%	24%	16%
土	10%	10%		11%	13%	22%	13%	7%	12%	8%	15%	13%	11%
日	8%	2%	8%	7%	14%	2%	2%	7%	5%	8%	6%	7%	6%

午前・午後 退院患者の割合 ※退院調整加算算定患者等除く

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
午前	22	23	13	21	28	16	23	18	29	12	23	37	265
午後	31	26	16	23	33	32	27	33	27	37	24	28	337
合計	53	58	29	44	61	48	64	51	56	49	47	65	602
午前	41.5%	39.7%	44.8%	47.7%	45.9%	33.3%	35.9%	35.3%	51.8%	24.5%	48.9%	56.9%	44.0%
午後	58.5%	44.8%	55.2%	52.3%	54.1%	66.7%	42.2%	64.7%	48.2%	75.5%	51.1%	43.1%	56.0%

## 亜急性期病床

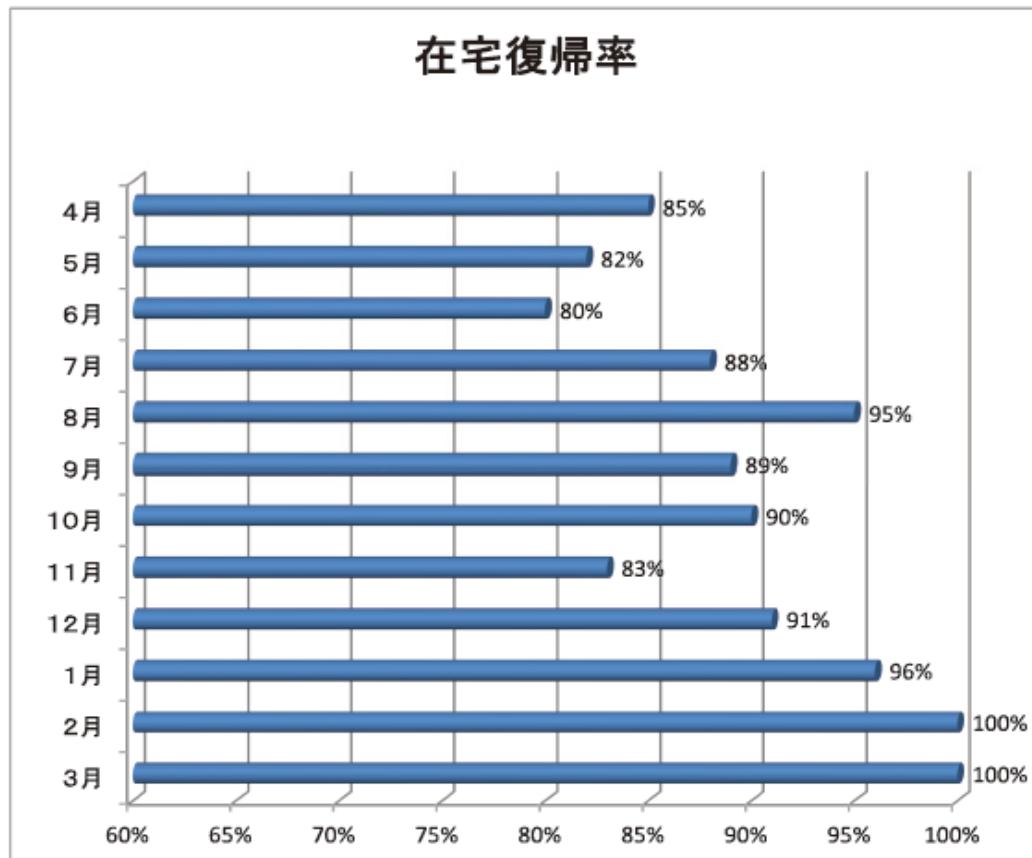
急性期治療を経過した患者さまに対して安定化を図り、在宅復帰支援機能を有し効率的かつ密度の高い急性期後の医療を提供することを目的に平成23年10月より亜急性期病床を導入し、平成24年度11月に1床増床し計10床の病床運営となりました。

平成24年度 亜急性期病床実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新入室患者数	8	4	8	5	8	5	7	6	10	9	9	7	86
退室患者数	8	4	8	5	8	5	7	6	10	9	9	7	86
在宅復帰率	85%	82%	80%	88%	95%	89%	90%	83%	91%	96%	100%	100%	90%

平成24年度 退室先実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
転院・転棟	3	1		1		1	1	1					8
居宅	3	3	6	3	5	2	5	3	9	7	9	6	61
介護老人保健施設			2	1	3	2	1	1	1	2		1	14
介護老人福祉施設	2							1					3
合計	8	4	8	5	8	5	7	6	10	9	9	7	86



平成24年度 入室86件 退室86件 在宅復帰78件

ICD10大分類 退院患者

疾病別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	%
感染症および寄生虫症	1			3	2	2	1	3		1	2	2	17	2.4%
新生物	1	2		1	1	1			1	1	1		9	1.3%
血液、造血器の疾患並びに免疫機構障害	2			1	1	1	2	1			3		11	1.6%
内分泌、栄養および代謝疾患	2	2	1	2	5	3	1		3	1	1	2	23	3.3%
精神および行動の障害	3	4	4	10	5	2	2	1			1	4	36	5.2%
神経系の疾患	2		2	1				1	1	1			4	1.7%
眼および付属器の疾患													0	
耳および乳様突起の疾患										1	1	1	3	0.4%
循環器系の疾患	8	8	6	3	8	2	2	5	5	7	3	7	64	9.2%
呼吸器系の疾患	11	13	7	6	7	11	15	16	9	11	8	7	121	17.4%
消化器系の疾患	5	9	3	6	13	3	6	7	8	6	6	9	81	11.6%
皮膚および皮下組織の疾患	1	1			2			1			1		6	0.9%
筋骨格系および結合組織の疾患	1	3	1	2	5	4	11	10	26	10	16	18	107	15.4%
尿路性器系の疾患	5	4	2	4	5	4	6	2	3	1			36	5.2%
症状、徵候および異常臨床(検査)所見	4	1	3	8	2	10	6	3		3		5	45	6.5%
損傷、中毒およびその他の外因の影響	15	11	9	7	13	8	11	10	9	11	9	11	124	17.8%
健康状態に影響を及ぼす要因・保健サービスの利用								1				1	2	0.3%
その他													0	
合計	61	58	38	54	69	51	64	61	65	53	52	71	697	100.0%

死亡退院件数(全病棟)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
退院件数	61	58	38	54	69	51	64	61	65	53	52	71	697
死亡退院	6	3	1	1	9	6	5	4	5	5	4	2	51
死亡退院率	9.8%	5.2%	2.6%	1.9%	13.0%	11.8%	7.8%	6.6%	7.7%	9.4%	7.7%	2.8%	7.3%

死亡退院疾患別統計(全病棟)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
肺炎	1			1	1			1			1	1	6
不整脈	1												1
心筋梗塞											1		1
急性循環不全						1							1
心不全					1	1		1	1	1			5
敗血症					1								1
肺水腫			1		2		2		3	4			12
肺非定型抗酸菌症	1												1
呼吸不全					1	1	1				1		4
深在性真菌症								1					1
老衰	1												1
腎不全		1											1
多臓器不全						1		1					2
肝不全		1			1								2
摂食障害					1								1
腹部悪性腫瘍						1							1
消化管出血							1						1
骨髄異形性症候群											1		1
脳梗塞								1					1
汎発性腹膜炎									1				1
肺不全	1				1						1		3
脳出血		1											1
尿毒症	1					1							2
合計	6	3	1	1	9	6	5	4	5	5	4	2	51

死亡退院件数(全病棟)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
退院件数	61	58	38	54	69	51	64	61	65	53	52	71	697
死亡退院	6	3	1	1	9	6	5	4	5	5	4	2	51
死亡退院率	9.8%	5.2%	2.6%	1.9%	13.0%	11.8%	7.8%	6.6%	7.7%	9.4%	7.7%	2.8%	7.3%

死亡退院疾患別統計(全病棟)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
肺炎	1			1	1			1			1	1	6
不整脈	1												1
心筋梗塞											1		1
急性循環不全						1							1
心不全					1	1		1	1	1			5
敗血症					1								1
肺水腫			1		2		2		3	4			12
肺非定型抗酸菌症	1												1
呼吸不全					1	1	1				1		4
深在性真菌症							1						1
老衰	1												1
腎不全		1											1
多臓器不全						1		1					2
肝不全		1			1								2
紙食障害					1								1
腹部悪性腫瘍						1							1
消化管出血							1						1
骨髄異形性症候群											1		1
脳梗塞								1					1
汎発性腹膜炎									1				1
肺不全	1				1						1		3
脳出血		1											1
尿毒症	1					1							2
合計	6	3	1	1	9	6	5	4	5	5	4	2	51

平成24年度 救急搬送件数

外来・入院 地域別 救急搬送件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
田辺	18	17	13	27	28	21	18	14	15	30	11	21	233
上富田	3	1	2	2		3	1	3	1	2		2	20
中辺路	2	2	1	2	2	2	5			3	2	3	24
龍神	1	2	1	2	2	3	1	2	1				15
大辺路		1	1	1				1	2		1		7
白浜	2	5	2	5	3	3	5	2	3	3	1	5	39
本宮					1	3	1		1			1	7
日高広域	4	1	2	1	4	5	2	5	1	4	1	4	34
合計	30	29	22	40	40	40	33	27	24	42	16	36	379

外来・入院 科別 救急搬送件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	14	4	7	12	16	6	2	6	11	13	6	9	106
外科	13	22	12	27	18	28	18	14	9	16	8	16	201
整形外科	3	3	3	1	6	6	13	7	4	13	2	11	72
合計	30	29	22	40	40	40	33	27	24	42	16	36	379

救急搬送 時間内・時間外・休日・深夜の割合

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
時間内	9	4	5	9	8	9	13	8	7	16	5	7	100
時間外	12	5	9	11	15	11	8	5	6	5	3	12	102
休日	3	16	5	13	5	14	9	6	7	14	4	13	109
深夜	6	4	3	7	12	6	3	8	4	7	4	4	68
合計	30	29	22	40	40	40	33	27	24	42	16	36	379
時間内(%)	30%	14%	23%	23%	20%	23%	39%	30%	29%	38%	31%	19%	26%
時間外(%)	40%	17%	41%	28%	38%	28%	24%	19%	25%	12%	19%	33%	27%
休日(%)	10%	55%	23%	33%	13%	35%	27%	22%	29%	33%	25%	36%	29%
深夜(%)	20%	14%	14%	18%	30%	15%	9%	30%	17%	17%	25%	11%	18%

救急搬送入院率

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総数	30	29	22	40	40	40	33	27	24	42	16	36	379
入院数	16	8	7	15	19	16	10	14	10	11	7	14	147
入院率	53%	28%	32%	38%	48%	40%	30%	52%	42%	26%	44%	39%	39%

統 計 年 度 比 較

項目 / 年度		平成23年度	平成24年度	前年度比	
外 来	延べ患者数	内科 外科 整形外科 計	8,685 4,904 8,500 22,089	8,455 3,851 12,206 24,512	-230 -1,053 3,706 2,423
	1日平均患者数	内科 外科 整形外科 計	29.5 16.6 28.8 74.9	28.9 13.1 41.7 83.7	-0.6 -3.5 12.9 8.8
	輪番日延べ患者数		846	796	-50
	輪番日入院患者数		94	89	-5
一 般 病 棟	患者延べ数	内科 外科 整形外科 計	7,537 5,826 5,924 19,287	6,431 4,465 7,980 18,876	-1,106 -1,361 2,056 -411
	1日平均患者数	内科 外科 整形外科 計	20.6 15.9 16.2 52.7	17.6 12.2 21.9 51.7	-3.0 -3.7 5.7 -1.0
	入院件数	内科 外科 整形外科 計	311 254 143 708	339 195 231 765	28 -59 88 57
	退院件数	内科 外科 整形外科 計	281 218 135 634	304 186 207 697	23 -32 72 63
療 養 病 棟	平均在院日数		24.6	20.7	-3.9
	病床稼働率		87.8%	86.2%	-1.6%
	入院経路	一般入院 病院より紹介 施設など 医院より紹介 救急搬送 計	243 96 133 57 179 708	280 105 177 56 147 765	37 9 44 -1 -32 57
	患者延べ数	内科 外科 整形外科 計	9,803 6,964 885 17,652	10,165 6,533 1,270 17,968	362 -431 385 316
救 急	1日平均患者数	内科 外科 整形外科 計	26.8 19.0 2.4 48.2	27.8 17.9 3.5 49.2	1 -1 1 1
	医療区分の割合	医療区分3 医療区分2 医療区分1	15% 51% 34%	24% 44% 32%	9% -7% -2%
	ADL区分の割合	ADL区分3 ADL区分2 ADL区分1	73% 18% 9%	66% 27% 7%	-7% 9% -2%
	病床稼働率		96.5%	98.5%	2%
手 術 ・ 内 視 鏡	救急搬送総数		542	379	-163
	入院数		179	147	-32
	入院率		33%	39%	6%
	手術件数	全身麻酔 腰椎麻酔 局所・伝達麻酔	17 25 39	8 98 36	-9 73 -3
	内視鏡件数	上部 下部	334 - 100 -	252 18	-82 6